

CIAS Discussion Paper No.27

ジャウイを学ぶ

بلاجر جاوي

Belajar Jawi

ジャウイ文献講読テキスト

(2012年度版)



坪井祐司・山本博之 編

ファリダ・モハメッド 協力

2012年12月

京都大学地域研究統合情報センター

「ジャウイ文献と社会」研究会



# 目次

はじめに・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	2
現在のマレーシアの学校教育におけるジャウイ.....	7
ジャウイ講習を始める前に（問題と解説）.....	10
初級編・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	15
ジャウイ綴りマレー語の書き方と読み方.....	16
女優の紹介記事.....	40
ムスリム同胞団結成の呼びかけ.....	41
中級編・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	43
翻字の間違い探し.....	44
写真を読み解く.....	50
雑誌記事の翻字.....	54
蒸気船会社の広告.....	58
さまざまなジャウイ文献・・・・・・・・・・・・・・・・	61
Jawi Peranakan／al-Imam／al-Moenir／Soeloeh Melajoe／al-Islam／	
al-Hedayah／Pilihan Timoer／Mastika／Dian／Utusan Kiblat／	
Cahaya Nusantara	
※媒体別のジャウイ綴りの変遷.....	89
資料編・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	97
アブドゥッラー物語.....	98
海峡植民地政庁の硬貨発行に関する『布告』.....	102
スランゴルのスルタンによるイギリス人理事官の受入れに関する宣言.....	105
西スマトラの婚姻証明書.....	108
シンガポール・マレー人同盟の設立会議.....	110
アチェの大ウラマーによるインドネシア独立への支持宣言.....	116
研究会紹介・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	119
ジャウイ文献記事データベース／『カラム』の時代	

## はじめに

山本博之

この教材は、「ジャウィ文献と社会」研究会が毎年実施しているジャウィ文献講読講習会のために作成しているテキストの 2012 年度版です。

ジャウィ (Jawi) とは、島嶼部東南アジア (イスラム教圏東南アジア) における共通語であるマレー・インドネシア語の表記方法の 1 つで、アラビア文字をマレー・インドネシア語にあわせて一部改変したものです。

ジャウィは、20 世紀初頭頃まで島嶼部東南アジアの地元住民 (特にイスラム教徒) にとって主要な文字であり続けました。しかし、20 世紀半ばまでにローマ字 (ラテン文字) が広く使われるようになると、ジャウィが使われる機会は減ってきました。そのためもあり、島嶼部東南アジアの社会を研究する上で、特に 20 世紀以降を対象にする場合、ジャウィ文献を積極的に使った研究はそれほど多くありません。

しかし、20 世紀以降の東南アジア社会を理解する上でも、ジャウィ文献は依然として有効性を失っていないと私たちは考えます。

その理由は、第一に、これまで主にローマ字文献に基づいて行われてきた島嶼部東南アジアの研究を別の角度から見直す契機とすることができるためです。このテキストで主に扱っている月刊誌の『カラム』(1950 年～1969 年) は、その目的のための貴重な資料の 1 つです。

第二に、島嶼部東南アジアの人々による国境を越えたつながりに積極的に目を向けた社会像を考える契機とするためです。20 世紀半ば以降、マレーシアやインドネシアが国民国家として建国を進める過程で、それまで存在していた国境を越えた行き来や関係にほとんど目が向けられなくなりました。これに対し、ジャウィ文献には国境を越えた行き来や関係を積極的に記したものが多数あります。

ジャウィ文献を積極的に活用して東南アジア社会の歴史の再構成を試みることは、これまで語られてきた国別のナショナリスティックな東南アジアの近現代史を別の角度から見直すことの試みでもあります。ローマ字が主流となった現在では珍しくなった「ジャウィ」という文字や文献それ自体に関心を向けて資料収集するだけでなく、実際にジャウィ文献を読むことにより、ジャウィが使われていた時代や地域の社会の様子を明らかにすることを目的としています。

\*

ジャウィはアラビア語とともに東南アジアにもたらされました。島嶼部東南アジアのイスラム教徒にとって、アラビア語は聖なる言葉であり、宗教に関する概念の多くはアラビア語のままマレー・インドネシア語に取り入れられました。

ただし、アラビア語とマレー・インドネシア語は互いにまるで異なる言葉なので、アラビア文字をそのまま使ってもマレー・インドネシア語をうまく表記できるわけではありません。アラビア語にはマレー・インドネシア語にない音がいくつかあるため、マレー・インドネシア語ではいくつか独自の文字を作る必要がありました。

また、アラビア語の母音表記法を取り入れなかったため、ジャウイは子音だけを並べる表記方法にならざるを得ず、ジャウイを読む際にはどのように母音を補うか（書く際にはどのように母音を省略するか）というルールを確立する必要が生じました。時代や地域によってジャウイの正書法は異なりますが、時代を追って正書法の移り変わりを見ていくと、なるべく母音を表記して、ジャウイによる表記とローマ字による表記を一対一で対応させるように正書法が変わってきていることがわかります。

ただし、宗教に密接に関する語彙については、一般の語彙と同様に母音を補ってローマ字と同じような形で表記すべきとの意見が出る一方で、ジャウイで書いたときにもとのアラビア語の表記と異なってしまうのは適切でないとの意見も強く、母音を補ったりせずにジャウイでもアラビア語の表記と同じ形で表記するという考え方が優勢のようです。

このように、ジャウイの表記法は、宗教に関する語彙とそれ以外の語彙で異なる方向で発展してきました。（どれが宗教に関する語彙でどれがそれ以外の語彙かという区別も、時代によって変わってきています。）

ジャウイの表記法は、時代や地域によって異なり、また、同じ時代や地域でも個人による表記の揺れも見られます。この研究会では、ジャウイ表記がただ1つに定まっていないことは、多様な文化的背景を持つ人々の共通語であるマレー・インドネシア語の表記法にふさわしいと考え、特定の表記方法のみを取り上げて「正しいジャウイ表記である」と主張することはしません。ただし、初学者向けには「いろいろある」では練習になりませんので、ジャウイ文献講読講習会では、20世紀前半にジャウイ表記の正書法を体系化しようとしたザアバ（Za'ba）による「ザアバ綴り」を中心に上げ、そのうえでそれ以外の表記法を扱うことにしています。

\*

「正しいジャウイ表記がある」と主張するわけではないのに、どうして特定の時代の特定の表記法を学ぶ必要があるのでしょうか。実は、「ザアバ綴り」の法則がわからなくても、アラビア語の素養があり、そしてマレー・インドネシア語のある程度の語彙があれば、ジャウイを見てそのローマ字表記を当てることはそれほど難しいことではありません。でも、それではジャウイ文献を読んだことにはならないと私たちは考えます。

漢字の発祥地である中国の人が日本に来たら、町の看板を一目見ただけでだいたいの意味を掴むことができるはずです。しかし、日本語と中国語では字が同じでも意味が異なる

ものが少なくなく、日本語がわからなくても中国語がわかれば日本語の文を読んで意味が理解できるということにはなりません。漢字はもともと中国から日本に来たのだと言ったところで、日本で独自に発展した漢字文化を否定できるわけではないはずです。

アラビア語とジャウイの関係もこれと同じです。ジャウイにはアラビア語からの借用語も多く、アラビア語がわかればマレー・インドネシア語がわからなくてもジャウイで書かれた文のおおよその意味は掴めるでしょうが、ジャウイで書かれた文書の内容をきちんと理解するにはマレー・インドネシア語の知識が不可欠です。アラビア文字がもともとアラビア語の文字であっても、そして東南アジアで多くの人々に信仰されているイスラム教が中東から東南アジアに伝えられたものであっても、アラビア語に通じた人がマレー・インドネシア語を知らなくてもジャウイが読めるということにはならないはずです。

アラビア語の知識からの類推ではなく、ジャウイをジャウイとして読むために、私たちの研究会が主催するジャウイ文献講読講習会では、まずジャウイの母音を省略したり補ったりする法則を学ぶことにしています。

ところで、ジャウイ文献を読解する上での最大の難関は、実は母音を省略したり補ったりする法則を理解することではなく、1つ1つの文字を判読することです。手書きの文献は判読が難しいということは想像がつくと思いますが、20世紀に入って新聞や雑誌のような手書きでない文献を扱えば判読の難易度が下がるというわけでもありません。私たちが利用できるマイクロフィルムやコピーの資料には印刷の掠れや汚れがあり、それが文字の一部なのか汚れなのか、点がついているのかついていないのかが判断できないことも少なくありません。ときには「心の目」で読まざるを得ない場合もありますが、そうであっても、ただの当てずっぽうではなく、その文献の中で使われている法則を理解していれば、その法則に従って適切に可能性を狭めていくことができます。つまり、法則は、「心の目」を鍛えるための手段なのです。「心の目」を養うのは慣れによるところが大きいのですが、その基礎を作るために最も適しているのは20世紀前半にマレーシア地域で広く使われていた「ザアバ綴り」です。

このテキストは、初級編と中級編に分かれています。

初級編では、まず20世紀前半のマレーシア地域で広く使われていたジャウイ綴りの法則を学び、そのうえで、20世紀半ばにシンガポール（後にマレーシア）で刊行されていた月刊誌『カラム』の実際の誌面を読みます。中級編では、『カラム』を中心に実際のジャウイ文献を教材にしています。教材によっては文字が掠れていたり印刷が汚れていたりして文字が判別しにくいものもありますが、それがジャウイ文献講読の現実だと思って、苦労しながら判読していただければと思います。

初級編と中級編のテキストに続いて、このテキストの後半では、時代や地域が異なるさまざまなジャウイ文献を紹介しています。主に20世紀以降の定期刊行物で、時代や地域ご

との綴り方の変遷がわかる資料になっています。特に『マスティカ』と『ディアン』の2つの記事は、『マスティカ』はジャウィ版からローマ字版に切り替える最終号の記事を、『ディアン』はジャウィの新しい綴り方である「ディアン綴り」を提唱した記事を紹介しており、どちらもマレーシア・シンガポールのマレー語雑誌がジャウィ表記をどう捉えるかに関する貴重な資料です。また、1990年代のマレーシアや2000年代のインドネシアで刊行されていたジャウィ雑誌も紹介しています。講習会では1つ1つの文献の内容まで扱う時間の余裕がないと思いますが、参加者のみなさんは関心に合わせて読んでみてください。

続く資料編では、東南アジアの歴史において重要なジャウィ文献をいくつか紹介しています。また、巻末には、「ジャウィ文献と社会」研究会が他の研究プロジェクトなどと合同で進めているジャウィ雑誌記事データベース・プロジェクト（『カラム』の時代）プロジェクト）を紹介しています。

このほか、ページの余白の囲み記事では、東南アジア各地の看板などに見られるジャウィを紹介しています。

このテキストに掲載されたさまざまなジャウィ文献が、アラビア文字で書かれた文献をローマ字に置き換える技術を身につけるだけでなく、その文献の奥に広がっている世界への想像力を高める助けになれば幸いです。

\*

「ジャウィ文献と社会」研究会は、旧ジャウィ文書研究会（2001年～2009年）の活動の蓄積を活用・発展させるため、旧ジャウィ文書研究会の活動の一部を受け継いで組織された研究会です。ジャウィ文書研究会が活動していた2001年からの数年間は、日本国内で「ジャウィ研究」がかなりの盛り上がりを見せていた時期でした。ただし、今から振り返ると、この盛り上がりは、中東・イスラム研究者による東南アジアへの関心と東南アジア研究者によるイスラム教への関心が重なったところに、東南アジアの地方語による文献資料に対する関心の高まりが加わって、東南アジアでアラビア文字で表記された言葉やその文献に関心が向けられ、それらがやや安易に「ジャウィ」と総称されていた側面があったように思います。そのため、「アラビア文字を改変したマレー・インドネシア語の表記法」という本来の意味を離れ、東南アジアで用いられている言語でアラビア文字で書かれていればどれもジャウィと呼ぶという態度も見られました。

文献の内容ではなく文字に関心が向けられた結果として、マレー・インドネシア語の運用能力を問わずに東南アジアのイスラム教やムスリムに関心がある研究者が広く集まることができたという側面がありますが、他方で、このような「ジャウィ研究」においては、文献の内容ではなく、その文書がアラビア文字で書かれていること自体に関心が向かうこととなります。そこでは、「ジャウィ」とは「アラビア文字」とほぼ同義になり、また、それゆえに「ジャウィ」は「アラブ」や「イスラム教」との結び付きが強

調されることとなります。

これに対し、ジャウィ文献の内容をもとに当時の東南アジア社会の様子を理解したいと思う人々が集まり、「ジャウィ文献と社会」研究会を立ち上げました。この研究会では、これまで研究にあまり活用されてこなかったマレー・インドネシア語のジャウィ文献を積極的に利用することで、ジャウィ文献が書かれ、読まれていた社会の様子を明らかにすることを目的としています。

あわせて、この研究会のメンバーが旧ジャウィ文書研究会で行っていたジャウィ文献の講読講習会を引き継ぎ、毎年1回、一般公開でジャウィ文献講読講習会を行っています。2009年度と2010年度は東京大学で行いましたが、2011年度以降は東京外国語大学マレーシア語学科のファリダ・モハメド先生の協力を得て東京外国語大学で行っています。

### ●イスラームとイスラム教

最後に、このテキストで使われている「イスラム教」という表記について簡単に説明しておきます。現在、日本語の学術論文では「イスラム教」ではなく「イスラーム」と表記するのが一般的です。これには、①アラビア語の長母音を正しく表記すること、②イスラームにおいては宗教とそれ以外の実践が区別されていないために「〇〇教」とするのは適切でないこと、という2つの理由が挙げられています。

「ジャウィ文献と社会」研究会では、この考え方を尊重した上で、上記の2点について東南アジア地域に即して検討した結果、①マレー・インドネシア語には長母音がなく、現地語の「Islam」は「イスラーム」と表記するのが妥当であること、②マレーシアやインドネシアではイスラム教を仏教やキリスト教とともに「宗教」(agama)の1つとして位置づけ、それによって多民族・多宗教の混成社会を運営する努力が積み重ねられてきていることの2つの理由から、現地社会の営みを尊重すべきと考え、「イスラーム」ではなく「イスラム教」の表記を採用することにしました。

この表記には、中東・アラブ世界から各地に伝わったイスラームが、その普遍性が意識され続けながらも、各地域の事情に即して受け入れられ、それぞれの地域社会で位置づけられてきたという理解のもと、その両方の側面に目を向けることを象徴的に表明するという意味も込められています。その上で、「東南アジアではイスラームではなくイスラム教とすべき」というように統一を強いる態度は多様性を内包するイスラム教にはなじまないとの考え方のもと、それぞれの立場や考え方に応じた表記を用いています。このテキストの中では執筆者によって「イスラム教」と「イスラーム」の表記が統一されていないものもあり、その点で読者に不便を強いることとなりますが、以上のような考え方に基づいていることをご理解いただければ幸いです。



## 【紹介】

### 現在のマレーシアの学校教育におけるジャウィ

金子奈央

現在のマレーシアの学校教育（ナショナルカリキュラム）で、ジャウィはイスラーム教育の一環として教えられている。また、イスラーム教育関連で用いられるマレー語（教科書、カリキュラム、シラバス、試験問題等）は、ほとんどがジャウィで書かれている。イスラーム教育は、イスラームを信仰する児童生徒（マレー人など）の必修科目であり（イスラーム以外の宗教を信仰する児童生徒は、その時間に道德教育を受ける）、初等教育では1週間に合計6時限（1時限は30分間なので週に180分間）あてられている。初等教育（小学校1年生～6年生）の修了時、前期中等教育（中等学校1年生～3年生）の修了時、後期中等教育（中等学校4年生～5年生）の修了時にそれぞれ受ける全国統一の修了資格試験（順に UPSR、PMR、SPM）でもイスラーム教育は必修科目となっている。（試験問題はジャウィとローマ字の両方で書かれている。）

2010年、マレーシアの初等教育に新しいナショナルカリキュラム（KSSR）が導入された。新カリキュラムは段階的に導入されており、2012年度の現在は初等教育3年生まで導入が完了し、初等教育4、5、6年生は従来のカリキュラム（KBSR）を使って学習している。KBSRでは、イスラーム教育は Al-Quran（コーラン）や Ibadah（礼拝行為）など7つの項目から構成されており、ジャウィはそのひとつである。

写真①（右）は、KBSR版の初等教育5年生のジャウィの教科書である。KBSRでは、「イスラーム教育」の教科書のほかにジャウィ専用の教科書がある。写真①の教科書の表紙には、上から、「Kurikulum Bersepadu Sekolah Rendah（初等教育統一カリキュラム、KBSR）」「Pelajaran Jawi（ジャウィ学習）」「Tahun 5（5年生）」「Buku Teks（教科書）」と書かれ、下の方には「Dewan Bahasa dan Pustaka（言語書籍局）」と版元の名前が書かれている。一番下に書かれているのは編者の名前である。



写真②（右）は、小学5年生の「ジャウィ学習」教科書から1ページ抜粋したものである。ジャウィ学習は「イスラーム教育」

科目の一部として取り扱われているが、ジャウィ学習の教科書の中身は、イスラームに関するものだけでなく、写真②のように、マレーシアの国民を構成する多様な民族の伝統的な衣装や食べ物などに関するものもある。2005年、アブドゥラ・バダウィ首相（当時）の提唱により初等教育段階で J-QAF (Jawi, Qur'an, Arabic and Fardu'Ain)プログラムが導入された。これは、ジャウィの理解・運用能力をあげることが主な目的のひとつであり、これにあわせて「イスラーム教育」科目の学習内容、教科書、シラバス等が改訂されることとなった（イスラーム教育にあてられる6時限のうちの一部がこのプログラムにあてられている）。このプログラムの導入により、マレーシアの児童たちのジャウィ理解能力は一定の成果を上げたと言われている。



2010年から導入された初等教育段階における KSSR に基づいてイスラーム教育が行われているのは、現在、小学校1～3年生である。KSSR に基づくイスラーム教育は、Al-Qur'an, Hadis (ハディース) など7つのモジュールから構成されており、ジャウィもそのひとつである。また、初等教育におけるイスラーム教育の学習目的として「ジャウィを読み書きし、国民文化の財産としてジャウィを愛しむ」という項目が掲げられている。

写真③（右）は、KSSR の初等教育2年生のイスラーム教育の教科書の表紙である。上から、「Pendidikan Islam (イスラーム教育)」「Tahun 2 (2年生)」「Buku Teks (教科書)」と書かれている。6本の花の中に書かれているジャウィは「Al-Qur'an」「Akhbah(t)」「Sirah」「Ibadah(t)」「Adab」「Jawi」であり、これは初等教育2年生で学習するイスラーム教育の構成内容である。



**کاندوڱن**

هلامن	بيدغ	تاجوق	فلاجرن
v		فندهولوان	
	القریان	دغره باچاٲنكو	فلاجرن 1
1		اونيت 1 سورة الكافرون	
6		اونيت 2 سورة الكافرون	
10		اونيت 3 سورة المشاؤون	
15		اونيت 4 سورة الفونون	
19	جاوي	مليسياكو معمور	فلاجرن 2
24		كامفونكو فرماي	فلاجرن 3
29		بهاساكو اينده	فلاجرن 4
35	عقيدة	كنلي ملائكة	فلاجرن 5
41		رسول فميمقين اومت	فلاجرن 6
		صيفت الله	فلاجرن 7
48		اونيت 1 الله برصيفت وجود	
52		اونيت 2 الله برصيفت قدم	



写真④ (左上) は初等教育 2 年生の教科書の目次の 1 ページ目で、19 ページから 34 ページまでの Pelajaran 2、3、4 (第 2、3、4 課) がジャウィ学習にあてられている。

写真⑤ (右上) は第 2 課の最初のページ (19 ページ) で、この単元のタイトルは「Malysiaku Makmur (豊かな我がマレーシア)」となっている。このページはジャウィを通して果物や野菜の名前を学習する内容となっており、一番下には「[このページに紹介されている果物や野菜など、ジャウィで書かれた]単語の綴りを児童たちに繰り返し書かせて練習させなさい」などの教師への指示が書かれている。

また、写真⑥ (右) のように、直接ジャウィを学ぶのでない課 (写真⑥は Adab (礼儀作法) を学習する単元) もジャウィで表記されている。マレーシアの公立学校でイスラーム教育を受ける児童生徒は、ジャウィ学習の単元でジャウィを学ぶだけでなく、教科書の表記などを通して間接的にもジャウィを学んでいる。



## ジャウイ講習を始める前に(解説)

### 問 1

#### 【問題】

次の(1)～(4)について、カンマで区切られている文字を組み合わせてマレー語の単語を1つ作ってください。また、もしその単語が派生語である場合は、辞書の見出し語がどう派生したかがわかるように分けて書いてください。

- ・挙げられている文字はすべて1回ずつ使うこととします。
- ・文字の順番は入れ替えてかまいません。
- ・文字と文字の間がカンマで区切られていない場合は合わせて1つの文字として扱います。

(例) a, e, i, c, n, r, t, t → 解答【 **tercinta (ter+cinta)** 】

(1) a, e, u, b, r, s, t

(2) a, a, i, d, j, ny

(3) a, a, a, i, d, k, m, n, n

#### 【解説】

これは、マレー語の単語を構成する音節の作り方と、接頭語・接尾語についての理解を問う問題です。マレー語の単語はいくつかの音節から組み立てられています。それぞれの音節は、母音を核として、その前後に子音が来ることで構成されます。子音をC、母音をVで表すと、音節のパターンはV、CV、VC、CVCの4通りしかありません。

例題に挙げられている文字の候補(a, e, i, c, n, r, t, t)を見ると、母音はa、e、iの3つなので、この単語は3音節ということになります。子音は5つあるので、CV-CVC-CVCやCVC-CV-CVCなどのように3つの音節を組み合わせてCを5つ使うということです。

ただし、文字を1つ1つ組み合わせて調べていくと膨大な時間がかかります。そこで、接頭語・接尾語を取り除いてみます。例題の子音(c, n, r, t, t)から考えられる接頭語・接尾語にter-があります。(母音にもeがあるのでter-を作ることができます。)文字候補からt、e、rの3つを除くとa、i、c、n、tが残ります。

子音が3つあり、音節は2つなので、考えられる組み合わせはCV-CVC、VC-CVC、CVC-CVの3通りです。(形の上ではCVC-VCも考えられますが、これはCV-CVCと同じです。)これに子音を3種類、母音を2種類当てはめると、組み合わせは36通り

になりますが、その中でマレー語の単語として意味をなすものに *cinta* があり、答えとして *tercinta* (*ter-cinta*) を得ます。

問い(1)～(3)は、このように適切な接頭語・接尾語を抜いて考えることができれば解きやすくなります。(1)は *ber-*、(2)は *-nya*、(3)は *di-*と *-kan* の接頭語・接尾語が含まれています。

## 問 2

### 【問題】

次のマレー語の文の[A]～[C]のうち 1 つを選んで日本語に訳してください。美文にする必要はありません。訳語は文脈にあったものを選んでください。また、なるべくもとの文の構造がわかるように訳してください。(英単語は斜字体にしてあります。)

[A] Malam semalam, bapak saudara Mahesh sepatutnya kahwin. *So*, keluarga mereka ada buat *cerebration*, tapi jiran mereka pura ada kematian. *So*, mereka buat baca doa. Satu keluarga *happy*, satu keluarga sedih, timbullah pergaduhan. Dalam pergaduhan itu, bapak saudara Mahesh itu dibunuh.

[B] Pada masa sekarang bahasa Melayu ada mempunyai dua jenis gambar bagi merupakan tulisannya, iaitu satu Arab, biasa disebut Jawi dan satu Rumi. Kedua-dua jenis huruf ini terpakai bersama-sama pada anak-anak sekolah Melayu di negeri ini, kadang-kadang Jawi dan kadang-kadang Rumi. Isinya atau bahasanya sama juga.

[B] Golongan guru-guru sekolah Melayu  
yang rajin membaca,  
yang sedar dirinya terhadap kanak-kanak  
yang diajarnya sekarang  
akan jadi pemuda esok hari, pemuda harapan bangsa,  
bukan guru-guru menunggu gaji  
dari sebulan ke sebulan.

### 【解説】

[A]の文は、映画『タレントタイム』（ヤスミン・アフマド監督）でタン先生とアヌアル

先生がメルーを車で迎えたとき、送迎役のマヘシュが来なかった理由を説明している場面のタン先生の台詞です。文の構造としては特に難しいところはないと思います。この文は比較的マレー語が多くなっていますが、マレーシア人の会話では、このようにいろいろな言葉の単語を混ぜて文にすることがよくあります。『タレントタイム』をはじめとするヤスミン監督の映画には、多民族社会マレーシアで民族や宗教の違いを超えて互いに心を通わせようとするティーンエイジの少年少女が登場して、マレー語、英語、中国語などのさまざまな言葉で想いを伝えようとします。

[B]の文は、「マレー語文法の父」と称されるザアバ (Za'ba) が 1940 年に書いたマレー語教本 (Pelita Bahasa Melayu) に出てくるローマ字とジャウイの説明です。文の構造としては特に難しいところはないと思います。この文章が書かれた 1940 年には、学校でローマ字とジャウイがどちらも使われていたことがわかります。

[C]の文は、1940 年代から 60 年代にかけてマレーシアのイスラム教と教育や政治の発展に尽くしたブルハヌッディン・アルヘルミ (Burhanuddin al-Helmi) が 1946 年に書いた『我らの闘争』(Perjuangan Kita) から引用したものです。文の仕組みはやや込み入っています。

Golongan guru-guru sekolah Melayu の後に「yang…」が 3 つ続っていますが、はじめの 2 つの

- (1) yang rajin membaca
- (2) yang sedar dirinya terhadap kanak-kanak

が golongan guru-guru sekolah Melayu を説明しているのに対して、3 つめの

- (3) yang diajarnya sekarang

はその前の kanak-kanak を説明しています。また、

akan jadi pemuda esok hari, pemuda harapan bangsa

の部分は kanak-kanak に続いています。そして、その後の「bukan guru-guru」以降は最初の行につながっています。

### 問 3

#### 【問題】

ある言語は、在地の文字とラテン文字 (ローマ字) という 2 つの異なる文字体系を使っています。以下の語は、その言語で書かれたものです。それぞれの語には対応するラテン文字表記が付されています。

h h e s	- senam
h e o	- epok
o s h y	- miemang
h h e s h e	- tanah-merah
o s h e o o	- méntigi
h i h e o o	- senamahi
h	- la
h e o	- puak
h y e	- sangka

(1) 以下の3つは、それぞれ日本語の何という単語を示しているでしょうか。

o y h e o , h h e o h y , h e o h

(2) a、e、e、i、o、uの表記法に関する規則をまとめなさい。

(3) 次の語を上での在地文字を用いて書きなさい。

- pisang (バナナ)
- ais krim (アイスクリーム)

### 【解説】

これは、2007年2月にオランダのライデン大学で行われた言語学オリンピックで出題された問題を一部改変したものです。(このもととなる問題が出題された言語学オリンピックについては、菊沢律子「言語学オリンピック in ライデンーオランダより」(『民博通信』第119号、29-32頁)を参照してください。)

在地文字とローマ字の対照表を見ながら、在地文字ではそれぞれの単語が文字をいくつ使っているかを見ていくと、在地文字では基本的に子音だけ表記していること(ただし単独の母音は1つの文字が与えられていること)がわかります。(音節ごとではなく子音ごとです。たとえばCVCVCの単語の場合、音節ごとならCV-CVCの2つの文字で表記されることとなりますが、例題では3つの文字で表記されています。したがって、

CV-CV-Cのように子音ごとに表記されていることがわかります。)

さらに母音をどう表記するかを見ていくと、eまたはiなら文字の上に○印を、oまたはuならば文字の下にv印をつけ、aまたはeなら文字に記号を付けないことがわかります。また、後ろに母音を伴わない子音だけの場合には、文字の下に点を打っていることがわかります。(この部分が(2)の答えになります。)

これがわかれば、あとは文字を組み合わせれば答えが得られます。注意すべき点は、fとpのように在地文字では1つの文字で表記されるものがあることです。

\*

この問いで使われている在地文字の体系は、実はジャウイによく似ています。ジャウイはアラビア文字を使っているので、アラビア語の知識があれば、ジャウイの法則がわからなくてもジャウイで何と書かれているのか勘で当てられることもあります。そこで、アラビア文字を使わずにジャウイの法則に従って単語を作り、それを読めるかを問うことで、法則を法則として理解しているかを問うているのがこの問いです。

アラビア文字で書かれたジャウイなら何となく読めるけれどもこの問題はさっぱりわからなかったという人は、ジャウイがジャウイとして読めているわけではないのかもしれない。ジャウイをジャウイとして読めるようになるため、初級編をおさらいすることをお勧めします。



# 初級編

1. ジャウイ綴りマレー語の書き方と読み方 \*
2. 女優の紹介記事
3. ムスリム同胞団結成の呼びかけ

---

\* 『上智アジア学』第20号(2002年)に掲載された「ジャウイ綴りマレー語の書き方と読み方-20世紀のマレーシア地域を中心に」を『上智アジア学』編集部の許可を得て再録したものです。

## ジャウィ綴りマレー語の書き方と読み方 —— 20世紀のマレーシア地域を中心に ——

山本博之\*

### An Explanatory Note on the Transliteration of *Jawi* in 20th Century Malaysia

YAMAMOTO Hiroyuki\*

The main purpose of this article is to provide a brief explanation on the various aspects of the spelling of *Jawi* that has been specifically used in Malaysia throughout the 20th century. The topics covered in this article are: the basic rules of spelling and the letters of *Jawi*; *alif*; affixes; *ya* and *wau*; the usage of *hamzah*; the traditional spelling; and *ain*. No previous knowledge of Arabic is assumed. The format of each section is based on existing works on *Jawi* spelling such as *Belajar Tulisan Jawi*, but is supplemented with additional explanations and exercises to facilitate learning.

---

\* 東京大学大学院総合文化研究科助手 : Research Associate, Graduate School of Arts and Sciences, The University of Tokyo

はじめに

I 文字と表記の基礎

1. アラビア文字とジャウイ文字
2. ジャウイ表記とローマ字表記

II *alif* (ا)

1. 子音に挟まれた*alif*
2. 「弱いe」と接辞
3. 語頭の*alif*

III 接辞

1. 接頭辞
2. 接尾辞

IV *ya* (ي) と *wau* (و)

1. 母音に続く *ya* と *wau*
2. 語頭の *ya* と *wau*

V *hamzah* (ء) の用法

1. 語尾の-k
2. 連続する母音
3. 接尾辞の-an
4. 接頭辞+ *alif*

VI 慣用的な表記

VII *ain* (ع / ع) の用法

文献案内

練習問題の解答と解説

付録：特徴によるジャウイ文字一覧

## はじめに

本稿は、ジャウイ表記のマレー語をローマ字表記に変換するための法則を整理したものであり、また、それに練習問題と解答・解説を添えることによってジャウイ文書の読み方の独習用教材としても使えることを目指したものである。

ジャウイは、かつてマレー語を書き記すのに用いられていた主要な文字であった。また、近年ではマレー・イスラム圏の各地でその価値を見直す動きが登場している。このようにジャウイ文書はマレー・イスラム圏に関する文献資料として重要なものの1つであると言えるが、それにもかかわらず、これまでジャウイ文書は研究に積極的に利用されてこなかった。それは、特に近現代史では利用可能なローマ字表記マレー語の資料が多いことに加え、多様な住民を包摂する社会のあり方を検討する方向に研究が向かい、そのため特定の宗教との結びつきが強いジャウイ文書は資料として利用価値が低いと判断されたためではないかと推測される。しかしその一方で、ジャウイの表記法についての解説書が手に入りにくいという要因があったことも否定できないであろう。ジャウイ表記について英語やマレー語で書かれた解説書はいくつかあるが、それらは体系的であるよりも網羅的であることに重きを置いたジャウイ表記とローマ字表記の対照表であったり、読者にアラビア語の知識があることを前提にジャウイ表記マレー語の正書法を教えることを目的としたものであったりするため、いずれもジャウイの読み方を一から体系的に習得したい学習者には不向きである。本稿は、それらの解説書を参考にしてジャウイの表記法を整理し、アラビア語の知識を持たない読者にも理解できるような記述を試みたものである。

ジャウイは、マレー・イスラム圏において国籍や民族性による妨げを受けずに広く使用されたこと、また、ローマ字表記と併用されたためもあって政治権力が表記の標準化を強く進めなかったことから、時代や地域や書き手によって表記法がさまざまに異なるという特徴がある。そう考えるならば、多様なジャウイの表記法をすべて記述するのは不可能であるだけでなく、ジャウイの表記法をただ1通りに定まるものとして扱おうとすることこそが

ジャウイを扱う上で最も適切でない態度であると言えるかもしれない。しかし、それにもかかわらず、特定の時代に特定の地域で比較的広く用いられていたジャウイ表記の法則を整理し記述することは、それと異なる時代や地域におけるジャウイ表記と比較検討する際の参考資料を提供するという点でも意味があるはずである。そのため、本稿では、専門家たちによってジャウイ表記の標準化の試みが積極的に提唱され、それが出版物を通じて広く知られていた20世紀のマレーシア地域<sup>1)</sup>を中心に、定期刊行物などで多く用いられていた表記法を取り上げる。ジャウイ表記の法則を記述することに対する前述のような問題を含め、本稿には今後さらに検討・改善すべき点多々あると思われるが、ジャウイ表記の体系的な研究に向けた試みの1つとして本稿を世に問うことには意味があるものとする<sup>2)</sup>。

## I 文字と表記の基礎

### 1. アラビア文字とジャウイ文字

ジャウイとは、アラビア文字、およびマレー語を表記するためにその一部を改変したものの(以下ではこれらの文字を総称して「ジャウイ文字」と呼ぶ)を用いたマレー語の表記法である<sup>3)</sup>。したがって、アラビア文字が認識できないとジャウイ文書を読むことができない。個々のジャウイ文字とローマ字の対応について詳しく取り上げることは本稿の本来の目的ではないが、アラビア語の未習者でもジャウイ文書は読めるとの立場から、この項では個々のジャウイ文字をローマ字に置き換えるために必要な知識を一通り説明する。アラビア文字に関するより厳密な解説については、本号の東長論文や市販のアラビア語の入門書等を参照されたい。

アラビア文字には、

- ① 右から左に向けて書かれる
- ② 前後の繋がり方によって形が変わる

という2つの特徴があり、さらにジャウイ文字には、

- ③ アラビア語では使わない文字をいくつか用いる

という特徴がある。ここで重要なのは②で、アラビア文字はほとんどの文字が「核」の部分と「飾り」の部分から成っており、文字が前後に繋がるときには文字の核の部分だけ書かれ、飾りの部分は(単独で書くときなど)後ろに文字が繋がらないときのみ添えられる。アラビア語の教本などに載っているアラビア文字一覧は、多くの場合、単独で書くときの形を並べたものである。そのため、一覧にある文字の形を覚えてだけでは文字が前後に繋がった中で個々の文字を認識することができない。そこで、以下ではジャウイ文字を核だけ取り出し、形の上からいくつかに分けて説明する。

#### (1) 横線の上下に点がある文字

biniという単語を考える。1つ1つの文字を見ると、アラビア文字では

ب (b)、ي (i)、ن (n)、ي (i)

となり、これを右から左に並べると、

ب ي ن ي

となる。しかし実際にアラビア文字を書くときにはこうはならず、

بينى

とつなげて書く。

ここで重要なのは「横線の上下に点がいくつあるか」であり、下に1つならb、下に2つならi、上に1つならn、(さらに、ここでは挙げられていないが、上に2つならt) となっている。したがって、これを多少変形して

بيني

と書いても bini と読ませることができる。このように、アラビア文字では横線の形に大きな意味はなく、それがまっすぐな横一線であっても多少上下にうねっていても文字を認識する上で違いはないと考えてよい。単語の始まりから終わりまで、右から左へ一筆の横線があるとき、文字と文字を区切るための波状の起伏に注意しながら、横線の上下に点がそれぞれいくつあるかによって文字を認識する。

## (2) 図案の上下に点がある文字

アラビア文字を認識する上で横線の形には意味がなく、上下にうねってもそれ自体は文字として認識しないと上で書いたが、「うねり方」がいくつか特定の図案になると文字として意味を持つようになる。例えば、

ح س ص ع م ك  
↑ ↑ ↑ ↑ ↑ ↑

の矢印で示した部分がそれぞれ個別の文字である。このことは逆に、これらのいくつかの図案と一致していなければ、横線がどのような「うねり方」をしても個別の文字としてみなさないということでもある。

また、これらの文字は、上下に点がつくとそれぞれ別の文字を表わす。例えば、

ح (h)、خ (kh)、ج (j)、چ (c)

のようになる。

したがって、アラビア文字をローマ字に置き換えるためには、横線に現われる「うねり方」の特定の図案を認識し、その図案の上下に点がいくつあるとローマ字でどの文字に当たるかを知らなければならない。この観点からジャウィ文字を整理したものを「特徴によるジャウィ文字一覧」として付録に掲げておいたので、個々のジャウィ文字とローマ字との対照についてはそちらを参照していただきたい。(なお、図案ごとに名前をつけておくと覚えやすいため、付録では参考として筆者のつけた名前を挙げておいた。)

## (3) 後ろに繋がらない文字

上で挙げた例は、どれも横線が途切れずに続く中で「うねり方」の特定の図案が現われる場合であった。これに対し、「うねり方」の図案によっては、単語の途中であってもそこでいったん横線が途切れるものがいくつかある。例えば、

روداني  
↑ ↑ ↑ ↑

の矢印で示した部分がそれにあたる。アラビア文字で横線が途切れるのはこの4つ(およびそれらの上に点がついたもの)だけである<sup>4)</sup>。

#### (4) 繋がり方によって形が変わる文字

ローマ字のhに置き換えられるアラビア文字は複数あるが、そのうち1つは、①文字の繋がり先頭にある場合 ( ه ), ②中間にある場合 ( هـ ), ③末尾にある場合 ( هـ ), そして④単独で書かれる場合 ( هـ ) でそれぞれ形が異なる<sup>7)</sup>。

個々のジャウイ文字を認識してローマ字に置き換える基本的な方法は以上の通りである。この項の残りの部分では、1つのジャウイ文字に2通り以上のローマ字表記がありうるもの、および連結のしかたによって形が大きく変わるもののうち主なものを挙げておく。

- ① 母音にあたるジャウイ文字をローマ字に置き換える際には、法則にしたがって幾通りかの可能性を考えなければならない。その法則は本稿の以下の各節で説明されるが、さしあたっては、*alif* ( ا ) はaに、*ya* ( ي ) はiまたはeに、*wau* ( و ) はuまたはoに置き換える<sup>8)</sup>。
- ② *fa* ( ف ) はローマ字表記にしたときにpとfの2つの可能性がある。(ただし、pにするかfにするかで単語の意味が変わることはない。)
- ③ *qaf* ( ق ) は主としてアラビア語起源の単語に用いられる文字で、ローマ字表記にしたときにkとqの2つの可能性がある。時代が下るにつれてkとする傾向がある。
- ④ *lam* ( ل ) と *alif* ( ا ) が繋がると、「لا」(前の文字から繋がらないとき) または「لا」(前の文字から繋がるとき) の形になる。

#### ◆練習(1)

以下の練習問題では、マレー語の単語をジャウイ文字で表記したものについて、ローマ字表記するとどうなるかを当てるのではなく、(実際のマレー語の単語にはないものも含めて) ローマ字表記にすると何通りの可能性が考えられるかを答えてください。

- ① افي    ② بوكو    ③ لاكي    ④ ريلا

## 2. ジャウイ表記とローマ字表記

前項では個々のジャウイ文字をローマ字に置き換える方法を扱ったが、それだけではジャウイ表記のマレー語を読むことはできない。ジャウイ表記とローマ字表記を比べた場合、ジャウイ表記では一部の母音が落ちるので、母音を補わなければならないためである。

ローマ字表記のマレー語では、子音 (C) と母音 (V) の組み合わせでCVやCVCなどの音節が表わされ、これらの音節が組み合わさって単語ができて<sup>7)</sup>いる。

例: ma-ta (CV-CV)  
ka-wan (CV-CVC)  
tan-pa (CVC-CV)  
lam-bat (CVC-CVC)

ジャウイ表記マレー語も、これと同様にCVやCVCなどの音節を組み合わせで単語を作る。ただし、ジャウイ表記マレー語ではVを入れないで表記する場合がある。そのため、ジャウイ表記マレー語をローマ字に翻字する際には、個々の文字をローマ字に置き換えるだけでなく、必要な場所に適切なVを補わなければならない。

例：بولن b+u+l+n (CVCC) → bu-lan (CV-CVC)

Vを補うためには、ジャウイ表記ではどのような場合にVが落ちるかを知る必要がある。そのため、本稿ではジャウイ表記の「書き方」を整理し、それを通じて「読み方」を理解するという方法をとる。

マレーシア地域におけるジャウイ表記マレー語の表記方法は、なるべくVを落とさない方向で（つまり、ローマ字表記と近づける方向で）進んできており、この過程は現在も進行中である。本稿では、「マレー語文法の父」と称されるザアバによって1930年代に書かれたジャウイ表記の指南書を基礎に、20世紀のかなりの期間にわたってマレーシア地域を中心に広く用いられていた法則を扱う。したがって、本稿における「ジャウイ表記では……である」といった説明は、インドネシア地域や19世紀以前のジャウイ文書については必ずしもあてはまらないことをお断りしておく。（これらについてはできる限り注において言及するよう心がけた。）

## II alif ( ا )

### 1. 子音に挟まれた alif

(1) ローマ字表記のaは、ジャウイ表記ではalif ( ا ) で表わされる。CVCの音節でVがaの場合（「子音に挟まれたalif」の場合）にはalifが落ちる。この法則は、CVCが単語の何音節目に来てても適用される<sup>9)</sup>。

例：ma-kan → ma-kn ماكن  
kam-bing → km-bing كمبيغ  
sam-pah → sm-ph سمفه

alif以外の母音がCVCの形で落ちることはない。したがって、ジャウイ表記をローマ字化する上で、音節ごとに区切った結果がCCとなった場合、CVCの形にするためにi/eやu/oを補うことはない<sup>10)</sup>。

例：ماكن ma-kn → ma-kan (×ma-kin, ma-ken, ma-kon, ma-kun)

#### ◆練習(2)

① تاهن ② سقسي ③ تمقر ④ كوندغ

(2) 二重母音のaiおよびauは、iまたはuが子音である場合と同様に考えて上の法則を適用する<sup>10)</sup>。

例：ra-mai → ra-mi / ra-me رامي  
pi-sau → pi-su / pi-so فيسو

したがって、ジャウイ表記で音節がCVの形になり、Vがalif以外である場合には、CとVの間にaを補う可能性も考える必要がある<sup>11)</sup>。

#### ◆練習(3)

① تافي ② كالو ③ سودارا ④ لنتي

## 2. 「弱いe」と接辞

(1) ジャウイ表記では「弱いe」を表記しない<sup>12)</sup>。

例：ke-cil → k-cil كچیل  
be-sar → b-sr بسر

ジャウイ表記においてCVの形でVが落ちるのは「弱いe」だけであり、Cが単独である場合、「弱いe」以外の母音を補うことでCVの形にすることはない。

例：كچیل k-cil → ke-cil (×ka-cil, ki-cil, ko-cil, ku-cil)

CVCで「弱いe」が落ちた場合、形の上ではaが落ちたものと区別できないことに注意。

例：tem-pat → tm-pt تمفت (tampatとも読める<sup>13)</sup>)  
per-gi → pr-gi فرکي (pargiまたはpargeとも読める<sup>14)</sup>)

「弱いe」を伴うCVは、通常は第1音節に表われる<sup>15)</sup>。ただし、第1音節と第2音節ともに「弱いe」を伴うCVの形をとる単語もあり、その場合、CVCのaが落ちたものと区別できないことに注意。

例：ne-ge-ri → n-g-ri نکري (nagriまたはnegriとも読める)  
se-le-sai → s-l-si سلسي (salsiやselsiなどとも読める)

第2音節に「弱いe」を伴うCVが現われる単語も稀にある。

例：men-te-ri → mn-t-ri منتري  
ten-te-ra → tn-t-ra تنترا

(2) 接頭辞の形にはCVとCVCがあるが、いずれも子音は「弱いe」なので母音が落ちる。

例：men-de-ngar → mn-d-ngr مندغر  
ber-se-tu-ju → br-s-tu-ju برستوجو

接頭辞があると、ジャウイ表記では語頭に子音だけが並び、形の上ではCVCでaが落ちたものと区別ができないので注意。م (m)、ف (p)、بر (br)、تر (tr)、ک (k)、س (s) などが語頭に並んだ場合、CVCでalifが落ちた可能性のほかに、それらが接頭辞である可能性も検討する必要がある。

### ◆練習(4)

① قرمقوان ② فنتس ③ برسیه ④ برساتو

## 3. 語頭のalif

(1) 語頭の「弱いe」

語頭の「弱いe」はalifで表記する。形の上ではaで始まる単語と区別がつかない。

例：em-pat → am-pt امفت



e-mas → a-ms امس

この法則は、接頭語を伴ったために形の上では語頭でなくなった「弱いe」にも適用される。

例：ber-e-nam → br-a-nm برانم

◆練習(5)

- ① انتہ ② امق ③ اغکو ④ اغکن

(2) 語頭の *alif*

アラビア語やサンスクリット語に由来する単語には、ローマ字表記にしたときに語頭の *alif* が 'a' や「弱いe」以外の母音になるものがある<sup>16)</sup>。

例： <i>iblis</i> ابليس	<i>ombak</i> امبق
<i>ikhlas</i> اخلاص	<i>umat</i> امت
<i>iklan</i> اعلان	<i>umpama</i> امقام
<i>ikrar</i> اقرار	<i>undang</i> اندغ
<i>imam</i> امام	<i>undur</i> اندر
<i>indah</i> انده	<i>unta</i> انت
<i>insaf</i> انصاف	<i>untuk</i> انتوق
<i>insan</i> انسان	<i>untung</i> انتغ
<i>intan</i> انتن	<i>upacara</i> اقچار
<i>Islam</i> اسلام	<i>upaya</i> افاي
<i>isteri</i> استري	<i>usaha</i> اساه
<i>istiadat</i> استعادة	<i>ustaz</i> استاذ
<i>istimewa</i> استميو	<i>usul</i> اصول
<i>izin</i> اذن	<i>utama</i> اتم

◆(1) 習練のめとま◆

。いさだくてし記表で字マーロを文各の下以

- ① اکوفاکی باجو هیجو.  
② ابغقندی تانم قادی.  
③ کربو مندی دالم سوغی.

### Ⅲ 接辞

#### 1. 接頭辞

- (1) 語形変化しない接頭辞 (ke-, se-, di-)

ke-はk (ك) のみ、se-はs (س) のみ、di-はd (د) のみ書く。

例: ke-ba-nyak-an → k-ba-nyk-n كبايقن

di-cin-ta → d-cin-ta دچينتا

前置詞のkeとdiも、接頭語のke-やdi-と同じようにkまたはdのみ綴る。

現行のローマ字表記では前置詞のkeやdiをそれに続く名詞と1文字分空けて書くが、ジャウイ表記ではkeやdiに名詞を続けて(ただし、dは後ろに繋がらない文字なので「近づけて」)書く。

例: ke ban-dar → k-bn-dr كبندر

di pa-sar → d-pa-sr دفاسر

- (2) ほとんど語形変化しない接頭辞 (beR-, teR-, peR-)

ジャウイ表記では「弱いe」を書かないため、これらの接頭辞はそれぞれbr-, tr-, pr-となる。ただしRがlになる例外(belajarやbelayar)に注意。

これらの接頭辞は、語幹がrではじまる語につくときはRが落ちる。(ただし、ジャウイ表記を読む場合はbr-, tr-, pr-で始まるので同じこと。)

br-, tr-, pr-で始まる語は、接頭語beR-, teR-, peR-による派生語である可能性がある。後ろに子音が続くときはそのまま切るが、母音が続くときはb-, t-, p-で切る可能性もある。

- (3) 語形変化する接頭辞 (meN-, peN-)

語頭の文字に応じてNの部分が変わる。「弱いe」は書かないので、いずれの場合でも「m+C」「p+C」で始まる。

M+Cまたはp+Cで始まる語は、接頭辞meN-かpeN-による派生語である可能性がある。mやpを取るだけで語幹が得られる場合もあるが、さらに続く文字を変化させる必要がある場合もある。

#### ◆練習(6)

以下の練習問題は、ローマ字表記で何通りの可能性があるかに加えて、その中からマレー語の単語として意味を持つものを答えてください。さらに、その単語が派生語である場合には語幹も示してください。

- ① دتوليس    ② بلاجر    ③ مريندو    ④ فلایر

## 2. 接尾辞

### (1) -nya

ny ( ن ) のみ書く。

例： bu-ku-nya → bu-ku-ny بوكوڻ

### (2) -an

① n ( ن ) のみ書く。

② rで終わる語に-anがつくときは、rとnの間に *alif* を入れる。

例： be-sar-an → b-sr-an بسران

③ aで終わる語に-anがつく場合は *hamzah* を添えて *nun* を書く。(以下、ローマ字表記中では *hamzah* を「'」で示す。)

例： go-da-an → go-da'n كودان

be-la-an → b-la'n بلان

④ 「ローマ字表記ではaで終わるがジャウィ表記では語尾の *alif* を表記しない語」【→ VIの1】に-anがつく場合は、語幹に *alif* を添えてから上の③の法則を適用する(すなわち、 *hamzah* を添えて *nun* を書く)。

例： pem-bu-ka-an → pm-bu-ka'n قمبوكان

du-ga-an → du-ga'n دوگان

⑤ kで終わる単語に接尾辞の-anがつく場合、(マレーシア地域では20世紀半ばごろまで) -kan (-kn) をつけていた<sup>17)</sup>。

例： pa-suk-an → pa-suk-kn فاسوقكن

### (3) その他の接尾辞

例： -i ( ي )

-kan ( كن )

-lah ( له )

-kah ( كه )

### ◆練習(7)

① باچان    ② مماجوكن    ③ فرسامانث    ④ كاتاكنله

## IV *ya* ( ي ) と *wau* ( و )<sup>18)</sup>

*ya* は、CVCの形でもCVの形でも常を書く。

### 1. 母音に続く *ya*

(1) 母音に続いて *ya* がある場合、母音と *ya* の間で音節を区切り、*ya* は *ie* ではなく *y* と読む。

例： ka-yan → ka-yn كايڻ

la-wat → la-wt لاوت

(2) *alif*に続く *ya* を *i/e* と読ませるには、*alif* と *ya* の間に *hamzah* を入れる<sup>10)</sup>。

例：kain → ka'in كَأَيْن

laut → la'ut لَأُوت

◆練習(8)

- ① كاون    ② مائة    ③ لأَيْن    ④ نَأُوغ

2. 語頭の *ya*

(1) 語頭に *ya* がある場合、*i/e* ではなく *y* と読む。

例：ya-yas يَاس

wak-tu وَقْتُو

(2) 語頭の *ya* を *i/e* と読ませるためには、*ya* の前に *alif* を置く。この *alif* は続く *ya* が母音であることを示す標識であり、それ自体は発音されない。

例：i-kan اِيْكَان

o-rang اَوْرَغْ

(3) 同じ形を、*alif* の後で区切って上の 1(1) の法則から *a-y*… と読むこともできる。

例：a-yah اِيْه

a-wan اَوْن

◆練習(9)

- ① اِيْكَور    ② اِيْه    ③ اَوْل    ④ اَوْلُغْ

◆(2) 習練のめとま◆

- ① قَلَايِرْ بَكْرَجَا دَلْأُوْت.  
② اَمَقْتْ اِيْكَورْ اِيْمْ دَجْوَال.  
③ بَاغُونَنْنْ بَرَارْهْ كَسَلَاتَنْ.

V *hamzah* (ء) の用法

1. 語尾の *k*

いくつかの単語では、語尾の *k* を *hamzah* で表記する。

例：ro-kok → ro-ko' رُوْكَوْءْ

en-cik → an-ci' اَنْجِيْءْ

2. 連続する母音

(1) *alif-ya* や *alif-wau* のように、母音が続く場合は後ろの母音を子音と見る【→IVの1(1)】。

ただし、2つの母音の間に *hamzah* がある場合にはどちらも母音と見る。

例：سایغ sa'ing → saing (sayangは *سایغ*)

(2) 母音で終わる単語に接尾辞の *i* がついた形で現われることもある。

例：mncinta'i → men-cin-ta-i منچینتای (من + چینتا + ی)

### 3. 接尾辞の-an

語尾の *alif-hamzah-nun* は、*alif* までの語幹に接尾辞の -an がついたもの【→Ⅲの2(2)

③】。

例：go-da-an → go-da'n کودا (ن + کودا)

#### ◆練習(10)

① فوڪوء ② داتوء ③ ممقوپاي ④ بلان

### 4. 接頭辞 + *alif*

(1) *alif* で始まる語に *se* や *ke* などの接頭辞がつくときは、*alif* に *hamzah* をつける。

例：se + ikat → sa'i-kt *سایکت* (س + ایکت)

※語頭に *sa'* や *ka'* の形がある場合、*hamzah* を *alif* の前に移して *s' + alif* や *k' + alif* の形にして、*s'* や *k'* を接頭辞、*alif* 以下を語幹と考えると捉えやすい。

例：*سایکت* sa'ikt → s'-aikt → se-i-kat (س + ایکت)

*ساندي* sa'ndi → s'-andi → se-an-dai (س + اندي)

(2) *orang* や *ekor* など一部の語では、接頭辞 *se* がつく場合に語幹の先頭の *alif* が落ちて後ろに繋がる形になる<sup>20)</sup>。

例：se-o-rang *سئورغ* (サウラとはしない)

se-e-kor *سئیکور*

#### ◆練習(11)

① داكوي ② كایمانن ③ ساكق ④ ساوله

## VI 慣用的な表記

### 1. CVで「弱いe」以外のVが落ちる例

語尾が *a* の単語は、以下の場合に語尾の *alif* を落とす。

(1) 語尾の直前の音節がCVの形で母音が *a* であり、最終音節の子音が横に繋がる文字（ただし *l* と *ng* は除く）の場合。別の言い方をすれば、ジャウイ表記で *alif* の後に「*roda + l, ng*」以外の子音が来て単語が終わっている場合、ローマ字表記にするときには末尾に *a* を補う。

例：sa-ya → sa-y *ساي*

ma-ta → ma-t مات

(2) 語尾がkaまたはgaである場合。

例：bu-ka → bu-k بوك

mu-ka → mu-k موك

ju-ga → ju-g جوك

me-re-ka → m-re-k مريك

ti-ga → ti-g تيك

## 2. CVCでalif以外が落ちる例

wauを含む音節が2つ続く単語では、一方のwauが落ちる場合がある<sup>21)</sup>。

(1) CV-CVCの形では後ろのwauが落ちる。

例：tu-run → tu-rn تورن

tu-tup → tu-tp توتف

(2) CVC-CVCの形では前のwauが落ちる。

例：kum-pul → km-pul كمقول

rum-put → rm-put رمقوت

音節に区切ってCCの形になった場合、CVCにするためには通常alifを補うが、前後の音節のVがwauである場合にはwauを補う可能性もある。

このため、ジャウィ表記では同じでもローマ字表記では異なる場合もある<sup>22)</sup>。

例：تولغ tu-lng → tolongとも tulangとも読める

### ◆練習(12)

① كات    ② مان    ③ قوله    ④ سغكوه

## 3. その他の慣用表記

◇動詞

a-da → a-d اد (ある/いる)

◇前置詞

pa-da → p-d قد (~に)

ke-pa-da → k-p-d كقد (~に)

da-ri-pa-da → d-r-p-d درقد (~から)

se-per-ti → s-pr-t سقرت (~の如く)

◇疑問詞

a-pa → a-p اف (何)

◇指示代名詞

i-ni → ai-n اين (これ)

i-tu → ai-t ايت (それ/あれ)<sup>23)</sup>

◇人称代名詞

i-a → ai اي (それ)

di-a → di zc دي (彼/彼女)

◇接続詞

ji-ka → j-k جك (もし)

ser-ta → sr-t سرت (そして/参加する)

ma-ka → m-k مك (それで)

◇その他

li-ma → li-m ليم (5)

se-ga-la → s-g-l سكل (すべての)

su-a-tu → su-a-t سوات (或る)

ke-mu-di-an → k-m-di-n كمدين (その後)

de-mi-ki-an → d-m-ki-n دمكين (そのように)

※ kemudian と demikian を除き、ジャウイ表記ではどれも語尾のVが落ちているが、これらに -lah や -kah などの接尾辞がつくときにはジャウイ表記でも語尾のVを書く。

(3) 習練のめとま◆

① جك ساله تولغ تنجوقكن.

② سفرت اف يغ دفرچايأي.

③ ساي كات كغد مريك.

## VII ain (ع / ع) の用法

ain (ع / ع) を伴う単語のローマ字化を考えるにあたって、次の2つの問題がある。

第一に、単語のどの位置にどう置かれるかによって、ainにローマ字のどの文字を当てるかが異なる。(1) 語頭に置かれた場合、(2) 子音に続く場合、(3) 最終音節に置かれた場合でそれぞれ異なり、また、それぞれの場合について①ainが単独で用いられるか②後ろにalifを伴うかでも異なるため、ainの用法を整理するには6通りの場合分けが必要になる。

第二に、ainを伴う単語のほとんどがアラビア語起源のものであり、原語表記に従ってa

以外の母音が落ちているものもあるため、下の例の(1)の②のalamとalimのように、ローマ字表記では異なるけれどジャウイ表記では同じになるものが生じる。ジャウイ表記は現在までなるべく母音を補う方向に進んできたが、ainを伴う単語については、アラビア語の表記をなるべくそのまま用いようとする意識が強く働くためか、原語表記に忠実な表記法も依然として残っており、母音の表記法の時代差・地域差・個人差による揺れが比較的大きいように思われる<sup>24)</sup>。

第二の問題は本稿で扱う範囲を超えているため、ここでは第一の問題として挙げたそれぞれの場合について、ainがどのようにローマ字化されるかの例を挙げることにする。

なお、ainは、前の文字から繋がらない場合 (ع) と、前の文字から繋がる場合 (ع) で形が異なることに注意。

#### (1) 語頭に置かれた場合

- ① 語頭のain (ع) は、単語によってa, i, uのいずれかをあてる。

例: <u>a</u> dat عداة	<u>a</u> lam علم
<u>a</u> mal عمل	<u>A</u> rab عرب
<u>a</u> ska <u>r</u> عسكرا	<u>i</u> badat عبادة
<u>i</u> barat عبارة	<u>i</u> lmu علم
<u>u</u> lama علماء	<u>u</u> mum عموم
<u>u</u> mur عمر <sup>25)</sup>	<u>u</u> nsur عنصر

- ② 語頭のain-alif (عا) は、ほとんどの場合、ainとalifを合わせてaをあてる。

例: <u>a</u> dat عادة	<u>a</u> dil عادل
<u>a</u> lam عالم	<u>a</u> lim عالم
<u>a</u> m عام	<u>a</u> rif عارف
<u>a</u> syik عاشق	
例外: <u>i</u> lmu عالم	

#### (2) 子音に続く場合

- ① 子音に続くain (ع) は、ほとんどの場合akをあてる。

例: <u>a</u> kw <u>a</u> دعوا	<u>t</u> ak <u>b</u> ir تعبیر
<u>t</u> ak <u>l</u> uk تعلق	<u>t</u> ak <u>r</u> if تعريف
<u>m</u> ak <u>l</u> um معلوم	<u>m</u> ak <u>m</u> ur معمور
<u>m</u> ak <u>n</u> a معنا	<u>r</u> ak <u>y</u> at رعية
<u>y</u> ak <u>n</u> i يعني	
例外: <u>K</u> a <u>a</u> bah كعبه	

- ② 子音に続くain-alif (عا) は、多くの場合aaをあてる。

例: <u>f</u> aa <u>l</u> فعال	<u>m</u> aa <u>f</u> معاف
------------------------------	---------------------------



例外：doa دعا

(3) 最終音節の場合

- ① 語尾のain (ع) はkをあてる。

例：rujuk رجوع                      tamak طمع

- ② 最終音節で後ろに子音を伴うain (ع) は、aをあてることが多い。

例：saat ساعة                      tabiat طبيعة

taat طاعة

例外：syair شعر

## 文献案内

*Belajar Tulisan Jawi*. (Abdul Razak Abdul Hamid, Haji & Mokhtar Mohd. Dom, Haji. Kuala Lumpur: Penerbit Fajar Bakti. 1992(1977).)

[英語とマレー語によるジャウイ表記の書き方と読み方の入門書。説明が丁寧で、練習問題も充実しており、初心者の独習に最適。用いられている法則は本稿で扱った法則とほぼ同じだが、ainの用法など、いくつかの重要な項目の説明がない。]

*Pedoman Ejaan Jawi Bahasa Melayu*. (Ismail bin Dahaman & Manshoor bin Haji Ahmad (eds.). Kuala Lumpur: Dewan Bahasa dan Pustaka. 1996.)

[1984年の研究大会に基づいてジャウイ表記検討作業委員会が出版し、ジャウイ表記の新たな指針として参照された*Pedoman Ejaan Jawi yang Disempurnakan* (1986年発行)の新訂版。1991～95年に行われたジャウイ表記に関する研究会議の結果を受けて改訂したもの。ジャウイ表記の法則を19の項目に分けて説明し、外来語の表記法や慣用表記など、*Belajar Tulisan Jawi*で詳しく扱われていないものを多く取り上げている。練習問題はない。-aiのaやCuCuCのuを落とさないで表記する。]

*Daftar Kata Bahasa Melayu*. (Dewan Bahasa dan Pustaka. Kuala Lumpur: Dewan Bahasa dan Pustaka. 2001.)

[ローマ字→発音記号→ジャウイ表記の対照表。上下2巻に基語18,400語、派生語26,600語を収録。上巻の冒頭部分では、*Pedoman Ejaan Jawi Bahasa Melayu*に若干の修正を加えたものがジャウイ表記の説明として掲載されている。]

*Pelita Bahasa Melayu, Penggal I-III*. (Zainal Abidin bin Ahmad (Za'ba). Kuala Lumpur: Dewan Bahasa dan Pustaka. 2001(1941). edisi baharu.)

[[「マレー語文法の父」と称されるザアバによるマレー語の綴り方指南書(1941年発行)の復刻版(全3巻)。もとはザアバが1930年代に執筆したマレー語の表記法や作文技術についての記事を整理したもの。第1巻でジャウイ表記法が整理されている。]

*Daftar Ejaan Rumi-Jawi*. (Dewan Bahasa dan Pustaka. Kuala Lumpur: Dewan Bahasa dan Pustaka. 1999(1988).)

[ザアバによる*Daftar Ejaan Melayu Za'ba* (1938年発行)をもとに、ジャウイ表記検討作業委員会が半世紀ぶりに改訂して作成したローマ字→ジャウイ表記の対照表。冒頭部分には接辞を中心とするジャウイ表記の簡単な説明があるが、あまり参考にならない。-aiのaやCuCuCのuを落とさないで表記する。]

*Perancangan Bahasa: Sejarah Aksara Jawi.* (Ahmat Juhari Moain. Kuala Lumpur: Dewan Bahasa dan Pustaka. 1996.)

[ジャウイを中心にマレー語の表記法の変遷を歴史的に扱った研究書。時代・地域ともに幅広くデータを集め、手際よく整理している。マレーシア地域におけるザアバ綴り以降のジャウイ表記法の変遷についても触れられている。]

*Sejarah Perkembangan Tulisan Jawi.* (Hashim Haji Musa. Kuala Lumpur: Dewan Bahasa dan Pustaka. 1999.)

[トレンガヌ碑文から現在までのジャウイ表記の変遷を扱った研究書。]

*Panduan Menulis dan Mengeja Jawi.* (Hamdan Abdul Rahman. Kuala Lumpur: Dewan Bahasa dan Pustaka. 1999.)

[*Pedoman Ejaan Jawi Bahasa Melayu*をもとに、同書の理解にほとんど寄与しない例を著者が大量に添えて膨らませたもの。]

### 練習問題の解答と解説

#### ◆練習(1)

- ① 2通り (与えられた単語の文字を1つ1つローマ字に置き換えるとa+p+i/e。したがってローマ字表記の可能性はapiとape。)
- ② 4通り (b+u/o+k+u/oでbuku, buko, boko, buku。)
- ③ 2通り (l+a+g+i/eでlagi, lage。)
- ④ 2通り (r+i/e+l+aでrela, rila。)

#### ◆練習(2)

- ① 1通り (文字をローマ字に置き換えるとt+a+h+n。これを母音と子音で表記するとCVCC。これを音節に区切る。まずVに注目して、CVCを1音節と見るかCVを1音節と見るか。[Vがaであり、CVCでVがaならaが落ちるので] CVCの形では音節に区切れない。よって音節に区切るとCV-CC。次に、CCの部分を音節にするには、CVCのVが落ちたものと考えて、補うべきVはa。したがってaを補ってCV-CaCとなり、考えられるのはtahan。)
- ② 2通り (s+k+s+i/eでCCCV。音節に区切るとCC-CV。CCの部分にaを補うとCaC-CV。Vがi/eの2通りであることに注意して、考えられるのはsaksiまたはsakse。)
- ③ 1通り (t+m+p+rでCCCC。CC-CCと区切り、それぞれaを補ってCaC-CaC。よってtamparを得る。)
- ④ 2通り (g+u/o+n+d+ngでCVCCC。まずVに注目してCVと区切るかCVCと区切るか。[①と違ってVがaではないのでCVCの可能性も考えられる。] この部分を保留にしたまま残りの部分を見ると、CVと区切れれば残りはCCC、CVCと区切れれば残りはCC。[Iの「表記と文字の基礎」の段階では] Cのみから成る部分を音節にするにはaを補ってCaCの形にするしかなく、Cが奇数個では全体を音節に区切ることができない。よってCV-CCCとは区切れず、この単語を音節に区切るとCVC-CC。CCの部分に母音を補ってCVC-CaC。Vがu/oの2通りなので、gundangまたはgondangを得る。)

#### ◆練習(3)

- ① 3通り (t+a+p+i/eでまずtapiまたはtapeを得る。さらに、第2音節はCVでVがiの形なのでaを補う可能性が考えられ、これによってtapaiを得る。)

- ② 3通り (k+a+l+u/oでkaluまたはkalo、さらにkalau。)
- ③ 3通り (s+u/o+d+a+r+aでsudaraまたはsodara、さらに第1音節でaを補って saudara。)
- ④ 3通り (l+n+t+i/eでCCCV。音節に区切るとCC-CVで、第1音節にaを補ってCaC-CV。よってlantiまたはlante。さらに、第2音節にaを補ってlantai。)

#### ◆練習(4)

- ① 6通り、ただし稀にさらに3通り (p+r+m+p+u/o+a+nでCCCCCCVVC。Vに注目すると後半部分はCV-VCと切れる。前半のCCCの部分は〔C-CCと区切って、Cの部分は「弱いe」を補ってCeとし、CCの部分はaまたは「弱いe」を補ってCaCまたはCeCとして〕Ce-CaCまたはCe-CeCとなり、peramまたはperem。後半のCV-VCの部分はまずpuanまたはpoan、さらにCVの音節でVがuなのでaを補ってpauan。よって、perempuan、perempoan、perempauan、perampuan、perampoan、perampauanを得る。〔稀であるが、前半のCCCの部分をCC-Cと区切り、CeC-Ceとする可能性も考えられる。これを含めればpermepuan、permepoan、permepauanの可能性も増える。なお、形の上からはCaC-Ceもありそうだが、「弱いe」が「弱いe」以外の母音の後に来ることはないののでこの形は考えない。〕)
- ② 3通り (p+n+t+sでCCCC。CC-CCと区切り、母音を補うとCeC-CaCまたはCaC-CaC。〔①と同じ理由でCaC-CeCは考えない。CeC-CeCについても、語幹が「弱いe」だけでCVC-CVCの形になる単語は考えない。〕よってpentasまたはpantasを得る。この2つはどちらもマレー語で意味のある単語になっている。また、前半部分のCCをCe-Ceととって、Ce-Ce-CaCでpenetasも考えられる。)
- ③ 6通り (b+r+s+i/e+hでCCCVC。CC-CVCと区切り、CCの部分は母音を補ってberまたはbar。よって全体ではbersih、berseh、barsih、barseh。これらのうちマレー語で意味のある単語はbersih。ber-がついているが接頭辞ではなく語幹の一部。また、CCの部分をCe-Ceととればberesihまたはbereseh。)
- ④ 9通り (b+r+s+a+t+u/oでCCCVCV。CC-CV-CVと区切り、CCの部分に母音を補ってberまたはbar、さらに第3音節はCVでVがu/oなのでaを補う可能性もあり、satu、sato、satau。よって全体ではbersatu、bersato、bersatau、barsatu、barsato、barsatau。CCの部分をCe-Ceととればberesatu、beresato、beresatau。)

#### ◆練習(5)

- ① 2通り (a+n+t+hでVCCC。音節に区切るとVC-CC。第2音節にaを補ってantah。さらに、語頭がalif+Cの形なのでalifを「弱いe」と読む可能性も考えられ、entahを得る。)
- ② 2通り (a+m+kでVCC。音節に区切るとV-CC〔VC-Cでは後半が音節にならないため〕。よってamak。さらにemak。)
- ③ 6通り (a+ng+k+u/oでVCCV。音節に区切るとVC-CV。(i)そのままangkuまたはangko、(ii)CVにaを補ってangkau、(iii)語頭を「弱いe」と読んでengkuまたはengko、(iv)先の2つを組み合わせるとengkau。)
- ④ 2通り (a+ng+g+nでVCCC。音節に区切るとVC-CC。よってanggan、さらにenggan。)

◆まとめの練習(1)

- ① Aku pakai baju hijau.
- ② Abang pandai tanam padi.
- ③ Kerbau mandi dalam sungai.

◆練習(6)

- ① 12通り、di tulis (d+t+u/o+l+i/e+sでCCVCVC→C-CV-CVC。第1音節は「弱いe」を補うが、Cがdなのでdi-の可能性も考える、(ii)第2音節はaを補う可能性がある。よって、第1音節が [de/di] の2通り、第2音節が [tu/to/tau] の3通り、第3音節が [lis/les] の2通りとなり、全体では $2 \times 3 \times 2 = 12$ 通り。辞書を引くときは、de-で始まる3音節のものと、di-を除いたtで始まる2音節のものを調べる。)
- ② 1通り、belajar、語幹はajar (b+l+a+j+rでCCVCC→C-CV-CC。よってbelajar。)
- ③ 6通り、merindu、語幹はrindu (m+r+i/e+n+d+u/oでCCVCCV→C-CVC-CV。[me] [rin/ren] [du/do/dau] の $1 \times 2 \times 3 = 6$ 通り。)
- ④ 1通り、pelayar、語幹はlayar (p+l+a+a+y+rでCCVCC→C-CV-CC。[pe] [la] [yar] の1通り。)

◆練習(7)

- ① 1通り、bacaan、語幹はbaca (b+a+c+a+'+n。a+'+nはaで終わる単語に接尾辞-anがついたものなので、接尾辞-anを取り除くとb+a+c+a。これはCVCV→CV-CVで [ba] [ca] の1通り。)
- ② 3通り、memajukan、maju (m+m+a+j+u/o+k+n。CCVCVCC→C-CV-CV-CC。[me] [ma] [ju/jo/jau] [kan] の3通り。)
- ③ 3通り、persamaannya、語幹はsama (p+r+s+a+m+a+'+n+ny。a+'+nは語幹の末尾aと接尾辞-an。よってその後にあるnyも接尾辞 (nya)。これらの接尾辞を取り除くとp+r+s+a+m+a。CCCVCV→CC-CV-CVで、[per/par] [sa] [ma] の2通り、あるいは [pe] [re] [sa] [ma] の1通り。)
- ④ 1通り、katakanlah、語幹はkata (k+a+t+a+k+n+l+h。CVCVCCCC→CV-CV-CC-CC。[ka] [ta] [kan] [lah] の1通り。)

◆練習(8)

- ① 1通り、kawan (k+a+u/o+nだが、母音に続くu/oはwなのでk+a+w+n。CVCC→CV-CCで [ka] [wan]。)
- ② 1通り、mayat (m+a+i/e+tだが、母音に続くi/eはyなのでm+a+y+t。CVCC→CV-CCで [ma] [yat]。)
- ③ 2通り、lain (l+a+'+i/e+nだが、a+'+i/eはai/eなのでl+ai/e+nとなり、CVCの [lain/laen]。)
- ④ 2通り、naung (n+a+'+u/o+ngだが、a+'+u/oはau/oなのでn+au/o+ngとなり、CVCの [naung/naong]。)

◆練習(9)

- ① 4通り、ekor (a+i/e+k+u/o+r。語頭のa+i/eは、(i)a+yと読む、(ii)iまたはeと読む、の可能性もある。それぞれの妥当性は続く部分の切れ方による。(i)ととると

a+y+k+u/o+rでVCCVC→VC-CVCとなるが、VCの形でayとなればaiと綴るはずなのでこの可能性は考えない。(ii)ととるとi/e+k+u/o+r。VCVC→V-CVCで [i/e] [kur/kor]。)

- ② 3通り、ayat (a+i/e+t。(i)語頭をa+yととるとa+y+tとなるのでVCC→V-CCで [a] [yat]。(ii)語頭をi/eととるとi/e+tとなり、VCで [it/et]。)
- ③ 3通り、awal (a+u/o+l。(i)語頭をa+wととるとa+w+lとなるのでVCC→V-CCで [a] [wal]。(ii)語頭をu/oととるとu/o+lとなり、VCで [u/ol]。)
- ④ 2通り、ulang (a+u/o+l+ng。(i)語頭をa+wととるとa+w+l+ngとなるのでVCCC→VC-CC。①と同じ理由からこの可能性は考えない。(ii)語頭をu/oととるとu/o+l+ngとなり、VCC→V-CCで [u/o] [lang]。)

#### ◆まとめの練習(2)

- ① Pelayar bekerja di laut.
- ② Empat ekor ayam dijual.
- ③ Bangunannya berarah ke selatan.

#### ◆練習(10)

- ① 6通り、pokok (p+u/o+k+u/o+'。語末のhamzahは-kなのでp+u/o+k+u/o+k。CVCVC→CV-CVCで [pu/po/pau] [kuk/kok]。)
- ② 2通り、datuk (d+a+t+u/o+'はd+a+t+u/o+k。CVCVC→CV-CVCで [da] [tuk/tok]。)
- ③ 9通り、mempunyai、語幹はpunya (m+m+p+u/o+ny+a+'+i/e。a+'+i/eはaで終わる単語に接尾辞の-iがついたもの。接尾辞を取り除くとm+m+p+u/o+ny+a。CCCVCV→CC-CV-CVで [mem/mam] [pu/po/pau] [nya] あるいは [me] [me] [pu/po/pau] [nya]。)
- ④ 1通り、belaan、語幹はbela (b+l+a+'+n。a+'+nは語幹の末尾aと接尾辞の-anなのでこれを取り除くとb+l+a。CCV→C-CVで [be] [la]。)

#### ◆練習(11)

- ① 6通り、diakui、語幹はaku (d+a+'+k+u/o+'+i/e。2つのhamzahについて、まずd+a+'はd'+alifと考えて、alifで始まる単語に接頭辞のdi-または前置詞のdiがついたもの。u/o+'+i/eは、練習(10)の③④と同じくu/oで終わる単語に接尾辞の-iがついたもの。この2つの接辞を取り除くとa+k+u/oとなり、VCV→V-CVで [a] [ku/ko/kau] の3通り。d'の部分は接頭語と前置詞の2通りあると考えて、全体で6通り。)
- ② 4通り、keimanan、語幹はiman (k+a+'+i/e+m+a+n+n。k+a+'はk'+alifと考えてk'の部分を取り除くとa+i/e+m+n+n。(i)語頭をa+yととればa+y+m+a+n+nとなり、練習(9)の①と同じ理由でこの可能性は考えない。(ii)語頭をi/eととればi/e+m+a+n+nとなり、VCVCC→V-CV-CCで [i/e] [ma] [nan]。k'の部分は2通り。)
- ③ 2通り、seagak、語幹はagak (s+a+'+g+k。s+a+'はs'+alifと考えてs'の部分を取り除くとa+g+kとなり、VCC→V-CC。語頭のalifが「弱いe」とも読めることに注意して [a/e] [gak]。s'は接頭辞しかないので1通り。)

- ④ 2通り、seolah、語幹はolah (s+a+'+u/o+l+h。s'の部分を取り除くとa+u/o+l+h。(i)語頭をa+wととればa+w+l+hとなり、練習(9)の①と同じ理由でこの可能性は考えない。(ii)語頭をu/oととればu/o+l+hとなり、VCC→V-CCで[u/o][lah]。)

#### ◆練習(12)

- ① 1通り、kata (k+a+tだが、alifの後に「roda+l, ng」以外の子音で終わっているので末尾にaを補う。)
- ② 1通り、mana (m+a+n。①と同じく末尾にaを補う。)
- ③ 7通り、puluh (p+u/o+l+h。CVCC→CV-CC。CCにはaを補うが、その前のVがu/oなのでu/oを補う可能性も考えて、[pu/po][lah/luh/loh]。また、CVはaを補ってpauの可能性もあるので[pu/po/pau][lah]。[CVにaを補った場合、全体でCaC-CCの形となるのでCCにu/oを補うことはない。])
- ④ 10通り、sungguh (s+ng+g+u/o+h。CCCVC→CC-CVC。CCにはaまたは「弱いe」を補う。その後のVがu/oなのでu/oを補う可能性も考えて、[sang/seng/sung/song][guh/goh]。また、[se][nge][guh/goh]。)

#### ◆まとめの練習(3)

- ① Jika salah tolong tunjukkan.
- ② Seperti apa yang dipercayai.
- ③ Saya kata kepada mereka.

#### 註

- 1) 本稿では、マレー・イスラム圏のうち1960年代初頭のマレーシア連邦構想の対象とされた地域をマレーシア地域と呼ぶ。現在の国家で言えば、マレーシアのほかにシンガポールやブルネイを含む。
- 2) 本稿は、筆者がジャウィ文書研究会(事務局:上智大学アジア文化研究所・川島緑研究室)において2001年から2002年にかけて行ったジャウィの表記法に関するいくつかの報告を整理したものを「ジャウィ綴りマレー語の書き方と読み方」として『ジャウィ文書研究会ニューズレター』の第8号別冊(2002年12月1日発行)に掲載し、それに加筆訂正を行ったものである。本稿が成る過程でさまざまな問題点を指摘して下さった研究会メンバー、とりわけニューズレターの原稿を丁寧に読んで不明な点を指摘して下さった川島緑氏には、この場を借りて感謝の意を表したい。むろん、本稿の内容に対する一切の責任は筆者個人にある。
- 3) なお、以下の説明中では、アラビア文字とジャウィ文字の両方に当てはまる場合には「アラビア文字」、ジャウィ文字についてのみ当てはまる場合には「ジャウィ文字」と書く。そのため、1つの説明中に「アラビア文字」と「ジャウィ文字」が両方使われることがあるが、「アラビア文字」とある場合には適宜「ジャウィ文字」と読み替えていただきたい。
- 4) 例に挙げた4つの文字は、ローマ字にすると右からそれぞれr、o、d、aとなることから、後ろに繋がらないこの4つの文字をまとめて「roda」と呼ぶ教本もある。付録では、形の上からこの4つを「縦系」と呼び、上の(1)と(2)の文字を「横系」と呼んでいる。

- 5) ③と④は後ろに文字が続かないため、形の上からは上の(3)に分類することも可能であるが、これは文字自体が後ろに繋がらないのではなく、単語の切れ目などで後ろに文字が繋がらない場合に③または④の形をとること、また、接辞がつくつかないかによって同じ単語でありながらも文字が①⇔②、②⇔③、④⇔①と変化することから、この4つは(2)と(3)に分けるのではなくひとまとめにして理解されるべきものと考えられる。付録ではこれらを「特殊系」と呼んでいる。
- 6) 以下、「iまたはe」をi/e、「uまたはo」をu/oと略記する。例えばai/eとある場合、「aiまたはae」を意味する。
- 7) 音節の区切りを明確にするため、本稿では2音節以上からなる単語をローマ字表記する際に音節ごとにハイフンで分けて表わす。また、本稿ではローマ字表記の際に文字に下線を付したものが登場するが、これは説明の便宜のためであり、現在のマレー語のローマ字表記で他の音と区別するために文字の上下に線や点を付すことはない。
- 8) 1音節の単語でも *alif* を落としてCCの形にする。ただし、باب (bab)、خاص (khas)、حال (hal) などのようにアラビア語起源の語彙でもとの表記に *alif* が入っているもの、および دان (dan) については、*alif* を落とさずにCVCの形にする。
- 9) ただし、インドネシア地域ではCVCの形ですべての母音を落とす傾向がある。そのため、ここに挙げた例であれば、makanだけでなくmakinなどの可能性も考えられる。
- 10) 現在のマレーシア地域では、国立言語出版局 (DBP) によるジャウイ出版物などのように、この場合の *alif* を落とさずに表記しているものもある。
- 11) この点を考慮するならば、練習(1)の①~④および練習(2)の②はローマ字表記の可能性がさらに増えることになる。
- 12) マレー語には母音が6種類ある。a、e、i、o、uに加えたもう1つの母音を本稿では「弱いe」と呼ぶ。かつてローマ字表記では文字の上に記号をつけることでeと「弱いe」を区別していたが、現在ではローマ字表記上はeと「弱いe」を区別しない。
- 13) 「弱いe」以外の母音を含む音節の後に「弱いe」を含む音節は来ない。このため、この例でtampetとなる可能性は考えない。
- 14) さらに、IIの1(2)の法則によりpergaiまたはpargaiとも読める。
- 15) 外来語には-ismeのように語尾の「弱いe」を伴うものがあるが、كوميونيسمى (Komunisme) のようにyaの下点2つがない文字で表記する。
- 16) ただし、ここに挙げたものでローマ字表記した場合にoまたはuで始まる単語は、現在ではほとんどの場合 *alif* の後に *wau* を入れて表記する。ローマ字表記でiで始まる単語についても、一部は *alif* の後に *ya* を入れて表記する。
- 17) 以前はローマ字表記でもkを入れていた。現在ではローマ字表記/ジャウイ表記ともにkを入れずに-an (ジャウイ表記では-n) をつける。
- 18) この項の法則は *ya* と *wau* に等しく適用されるため、説明中では *ya* だけ取り上げ、例に *ya* と *wau* をそれぞれ挙げる。
- 19) 上の(1)と見比べてみれば明らかのように、この *hamzah* は異なる単語を書き分ける際に非常に重要な役割を果たしている。ただし実際のジャウイ文書では、この *hamzah* を書かずに(1)と(2)を表記の上で区別しない書き手も少なくない。
- 20) 現在のマレーシア地域では、『ウトゥサン・ムラユ』紙やDBP発行のジャウイ出版物などがこの慣用を廃し、*alif* を入れた表記を用いている。
- 21) この法則は、母音が *ya* である場合には適用されない。
- 22) 現在のマレーシア地域では、『ウトゥサン・ムラユ』紙やDBP発行のジャウイ出版物

などがこの慣用を廃し、*wau*を入れた表記を用いている。

- 23) اتو (atau) を *itu* と読み間違えることが多いので注意。
- 24) 近年では、*ain* を伴う単語も伴わない単語も等しく扱い、なるべく母音を補ってローマ字表記と近づけようとする傾向がある。
- 25) Omar (人名) とも読める。



付録：特徴によるジャウィ文字一覧

(1) 横系 (～に点)

	(点なし)	(上に点)	(下に点)
横線のみ	س (弱いe)	ن n	ب b
		ت t	ي i/e [y]
		ث th	
		ن ny	ن ny
カギ	ح h	خ kh	ج j
			چ c
前歯	س s	ش sy	
楕円	ص s	ض d	
楕円に縦棒	ط t	ظ z	
Cの字	ع (母音)	غ gh	
		غ ng	
扇	ع (母音)	غ gh	
		غ ng	
輪	م m	ف f(p)	
		ق q(k)	
		ق p	
ヒゲ	ك k	ك g	
縦棒	ل l		

(2) 縦系

ر r	ز z
و u/o [w]	و v
د d	ذ dh (z)
ا a	

(3) 特殊系

ه h(先頭)	
ه h(中間)	
ه h(末尾)	ة t(末尾)
ه h(単独)	ة t(単独)

## 初級編 1:女優の紹介記事

これは、『カラム』第1号(1950年7/8月号)の付属ピンナップ写真のモデルとなった女性について説明した記事です。このモデルは、当時数々のマレー映画に主演していた女優です。この記事を一文字一文字にローマ字に翻字してください。

گمبر جديہ - گمبر  
لمفيران سباكي هديه  
كيت دالم كلوارن اين  
ايباله سئورغ فلاكون  
وايشگمبر يغ مشهور دان  
روفاون يايت چيء كسمه  
بوتني فد اول بولن جون  
بغلالو اي تله ملتقن  
جوانن سباكي فلاكون  
وايشگمبر فد شريكة شو  
برادرس تناعي كمدين  
تله منداقة فرستوجوان سمولا باكي منروسكن خدمتن  
ددالم شريكة يغتريسيوة. گمبر اين كيت امبيل خاص  
دغن احسانن دان كيت برهاتف گمبر اين كلق اكن  
مغهباسي تيمبوق ۲ روه مريك ۲ يغ گمبر دان  
مغبركانن كمدان.



## 初級編 2: ムスリム同胞団結成の呼びかけ

これは、『カラム』第69号(1956年4月号)に掲載された「ムスリム同胞よ、今こそ団結せよ!」という記事の一部です。この記事の内容をローマ字に翻字してください。

سودار ۲۱ اخوان المسلمین! کالو سکیران کفد  
کیشان بکیتو سکالی دکبلاکفکن مک بتاف  
لاکي دغن حال کاکمان. اکام کیت اکن منجادی  
هان اکام یغ هیدوف دفوفدوق ۲. اکام یغ هان  
ملیفوتی کفد عبادة سمات. اکام تیدق اکن دافه  
دالیرکن کفد سندي ۲ فرگاؤلن دان کمشارکتن  
ددالم لیغکوغن کیت اسلام. اکام اکن اندور درفد  
یغادسکارغ. ساي برانی منله بهوا دغن کمردیکان  
یغدتوجو ایت مک اکام تیدق اکن مردیکا  
سبکیهان یغدسبوة اوله فنصیحة اکام امنو توان  
حاج حسن، یقتله فرنه معتاکن بهوا توغکو مردیکا  
دولو بارو دافه اکام مردیکا فول. یغدمکین این،  
منوره فنداغن ساي، تیدق اکن دهارف. اکام اکن  
تروس ترجاجه دان دجاجه. اوله یغدمکین کالو

کیت تیدق بکرج دان بگیة اتوق مهمیمنفولکن  
اورغ ۲ کیت منکفکن کملیان اکام، منکفکن جهاد  
مریک، جک فرلو دغن داره سکالیفون، مک ساي  
فرچای بهوا اکام اسلام دملا یا مونکن مالف، مالف  
دان ترلتق تروس ددالم فنجاجهن. کواجیفن کیت  
مستی بر ایغه ۲ دان کواجیفن کیت برسام ساعه پسر  
دالم فرکارا این. برجهادله سودار ۲۱ اتوق منکفکن  
کلمه الله .







# 中級編

1. 翻字の間違い探し
2. 写真を読み解く
3. 雑誌記事の翻字
4. 蒸気船会社の広告

## 中級編 1: 翻字の間違い探し

以下は『カラム』第2号（1950年9月号）の記事を行ごとにジャウイからローマ字に翻字したのですが、いくつか間違っている個所があります。どこが間違っているか探してください。（記事は4ページ後にあります。）

Nadrah: Anak Angkat yang Menggemparkan  
(Oleh Ahmad Lutfi)

p.29, l.1

1. Perkara Nadrah anak angkat Cik Aminah yang adilan anak
2. seorang sarjent Belanda itu adalah menjadi suatu
3. perkara yang sangat2 menggemparkan. Nadrah itu telah diberikan,
4. menurut keterangan Cik Aminah kepadanya di Jawa didalamas
5. hampir Belanda menyerah kepada Jepun pada tahun 1942 dahulu.
6. Menurut Cik Aminah bahawa Nadrah itu adalah suatu anak yang
7. tidak disaingi oleh kedua ibu bapanya dan aulihhasib
8. itulah ia diberikan kepadanya sehingga akhirnya Nadrah telah
9. dibawa olehnya ke Kemaman (Terengganu). Apabila Jepun telah
10. menyerah maka khabarnya, mengikut pengakuan ibu bapa Nadrah, ia
11. telah mencari anaknya menerusi sengkang merah dan akhirnya
12. Konsul Belanda Singapura ini telah mendapat tahu akan adanya
13. Nadrah itu di Kemaman dan oleh yang demikian ia telah
14. diminta datang ke Singapura ini
15. dan kamdin Konsul itu
16. menuntut kepada mahkamah sepai
17. Nadrah itu diserahkan kepadanya
18. sepai dibalikkan kepada ibu
19. bapanya di negeri Belanda. Permohonan
20. Konsul Belanda itu telah
21. dibicarakan di dalam mahkamah
22. yang tertetap dan akhirnya pada
23. hari Jumaat 19 mi 1950



24. Tuan Hakim Besar telah memerintahkan
25. supaya Nadrah itu diserahkan kepada
26. Konsul Belanda yang kemudian akan
27. mencadangkan supaya Nadrah itu
28. dihantarkan kepada ibu bapanya
29. di Holland.

p.29, l.2

1. Setelah keputusan itu diisytiharkan maka terjadilah
2. suatu ruait yang sangat menyedihkan di bangunan mahkamah
3. itu yaitu suatu perbuatan yang sangat sedih di dalam mana
4. Nadrah dengan seratomrat memaut ibu angkatnya lalu tidak
5. mau melepaskannya dengan iramat dan raungnya yang menjadikan
6. orang2 yang melihat itu bukannya sahaja beras sedih
7. tetapi mengeluarkan iramat kerana merekit menimbang rasa
8. kepada penegungan2 yang diderita oleh kedua2 merekit yaitu
9. akan diceraikan pada hal mereka telah berperasan sebagai
10. ibu dengan anak. Setelah berita2 yang sedemikian ini tersiar
11. di dalam akhir2 maka perasaan timbang rasa telah diberi bukan
12. sahaja oleh penduduk Singapura tetapi juga oleh
13. orang2 di lain2 nampak di Semenanjung Tanah Melayu ini.
14. Dengan kejadian ini maka berita tentang kejadian Nadrah
15. itu menjadi suatu berita yang sangat menggemparkan.
16. Bagi memandang kejadian yang het ini maka Tuan
17. M A Majid telah mengambil perhatian yang istimewa lalu
18. memimpin Cik Aminah yang dengannya tiga hari kemudian
19. terdengarlah bahawa Cik Aminah menuntut olang bicara kepada

p.30, l.1

1. keputusan itu. Dialamas itulah beberapa buah persekutuan
2. Islam di sini mengadakan mesyuarat2 yang tergepar dengan sulit
3. bagi menentukan yang merekit akan menyokong perkara Nadrah
4. itu apabila dikehendaki walaupun sekiranya mereka meminta

5. ulang bicara sehingga kepada privy kaunsil oleh kerana
6. yang demikian menjadi kewajipan mereka tetapi yang
7. menglolakan pada masa itu Tuan Majid adalah dikatakan
8. menyanggupi kesemuanya dan yang demikian permintaan ulang bicara
9. pun diadakan yang akhirnya Nadrah diserahkan semula kepada
10. Cik Aminah dengan alasan bahawa Konsul Belanda itu
11. (yang menuntut pada masa itu) tidak mempunyai suatu surat
12. kuasa daripada kedua2 ibu bapanya antuh mendatangkan tuntutan
13. itu. – Tuntutan yang didatangkannya hanyalah sebagai sifatnya
14. ukel kerajaan Belanda di negeri ini yang tidak dapat
15. digunakan di dalam perkara yang tersebut itu.
16. Dengan keputusan ini bermakna bahawa terbuka lagi
17. kepada kedua2 ibu bapa mereka itu bagi mendatangkan
18. tuntutannya dan dasin terletaklah suatu ketentuan bahawa
19. mahkamah telah memberi timbang rasanya lalu meletakkan kepercayaan
20. kepada Cik Aminah bagi mengaul anak itu. Menurut fikiran
21. ahli undang2 bahawa langkah mahkamah itu sebagai suatu
22. percubaan meletakkan kepercayaan kepadanya yaitu adakah
23. Cik Aminah boleh bertunggu ajuab kepada Nadrah itu atau
24. tidak. Tetapi libhakur tiga hari sesudah Nadrah
25. dibalikkan kepada Cik Aminah lalu di bawah ke tempat tumpangannya
26. di rumah Tuan Majid maka suatu berita yang sebagai “bom”
27. lakunya telah tersiar menyatakan bahawa Nadrah telah berkehuin
28. dengan E Mansur Adabi dengan kesukaannya sendiri.
29. Dengan kerana terbit berita ini maka berbagai2 pikaran
30. telah terbit dan berbagai2 masih telah timbul. Menurut karad
31. pengenalan Nadrah amornya 14 tahun 5 bulan tetapi menurut
32. surat beranak yang dibawa oleh Konsul Belanda adalah
33. menunjukkan ia beranak pada 23 March 1937 yang menjadikan

p.30, l.2

1. amornya baharu 13 tahun 5 bulan. Menurut undang2 negeri
2. ini bahawa seseorang perempuan boleh dikahwinkan oleh

3. pengaulan (ibu bapanya) dalam amornya 13 tahun tetapi
4. seseorang perempuan itu boleh berkahwin mengikut
5. kesukaannya sendiri dalam amornya 21 tahun tetapi undang2
6. ini tidak berjalan kepada orang2 Islam dan mengikut
7. ke dan Nadrah sekarang menurut umurnya kahwinnya dengan
8. E Mansur Adabi itu sah tidak dapat dipecahkan.
9. Di sinilah menjadi suatu perkara yang rumit sekali
10. dan inilah juga yang menjadi sebahagian daripada mereka2
11. yang menimbang rasa kepada Cik Aminah itu telah tidak
12. berpuas hati kepada angkara yang tersebut sebab memalumlah di dalam
13. negeri yang terbuka dan modon sekarang perkahwinan di dalam
14. umur yang muda itu adalah sangat2 dibantah terutamanya
15. pula di dalam keadaan Nadrah yang keadaan perbicaraannya pada mas
16. ini masih di awang2 sahaja kerana keputusan mahkamah
17. ulang bicara itu masih membukakan lagi suatu peluang
18. kepada ibu bapanya mendatangkan tuntutan katas dirinya.
19. Tidaklah saya ketahui adakah langkah mengkahwinkannya
20. itu sebagai suatu langkah untuk melepaskan cengkaman
21. kedua2 ibu bapanya ke atas Nadrah atau pun perbuatan itu
22. dengan kerana sukanya sendiri. Dengan adanya perkahwinan ini
23. hingga masa menulis ini saya tidak mengetahui begimankah
24. kelak duduknya perkara Nadrah itu adakah ia akan dipatasa
25. dengan tidak kemahuannya diserahkan kepada ibu bapanya atau
26. adakah pihak yang menuntut itu kelak menimbang rasa ke atas
27. kedua2 ibu angkat dan anak angkatnya itu yang telah berikat
28. roh mereka itu seolah2 menjadi satu – tidak dapat
29. dipisahkan dan jika dipisahkan juga harus kelak
30. akan membawa marabahaya kepada salah satu jiwa mereka itu.
31. Atas perkara yang demikian ini hendaknya undang2 tidak
32. akan mengikat kepadanya tetapi yang mengikatnya ialah perasaan yang
33. syafanuh2 timbang rasa diberi kepada mereka itu adanya.

## نُضْرَه - اِنُقْ اَعْلَتَ بَغِ مَنَافِرِڪَن

(اوله احمد لطفي)

فرڪارا نضره انق اشڪه چيء امينه بَغِ اصلن انق شورغ سرچنه بلندا ايت اداله منجادي سوات فرڪارا بَغِ سااعه ۲ مفڪمفرڪن. نضره ايت تله دبريڪن، منوره كتر اغن چيء امينه كفدان دجاوا ددالمان همفير بلندا ميره كقد جفون فد تاهون 1942 دهولو. منوره چيء امينه بهوا نضره ايت اداله سوات انق بَغِ تيدق دسايعي اوله كدوا ايو بفان دان اوليهسبب ايتوله اي دبريڪن كفدان ههك اخرن نضره تله دباوا اولبهن ككامن (ترغكانو) افيل جفون تله ميره مك خبرن، مكيكوه فهاكوان ايو باف نضره، اي تله منچاري انقن متروسي سفكغ ميره دان اخرن قنصول بلندا سيفافورا اين تله مندافه تاواكن اداان نضره ايت دكامن دان اوله بخدمكين اي تله

دمتنا داتغ كسيفافورا اين دان كمدن قنصول ايت منتوه كقد محكمه سفاي نضره ايت دسرهنن كفدان سفاي دباليڪن كقد ايو بفان دنكري بلندا. فرموهنن قنصول بلندا ايت تله دبچاراكن ددالم محكمه يفترتوتف دان اخرن فد هاري جمعه 19 مي 1950 توانحاكم بسر تله مرنتهكن سفاي نضره ايت دسرهنن كقد قنصول بلندا بَغِ كمدن اكن منجادشكن سفاي نضره ايت دهتركن كقد ايو بفان دهولند.

ستله كفوتسن ايت داشتهاركن مك ترجاديله سوات روايه بَغِ سااعه ۲ مديهكن دباغونن محكمه ايت يايت سوات فرواتن بَغِ سااعه سديه ددالمان نضره دغن سرتمرت نماوه ايو اغكن لالو تيدق ماو ملفسكنن دغن ايرمات دان راوغن بَغِ منجاديڪن اورغ ۳ بَغِ مليهه ايت بوكن سهاج براس سديه تنافي مقلواركن ايرمات كران مريڪيت منيمغراس كقد فنكوشن ۲ بقددريتا اوله كدوا ۲ مريڪيت يايت اكن دچرايكن فد حال مريك تله برافسان سباكي ايو دغن انق ستله برت ۲ بَغِ سدمكن اين ترسيار ددالم اچار ۲ مك فراسان منيمغراس تله دبري بوكن سهاج اوله فدودق سيفافورا تنافي جوڪ اوله اورغ ۲ دلاين ۲ نمقه دسمننجوغ تانهملايو اين. دغن كجادين اين مك برت تننغ كجادين نضره ايت منجادي سوات برت بَغِ سااعه مفڪمفرڪن. باكي مندغ كجادين بَغِ هبه اين مك توان عيم ايه مجيد تله مغميل فرهاتن بَغِ استمبوا لالو ميمفين چيء امينه بَغِ دغن تيگ هاري كمدن تردهرله بهوا چيء امينه منتوه اولغچارا كقد



نضره برسام ۲ دغن ايو اغكن چيء امينه

عمورن بهارو 13 تاهون 5 بولن. منوره اوندغ ۲ نگري  
 اين بهوا سسورغ فرمقوان بوله دکيوينکن اوله  
 فغالون (ايو بفان) دالم عمورن 13 تاهون تنافي  
 سسورغ فرمقوان ايت بوله برکھوين مغيکوه  
 کسوکاڻن سنديري دالم عمورن 21 تاهون تنافي اوندغ ۲  
 اين تيدق برجالن کفد اورغ ۲: اسلام دان مغيکوه  
 کدان نصره سکارغ منوره عمورن کھوين دغن  
 امنصور ادبي ايت صح تيدق دافه دفيھکن.  
 دستيله منجادي سوات فرکارا يغ رومي سکالي  
 دان اينله جوکک يغ منجادي سهاکين درفد مريک ۲  
 يغ منمغراس کفد چي امينه ايت تله تيدق  
 برفواسهاتي کفد اشکارا يفترسبوه سبب معلومه ددالم  
 نگري يفتربوک دان مودرن سکارغ فرکھوين ددالم  
 عمور يغ سمودا ايت اداله ساغه ۲ دننه تراوتمان  
 فول ددالم کادان نصره يغ کادان فرجارجان فدعاس  
 اين ماسيه داواغ ۲ سهاج کران کفوتسن محکمه  
 اولغيجارا ايت ماسيه ميوکاکن لاکي سوات فلواغ  
 کفد ايو بفان منداتفکن تنتونن کاتس دبرين.  
 تيدق له ساي کتهوي ادکه لغکاھن مغيکوينکن  
 ايت سباکي سوات لغکه انتوه ملفسکن چفکاھن  
 کدوا ۲ ايو بفان کاتس نصره اتوفون فرجاتن ايت  
 دغن کران سوکان سنديري. دغن ادان فرکھوين اين  
 هفکک ملس منوليس اين ساي تيدق مفتهوي بکيمانکه  
 کلق دودفن فرکارا نصره ايت ادکه اي اکن دفقسا  
 دغن تيدق کماھوانن دسرھکن کفد ايو بفان اتو  
 ادکه فيھق يغ منننوه ايت کلق منمغراس کاتس  
 کدوا ۲ ايواغکه دان افق اغکتن ايت يفتله برايکه  
 روح مريکثيت سوله ۲ منجادي ساتو - تيدق دافه  
 دفيھکن دان جک دفيھکن جوکک هاروس کلق  
 اکن مياوا مريها کفد ساله ساتو جيوا مريکثيت  
 اتس فرکارا يفلدماکين اين هندفن اوندغ ۲ تيدق  
 اکن مغيکه کفدان تنافي يغ مغيکتن اباله فراسان يغ  
 شفوه ۲ تيمغراس دبري کفد مريکثيت ادان.

کفوتسن ايت. دالماس ايتوله براف بواه فرسکوان  
 اسلام دسين مغادکن مشواره ۲ يفترکمفر دغن سولي  
 باکي منتونن يغ مريکثيت اکن موکغ فرکارا نصره  
 ايت افيل دکھدقکي ولوفون سکيران مريکک منما  
 اولغيجارا سھفک کفد فرري کاوندل اولهھکران  
 يفلدماکين منجادي کواجيفن مريکک تنافي يغ  
 مغلولاکن فد ماس ايت توان مخيد اداله دکناکن  
 مغيکوفي کسموان دان يفلدماکين فرمتان اولغيجارا  
 فون دادکن يغ اخرن نصره دسرھکن سمولا کفد  
 چي امينه دغن الاين بهوا فنصول بلندا ايت  
 (يغ منتوه فد ماس ايت) تيدق مھوياي سوات سورة  
 کواس درفد کدوا ۲ ايو بفان انتوه منداتفکن تنتونن  
 ايت - تنتونن يفلداتفکن هباله سباکي صفتن  
 وکيل کراجان بلندا دنگري اين يغ تيدق دافه  
 دکوناکن ددالم فرکارا يفترسبوه ايت.  
 دغن کفوتسن اين برمعني بهوا ترپوک لاکي  
 کفد کدوا ۲ ايو باف مريکثيت باکي منداتفکن  
 تنتونن دان دسين ترلقله سوات کتسوان بهوا  
 محکمه تله ميري تيمغراسن لالو ملتفکن کفرجان  
 کفد چي امينه باکي مفاول اتق ايت. منوره فيکران  
 اهل اوندغ ۲ بهوا لغکاھن محکمه ايت ساکي سوات  
 فرجويان ملتفکن کفرجان کفدان يايت ادکه  
 چي امينه بوله برتفکوغجواب کفد نصره ايت اتو  
 تيدق. تنافي ليهکورغ نيک هاري سسده نصره  
 دنبا ليکن کفد چي امينه لالو دباوا کتسفه نومفاغتن  
 درومه توان مخيد مک سوات بریت يغ سباکي "بوم"  
 لاکون تله ترسيار ميتاکن بهوا نصره تله برکھوين  
 دغن امنصور ادبي دغن کسوکاڻن سنديري.  
 دغن کران تربيه بریت اين مک برباکي ۲ فيکران  
 تله تربيه دان برباکي ۲ مسئله تله تيمبول. منوره کارد  
 فغانن نصره عمورن 14 تاهون 5 بولن تنافي منوره  
 سورة برانق يفلدباوا اوله فنصول بلندا اداله  
 منجوفکن اي برانق فد 23 مرج 1937 يغ منجاديکن

## 中級編 2: 写真を読み解く

### 1. 表紙写真

次のページは、シンガポールで出版されていた月刊誌『カラム』の1957年1月号の表紙です。表紙の下に書かれている説明を読んで、以下の問いに教えてください。

問い

- (1) 写っている人物は誰ですか。
- (2) どこで撮影された写真ですか。
- (3) なぜこの二人が一緒に写っている写真がこの時期にこの雑誌の表紙に取り上げられたと思いますか。

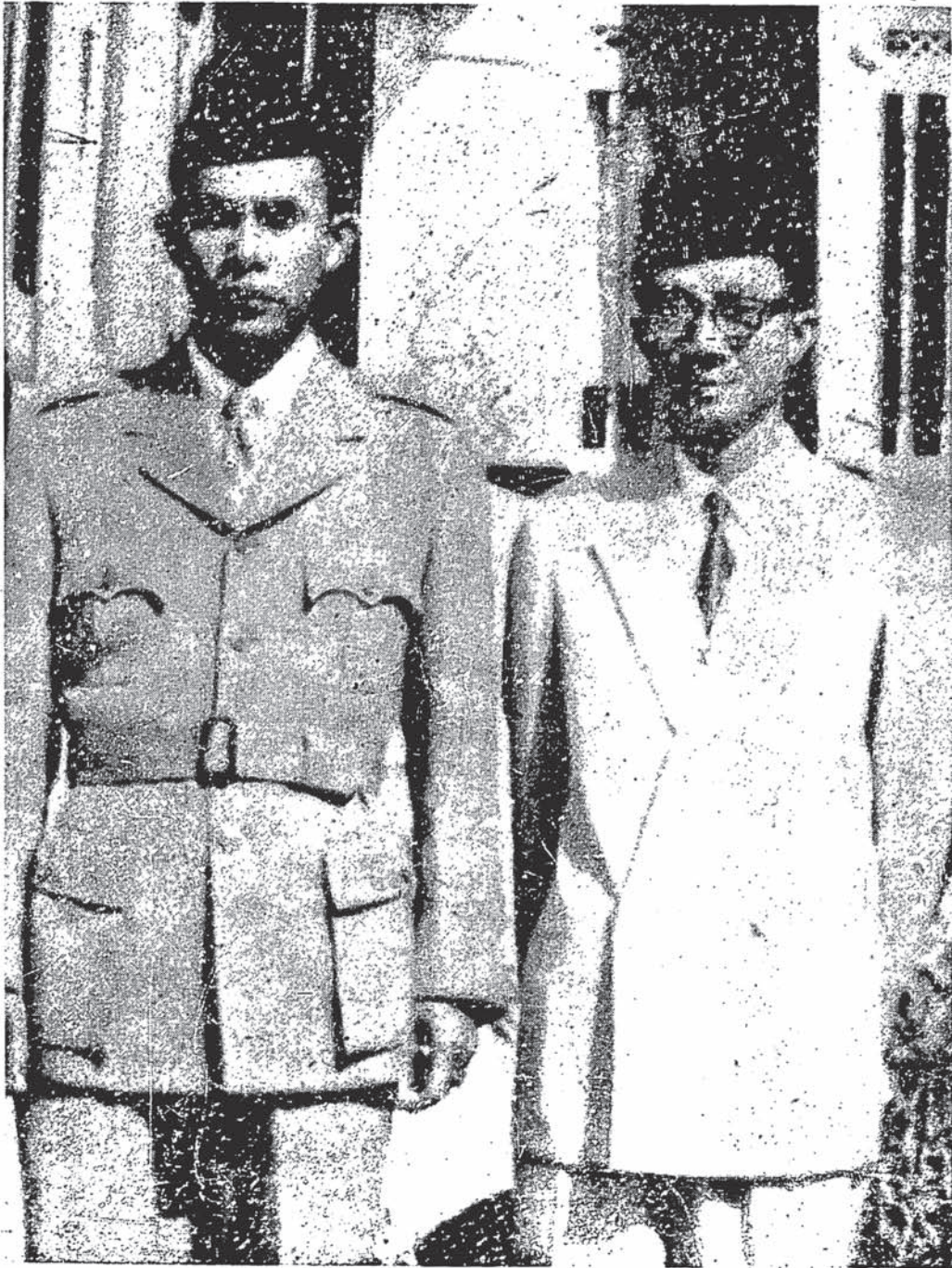
### 2. 挿入写真

2 ページ後から掲載されているのは、『カラム』の1957年10月号の記事です。この記事に挿入された写真とその下に書かれている説明をもとに、以下の問いに教えてください。

問い

- (1) 写っている人々は何をしているところですか。
- (2) 撮影地はどこですか。
- (3) いつ撮影された写真ですか。

# تلم



لاٹر بلاکھ فرکارا یقادیو تکن دعولو، دعولو دکتاکن اوله اورش ۳ اندونسیا، بیوا اورش ۳ دارالاسلام یغ داتغ دری  
اچیہ دیارکن اوله کراچان، تانانی دالم گمبر این کلیباتن کونسول اندونسیا دفیثغ توان موکالیه سدغ مپیو۶ کرنل  
حسن صالح فقلیما اگو۳ دارالاسلام داچیہ تتکل تیبیا دفیثغ دغن تاکی فکان رسعین .

## خال احوال یغ معنای کهنچوران اندونسیا

فد. فرایان 17 اوکس. یغ لالو یایت هاری کمر دیکان اندونسیا، فرسیدنه سوکرونو ددالم  
فیداتون مغانجورکن، سفای اومه اندونسیا مهادفی فقهیدوفن بارو، فقهیدوفن یغ سرب  
سدرهان - جاغن برلیهن ۲. "نیو لایف موبمنه" این دانجورکن اولهن سفای مریتنکن  
تغکوغن ۲ اومه اندونسیا یغ سدغ مهادفی ککلیسهن.

(اوله: وکیل خاص کیت)

لاین ۲۳. دان بیراف بایق فول اورغ ۲ یغ داوندغ  
اوله کراجان سفای ملاوه اندونسیا یغ ارتین  
بهوا رعیه برتکوغشجواب ددالم حال این، رعیه  
یغ میکول سکل بیان ۲. این دان فیکولن رعیه  
ایت ترساعه هیتن فد حال جکاله واغ ۲. ترسوه  
دجادیکن الة فمباغونن نکارا مک سوده تننو یغ  
دمکین ایت اکن معورشکن بیان دان تغکوغن  
رعیه. کادان یغ دمکین اینله جوک منجادی ساتو  
سبب یغ بسم مغان دائره ۲ یغ حاصل محصول  
دفوستکن کایو کوت، ماسیغ ۲ سکارغ مقمیل  
لشکه برسندپری ۲. سبب ۲ تیدق لاین ایاله کران  
دستکن رعیه یغ تیدق تاهن مندریتا دان تیدق  
تاهن ملیه فریواتن ۲ یغ میولوق مات یغ دلاکون  
اوله فمفین ۲ دایو کوت.

سیافکه اومه یغ تاهن ملیه کادان ۲ دان  
فریواتن ۲ فمفین ۲ یغ مشهوروف سکل کمیواهن  
دان حاصل محصول اندونسیا اتوق مصلحه  
دیرین؟ دان سیافکه داتارا اومه یغ تاهن ملیه  
سکل سسوات هان دغن دلاکون دغن کماهوان  
فمفین ۲ ایت سهاج سدغن اورغ یغ دغدغ  
اوله رعیه سباکی اورغ ۲ یغ برکولیهن دان  
دفرچیا، دکتیکن منته ۲ بکتیو سهاج سهک  
دغن کادان نکارا منجادی کوچر کوچیر؟  
سکارغ اومه سوده ملیه بهوا فمفین ۲ یغ

انجوران این یغ سبرن، باکی اورغ ۲ یغ  
متهوی، اداله ساتو انجوران یغ منترتاواکن.  
دسبکن کهدوفن رعیه تراوتما دایو ۲ کوت  
بوکن تیغکی دان بوکن فول ددالم کهدوفن  
سدرهان، تنافی تله لیواه کباوه دغد سدرهان،  
کران کیت ماسیه ملیه فندریتان هیدوف، تراوتما  
دفلو جاوا ددالم مان بیراف بایق مانسی یغ  
هیدوف تیدق برومه، تیدور برکلیمفاغن دمان یغ  
بوله دان ماکن همفیر ۲ دغن کادان یغ ساد ۲.  
فندودق ۲ داتاهملایو یغ بارو مردیکا فاتوتله  
مغمیل فلاجران ددالم حال این دسبکن چارا ۲  
فمرته یغ برجالن تیدق لاکي داساسکن کفد  
کسجهتران رعیه تنافی داساسکن کفد کماهوان  
دان سنتیمین برسندپری سهک داتارا فمفین ۲  
اتو اورغ بسر ۲ اقبیل دبندیکن هیدوفن دغن  
رعیه جلات اداله امقام لایه دغن بومی. اورغ ۲  
برتان: افکه کران مریک تله برجواغ بکتیو لام  
مک مریک برحق هیدوف سنغ دان رعیه جلات  
مستی مندریتا دان منکوغ کسوساهن کران  
مریک هان سباکی اورغ عوام؟

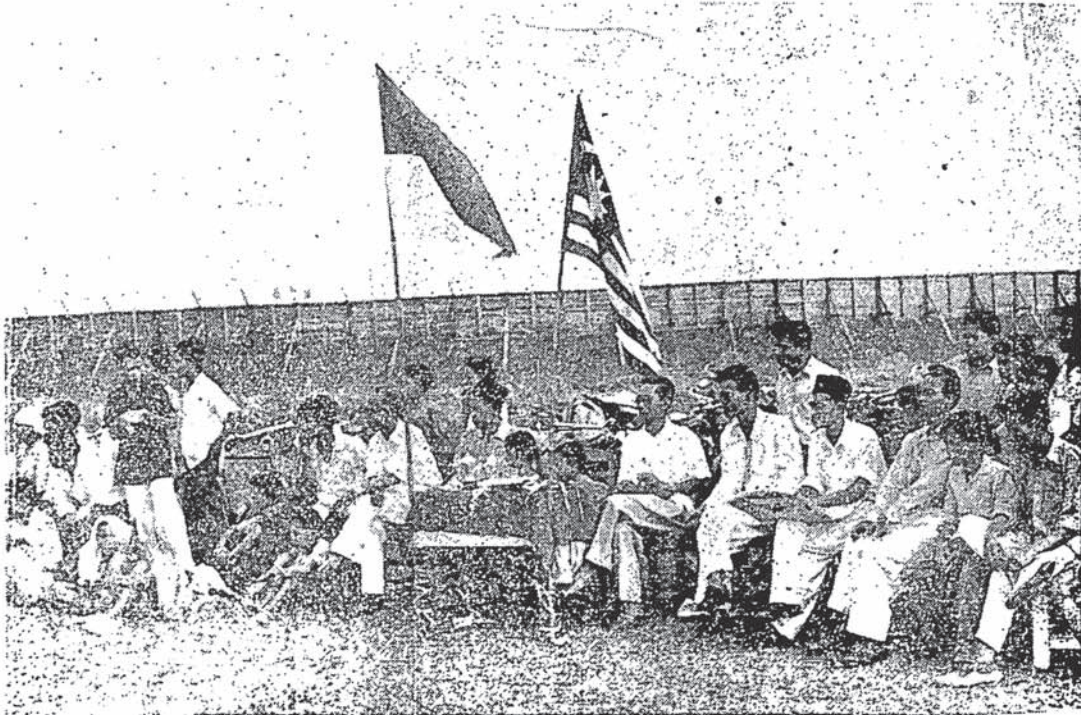
رعیه ملیه اف یغ دکتاکن سدرهان ایت هان  
دالم اوچافن سهاج، کران ماسیه ترایغ ۲ دهدفن  
مات رعیه برملیون ۲ واغ دکوناکن کران فرجلان  
فرسیدنه کأمریکا دان جوک کموسکو دان



مڻاشتهارڪن ڪمريڪان فڊ تاهون 1945 ايت اڌاله  
سبڻن اورغ يڻ منجانڪن ڪرڇ ۲ يڻ ترفقسا فڊ  
فرمولاءنن، ي ايت مريڪ فڊ وقت مڻاشتهارڪن  
ڪمريڪان 17 اوڪس 1945 دهوجڻ فيستول  
فمودا ۲ دان اومه مڻههوي بهوا فيستين ۲ يڻ  
مڻاڪن اڪن منجادي ڪتوا ڪوريلا دالم ماس  
فرجواڻ برمنديڪن داره ايت ليه سنڻ دتاون  
اوله موهه دان ريزا دتاون اوله موهه سڪايفون  
جاننن اد انتوق ڪلوار ميمفين رعية ملاون  
فمروتتڪن دڻن سچارا ڪوريلا دجوڪجا دهواو.

رعية اندونيسيا اڌاله مڻرتي دان مڻههوي  
سبڻن اورغ: افڪه اي فتريوه يڻ فاتوهه دفوجا  
اوله رعية اوله بڻسا دان نوسا اتو اڌڪه اي  
سورغ فڻچوهه! رعية اندونيسيا سهاروسن

مڻڪاجي سچاره فرجواڻن اندونيسيا.  
سبب سفرت جوڪڻ دملايا سباڪي سبواه  
نڪارا يڻ مريڪا سفاي مڻههاتڪن دڻن چرمة  
سڪل سسوات يڻ دجانڪن دان منجاديڪن  
اندونيسيا سباڪي بنديڻن. فرڪارا ۲ يڻ ساي  
توليس اين بوڪن هڻڻ مڻورڪن حال ۲  
دانونيسيا بوڪنله تجوان ساي انتوق مڻورڪن  
نڪارا اندونيسيا تانسي انتوق مڻوفس ڪاڌان  
اهل ۲ سياه دانونيسيا يڻ ميسوڻڪن چيتا  
برنڪارا دڻن بايڪ دان منجادي امان مڻور  
انتوق سلامان. حال ۲ يڻ ساي سبوتڪن اين  
دهارف دافه فرهاتين سفاي ڪلڪ منجادي  
فندوان هيڊوف باڪي اومه ملايا ددالم مڻههافي  
چيتا ڪسورن انتوق رعيڻ.  
— برمسوڻ.



سوات فمنداڻن دالم فرايان ڪمريڪان تانهلايو يڻ دادڪن دميدان دلي بهارو ۲ اين.

### 中級編 3: 雑誌記事の翻字

これは、シンガポールで出版されていた月刊誌『カラム』の1959年11月号の記事です。記事のタイトルおよびそれに続いて枠で囲まれている部分をローマ字に翻字してください。

【読んでみよう①】



シンガポールのマレー・ヘリテージ・センターの看板（2005年12月撮影）

# نگار اسلام

## کعادیلن دالم لافغن ایكونومي دان فولیتیک

ساله ساتو داسر یخ اوتام ناگی سبواه نگارا اسلام ایاله کعادیلن دالم لافغن اقتصاد. کالو اورغ ترکخ اکن فهم سوشنالیزم یخ منسوة فرسمان حق دالم فقهیدوفن دان سوات سوسنن اقتصاد یخ عادل اتوق سکل لافسن رعیه مک ترکغله کیت بهوا نیوری یقمدکین سوده ترله دهولو ذاجرکن اوله اسلام دغن چارا ۲ یخ له مندالم. داسر کعادیلن دالم اقتصاد این اداله منجیوای بینان مشارکه اسلام یخ ددالمن تیدق سئورغ فون دیبارکن هیدوفن ترلتر اتو دفرسیا ۲ کن هیدوفن.

(فاتی بواهقلم الاستاذ زین العابدین احمد)

تنتخ این جوک نبی فرنه برسدا (مقصودن):

”بلوم برایمان سئورغ کاموم سبلوم دی منجنتای سوداران سبکیان دی منجنتای دیرین سندیری“.

کعادیلن دالم لافغن اقتصاد ددمفیخی اوله سماغه ”چنتا منجنتای“ دان ”سوک برقریان“، چک کتیکان ۲ دفادوکن، اکن منیمبولکن ”فرساتوان“ دان ”کرجسام“ ددالم لافغن اقتصاد.

### سوسنن ایكونومي اسلام

امتله لنجوة کالو کیت هندق مهورایکن سوسنن اقتصاد اتو ایكونومي اسلام یقبرداسرکن کعادیلن این. سوات مشارکه یخ اغکوتان ماسیخ ۲ ساعة برهاتی ۲ منجاک چاغن سمنی دی مروکیکن اورغ لاین ددالم سوال متبندا دان اخلاق کران

ددالم سورة النساء، آیه 135، الله عزوجل

برفرمان (مقصودن):

”واهی اورغ ۲ یقبرایمان هندقله کامو منجانکن کعادیلن تروس منروس دان منجادی سقسی کران الله سکالیفون اتس دیری کامو سندیری اتو فون اتس ایبو باف دان کلوارک کامو. چک ای (یغدتیمبکن فرکاران ایت) کای اتو مسکین (مک جالکنله فرکاران ایت دغن عادل) کران الله له اولی دغن کدوان (کادان سی کای دان سی مسکین ایت منیمبغ دان منتوکن حق مریک) جاغله کامو منورة نفسو درفد برلاکو عادل، دان چک کامو مموترکن (لیده کامو درفد برکات بر) اتو برفالیح (درفد برلاکو عادل) مک سسغکوهن الله امة معتھوی اکن اف یخ کامو کرچاکن“.

گموق دسیکن اورغ معجزماتی فترا خلیفه. ازن سیدنا عمر برکات:

”هی عبدالله! حواله کنرا اوتامو این امیله مودل فیلین کامو دهولوم منکل وایغ سلیهن یخ منجادی کاتوغن هندقله کامو سرهکن کهد بیت المال - منجادی ملیک نکارا دان اومه اسلام سلورهن“

دري فرچکافن دان سوال جواب ایت، کھلا نکارا اسلام، سیدنا عمر ابن الخطاب ممدغ بهوا کاتوغن یغدداقتی اوله فتران عیدالله، کران دی سورخ فترا خلیفه، اداله سوات فرلغکارن ترهادف داسر کعادیلن دالم لافغن ایکنومی.

باق چنتوه یخ بوله دکبوکان دالم حال یخ سدمکین این.

#### کعادیلن دالم لافغن فولیتیک

کعادیلن دالم لافغن فولیتیک ایاله ساله ساتو داسر یخ فنتیغ فول. بهاکین این ایاله یخ اوتام منجادی فرینچاغن کیت دسینی. اد فون فوکوء یخ اصل دالم حال این، ایاله آیه سوچی - 59، سورة النساء - یغبر مقصود:

” . . . . دان افیل کامو معحکوم داتارا مأنسی، مک جاتوهکنله حکومن دغن عادل. . . .“

برداسرکن سکل کتران ۲ اکام معنای سوال کعادیلن دالم لافغن فولیتیک این، داسر کعادیلن اداله سلمان ددمیقی اوله کییاسن (خریه) دان فریسمن (مساواه). جک کتیکان دفادوکن، دی مروفاکن حکوم ”دیموقراسی“ یخ ستمیکین ۲.

منججوع تیغکی اکن داسر کعادیلن ددالم نکاران.

امیله سوات چتوه سهاج، روایه سعید بن ابی منصور، ابوبکر بن ابی شیهه دان الیهقی تنغ دیری عبدالله ابن عمر (انق سیدنا: عمر ابن الخطاب - خلیفه اسلام یغکدوا). عبدالله میتاکن بهوا ای فرنه مبلی سیکور اوتتا یغدکمبالاکن دتانه یخ سورم سهکک اوتتا- ایت گموق. فد سوات هاری، اوتتا ایت دباوا کھاسر هندق دجوال. کبتولن ایهن - سیدنا عمر - فد کتیک ایت فرکی کھاسر دان ترنمق اوتتا ایتوله یخ له گموق دری اوتتا ۲ یغ لاین. بلیو فون معهمفیری اوتتا ایت سمیل برتان:

”کھویان سیافکه اوتتا این؟“

”کھویان فترا خلیفه عبدالله؟“ جواب اورغ بابق. بلیو فون معهمفیری فتران سمیل برکات:

”هی عبدالله فترا خلیفه؟“

”سای، یا امیرالمؤمنین؟“

”دري منا که کامو دافه اوتتا این؟“

”اوتتا این فد مولان سای بلی، کمدین سای کمبالاکن دتمغه یخ سورم سهکک دی گموق سفرت یخ اد سکارغ. هاری این سای هندق منجوالن، سبکیمان اورغ ۲ اسلام یغ لاین برحق ملاکوکن.“

”ایت بتول؟“ کات سیدنا عمر، ”تتافی سموا اورغ نمقن ممتاکن بهوا اوتتا این ایاله اوتتا انق خلیفه، دان مریک برکات: بریله ماکن اتو مینوم اکن اوتتا کھویان فترا خلیفه.“

سیدنا عمر برکات دمکین دغن فراسان یخ ساغه کسل، کران تیدقله عادل کالو اوتتا ایت

”سسورغ يڭ داڭكه منجادي حاكم داتارا  
مانسي، اداله سناكي سئورغ، يڭدسيمليه هيدوف ۲  
دغن تيدق بئماكي قيسو“.

دالم زمان نبي، فرنه سئورغ صحابه مناوركن  
دري سفاي دفيليه منجادي حاكم، اورغ ايت  
ابودر الغفاري، لالو بئندا بركات كهدان:

”واهي ابودرا اشكو سئورغ يقبرهاتي له،  
سدغ جواتن ايت اياله سوات امانه، فد هاري  
قيامه كلق، جواتن ايت اكن منجادي سوات كهيتان  
دان فيسانم، كچوالي كالو اورغ يڭ ممكفن دغن  
منوهي سكل حقن ۲ دان منويكن سكل كوچيفن“.

دمكين گنبارن ريشكس دري داسر كهادلين  
يڭ منجادي ساله ساتو داسر يڭ اوتام باكي  
سسواه نكارا.

# اوبت برانق

## \$15.50



**Yahya Ariff**  
37, Jalan Kangsar, Kuala Kangsar.

اوبه برانق يڭ مشهور اين ساغه دكماري اوله اينو ۲  
يڭ برانق دسرات تانهملايوم سراوق، بزوني دان سيام.  
دغن مئكوناكن اوبه اين تافايه بردياغ - تافايه  
برسالي، بدان سننيس صيحه دان سكر.

سكوتق \$15.50 چوكف انتوق فرگونان سكاله  
برانق، قبه بلنجا فوسن 60 سن.  
**YAHYA ARIFF**  
87, Jalan Kangsar, Kuala Kangsar.

منوره شيخ محمد عبده، بايق جالن اتوق  
ملاكوكن كهادلين فوليتيك اين فد عموم دافه  
دبهاكي كه دوا ماچم:

1. دالم فمرتاهن دان اين دخالنكن اوله:  
(ا) فمرتاهن عموم، (ب) فغادلين.

2. مئحاكمي مشاركه برسام، بايك دالم  
فركاولن انتارا سئورغ دغن سئورغ،  
ماهو فون دالم فركاولن بشاسم، انتارا  
نكارا دغن نكارا.

اد. فون داسر كهادلين يڭ سئكوه نمفق كلوار،  
يڭ سننيس منجادي تومفوان سكل مات اورغ،  
اياله سوال فغادلين ددالم نكارا، عموم تيف ۲  
نكارا اد ممفويي بدن ۲ فغادلين دري دائره ۲  
مباوا كايو نكري، دغن داواسي اوله سبواه  
بدان تريغكي يڭدناكن ”محكمه تيغكي“، محكمه  
اينله يڭ برتوكس مئفولكن سكل اوندغ ۲ دان  
فراوران نكارا.

ميمغ برة تئكوغجواب سئورغ حاكم دالم  
ممكغ تيمباغن كهادلين، ددالم سوات حديث يڭ  
دروايتكن اوله الدارقطني، الطبراني دان البيهقي،  
بهوا نبي (ص) برسيدا (مقصودن):

”سسورغ يڭ دفيليه ممكغ كحاكين دالم  
كالغن قوم مسلمين، هندقله برلاكو عادل ددالم  
سكلان ۲: عادل دالم فنداغن متان، دالم اشارتن،  
كروسي تمغه دودقن، دان مجلس فرسيداغن، دي  
تيدق بوله منغكيغ كه دساله سئورغ يڭ دبچاراكن  
فركاران، سدغ يڭ لاءين تيدق“.

دمكينله برتن شرط ۲ يڭ مستي دفنوهي اوله  
سئورغ حاكم، سهكغ نبي فرنه برسيدا منوره  
روايه امام احمد (مقصودن):

## 中級編 4: 蒸気船会社の広告

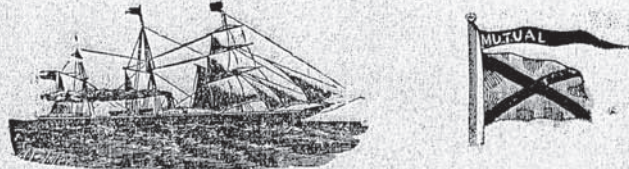
このテキストは、1895年にシンガポールのある蒸気船会社が出した雑誌広告です。これまでのテキストと比べて少し難易度が高いですが、読解に挑戦してみましょう。

- これは蒸気船の乗客を募集する広告で、下部には船の名前などを示したリストが掲載されています（船名は中国語らしく、もとの漢字に復元するのは困難です）。さて、これらの船便は何のために、どこへ向かうものでしょうか。
- このテキストの特徴のひとつは、英単語がジャウイで表記されている箇所が多数あることです。例えば、ジャウイ部分の最初の1行は、  
“Kapal Api Cina Mutual Stim(=Steam) Nawagisyen(=Navigation) Kampani (=Company) Lamitid(=Limited)”という具合です。  
他にも多数の英単語が登場します。想像力を働かせて解読してみましょう。翻字の綴りは、ジャウイの字面に合わせて、ある程度適当に作ってしまってもかまいません。

China Mutual Steam Navigation Company, Limited.

THE  
BORNEO COMPANY LIMITED,  
AGENTS SINGAPORE.

J. G. M. HERRKLOTS,  
PASSAGE BROKERS.



کفل ائی چیسا متوال سعیم ذواکیشن کمفنی لامتید  
اشچین بوننیو کمفنی لامتید سیغافورا  
جائی جی ام \* هیو کلووت فاسنجر پروکر

☞ (نو تیس ممبریعا سو) ☞

مک اوال کیت بوننیو عنکمفنی یغ جادی اشچین سیغافورا تله ممبریعا سو کفد سکلین انچی. دان  
توان ۲ یغ حدقی فرگی حج فد تان 1314 این مک کفدی سغفی کفد تان 1318 مک جادی جمله 5 تان  
مک کیت سدیا کن کفل ۶ ائی یغ بسو ۲ سکالی باپقن کفل ۲ کیت یغیوات اشکة این فصل حج ۲ ادا 21  
یوا کفل دان ترسیوت تان دباوه این ساتو ساوا کن برلیز ۵ ری سیغافورا فرگی کجده دان این کفل باپق لاجو  
سکالی بولیہ جان سغفی 15 میل لبه دان لاگی سیاف ۶ سوک یغ مدفخ سستی دافه تمفده دن سغف دان  
لافقن سبب کفل ادا بسو دافلاگی دافه ایو دان کایو ائی سغفی چو کف سیراف یغ سستی دفاکی سہاری ۲ بولیہ  
دافه دافلاگی فصل تمفخ اتق ۲ یغلاگی مہوسو سغفی عمرن ۳ تان ایفہ تیا داباہر دان اتق ۶ یغ عمر ۵ ری 3 تان  
سغفی 12 تان ایفہ سغفہ تمفخن مک حال تمفخ کیت مہیکوت سفرت عادت اتوران سیغافورا اتو کورخ  
در فد تان دہولو دان کفل کیت تیاہ فاکی وقتو بیسلا سہاج ادا اورخ یغ ساوہ فرگی جده سغفی 30 اورخ  
کیت مسعی کاسی برلیز ایفہ اورخ فرگی کجده ساہن 7 ہاری لبه کورخ ساتو کفل برلیز مک جادی دہالم ساتو  
بولن ادا ۱ یوا کفل لبه کورخ یغ انتور اورخ فرگی جده مک موافقن ۵ ری 30 اورخ سغفی 130 اورخ مک  
برلیز ترس فرگی جده دجوزہ تیاہ کنا کر تین ہولو کمران دان بارش سیاف جبک انچی. دان توان ۲ یغ  
حدقی سبلی تیکیت بولیہ داتق داو فیس مدانی بوکت عنکمفنی کشفو کلم کلہ سترتہ روہ مندر 62  
دکت مسجید ہارو دہالم فکری سیغافورا دان بولیہ دانت بلی تیکیت کفد شہج ۲ یغہر تمدا تان دہالم  
اگر مین کیت \*

دافلاگی کیت مچتا کن کفد سکلین انچی ۲ دان توان سوان مک ادا سووت سوکار یغ تله دہولو  
دغن نام تو بون وات ایفہ تیاہ بولیہ دفاکی لاگی دہالم فکرا من کیت این \*

قنجر	تھا ۲ کفل	بسون	قنجر	تھا ۲ کفل	بسون	قنجر	تھا ۲ کفل	بسون
1	نیچچو	2708	8	کیسو	3920	15	تھا ۲ کفل	بسون
2	اونفا	3065	9	مویون	4643	16	تھا ۲ کفل	بسون
3	نیچسوی	3079	10	نقا یغ	4446	17	تھا ۲ کفل	بسون
4	کمون	3191	11	کوشق	4446	18	تھا ۲ کفل	بسون
5	اولوش	3583	12	تیککی	4642	19	تھا ۲ کفل	بسون
6	چیغ او	3883	13	ہسان	4445	20	تھا ۲ کفل	بسون
7	اوشق	3883	14			21	تھا ۲ کفل	بسون

سیغافورا 6 مارچولن ربیع الاخر 1314 مدانی بوکت عنکمفنی

ٹرچف داو فیس مخدوم صاحب دنرہ داو فیس سیغافورا









# さまざまな ジャウィ文献

1. 『ジャウィ・プラナカン』 (Jawi Peranakan)
2. 『アル・イマーム』 (al-Imam)
3. 『アル・ムニール』 (al-Moenir)
4. 『スル・ムラユ』 (Soeloeh Melajoe)
5. 『アル・イスラム』 (al-Islam)
6. 『アル・ヘダヤ』 (al-Hedayah)
7. 『ピリハン・ティムール』 (Pilihan Timoer)
8. 『マスティカ』 (Mastika)
9. 『ディアン』 (Dian)
10. 『ウトゥサン・キブラ』 (Utusan Kiblat)
11. 『チャハヤ・ヌサンタラ』 (Cahaya Nusantara)

## ジャウィ資料紹介(1)

### **Jawi Peranakan** (ジャウィ・プラナカン)

1876年にシンガポールで創刊されたマレー世界で初のマレー語定期刊行物。毎週月曜日発行。主筆はモハマド・サイド・ダダ・モヒディン。モハマド・サイドの死後、モハマド・アリ・グラム・アルヒンディが継いだ。タイトルは現代綴りでは **Jawi Peranakan** だが、誌上では **Jawi Peranakan** と記されている。発行部数は250部程度。1895年に停刊。

発行の中心になったのはインド系とマレー人の混血者で、主に南インドのマラバル系ムスリム商人と地元のマレー人女性の子どもたち。多くが商業に従事し、富裕な商人も多かったため、シンガポールやペナンではアラブ人に次いでマレー・ムスリム・コミュニティにおける指導的な地位を占めていた。初期にはリトグラフで、後には写植で印刷された。

はじめは海峡植民地の英語新聞を参考とし、記事も英字新聞から取っていたが、しだいにアラビア語の定期刊行物を手本とするようになった。植民地政府に対しては批判や攻撃を一切行わなかった。読者の多くが商人であったために貨物船の動向や物価などについての記事は多かったが、一般のマレー人の生活がうかがえるような記事はほとんどなかった。政治的な話題は一切避けられ、1906年に『アル・イマーム』が登場するまでは宗教的な話題についても避けられていた。マラヤ各地のほかにスマトラのメダン、デリ、パダン、シンキルおよびリアウ、サラワクに通信員を置き、これらの地域での様子を記した記事を掲載した。

画像は1887年発行の第511号の表紙。



## ジャウイ資料紹介(2)

### al-Imam (アル・イマーム)

1906年7月にシンガポールで創刊されたマレー語雑誌。主要な目標は宗教であり、社会や政治には関心を向けなかった。1908年12月に停刊。

創刊に携わったのは、シャイフ・モハマド・タヒル・ジャラルッディン・アル=アザハリ(ミナンカバウ出身、初代主筆)、サイド・シャイフ・アフマド・アル=ハディ(マラッカ生まれのアラブ/マレー人)、ハジ・アッバス・モハマド・タハ(シンガポール、第二代主筆)、シャイフ・モハマド・サリム・アル=カカリ(シンガポール在住のハドラマウト系アチェ人商人、初代取締役)の4人。いずれもシンガポール在住で、中東と密接な関係があり、刊行の8年前にカイロで創刊された『アル・マナール』の影響を強く受けていた。

王国とスルタンに縛られていたマレー人に対し、宗教および植民地支配の経験という共通性をもとにより広い範囲の人々をまとめようとするものとなった。正統なマレー語を用いたが、アラビア語の単語を多く入れていた。スマトラにも読者があり、シャイフ・モハマド・タヒルはミナンカバウ地域に同紙を送っていた。

創刊号にはシャイフ・モハマド・サリムの「我々はプラナカンであってこの地に住む人々と同じ血統は持たないが、我々はこの地を祖国として愛し、その乳を飲み、その産物を摂って血や肉とし、そこから人生のよいものを得てきた。そのため、我々はその土地に、そしてそこに住む子らに負うところが大きいのではないか」という言葉が載っている。

画像は1906年7月の創刊号の表紙。右端の文字が切れて読めない部分がある。

#### 【翻字】

Ammaba'du. Maka tiadalah tersembunyi daripada segala mereka yang memerhatikan akan peredaran alam ini dengan menilik akan tarikh (perjalanan) segala mereka yang dahulu<sup>2</sup> serta menjadikan dia satu mursyid (yang memberi petunjuk) yang kepercayaan dan suluh yang menerangi pada segala ehwal kejadian. Maka diketahuilah [diiktibarkan] ianya (perhimpunan kaum) ini terbagi dua.

1. Umat yang dihidup maka beramal ia dengan amalam yang memberi kebajikan bagi perhimpunannnya pada masa yang akan datang dengan tiada memendekkan pangangan bagi ejhwal dirinya sahaja.
2. Umat yang tiada meindahkan melainkan pandangannya bagi barang yang tertentu pada dirinya dan kampung halamannya.

بِسْمِ اللَّهِ الرَّحْمَنِ الرَّحِيمِ  
 وَاجْتَمَعْنَا لِلتَّقَاتِ فِي إِمَامَةٍ  
 ١٣٢٤  
 لَان جَانِ كَرِيْمًا وَلَمْ يَكُنْ فِي بَيْتِ كَالِه  
 اَوْ رَحْمَةً يَتَقَرَّبُ كَوْنَهُ فَذَلِكَ آيَةُ (اِمَامَا) وَتَلِيكَوَتِ  
 سَوَابِقُ وَدَلَالَةُ (اِمَام) قَرَانُ تَعَامُتَاتِ  
 بَانَ تَلَمَّ لِي مَقُونَن كَانِي كَنْ يَتَفَرِّقُ

بغفرنام) سیغانورا سہار بیولن جماد الاخر ۱۳۲۴- 29 جولي 1903 (جلد بغفرنام)

## بِسْمِ اللَّهِ الرَّحْمَنِ الرَّحِيمِ

\* ادع الى سبيل ربك بالحكمة والموعظة الحسنة \*

وَالصَّلَاةَ وَالسَّلَامَ عَلَى سَيِّدِنَا مُحَمَّدٍ وَعَلَى آلِهِ وَصَحْبِهِ

ما بعد مک تبادا ترسمبوي دارفدا سکل مریک یغ عمراتیکن آکن فرایداران  
 دغن منیلقف آکن تاریخ (فرجلان) سکل مریک یغد هولوا سرت منجاد یکن  
 نو مرشد یغ مبري فرغجو. یغ کنزرجان دان سولوه یغ منراغي فدا سکل  
 یجادین. مک دکتهویله دغندي سان امة (فرهنونن قوم) ابن ترهکی دوا بهکی.  
 یغ هیدوف مک بر عمل اي دغن عملان یغ مبري کیچیکن باکی فرهنونن فدا  
 آکن دانغ دغن نهاد میندیکن فنداغن باکی احوال دیرین سهاج.  
 امة یغ تبادا ما بندمکن ملینکن فنداغنن باکی بار غیغ ترنتو فدا دیرین دان

محمد هاشم بن قادر صاحب

### ジャウイ資料紹介(3)

#### **al-Moenir** (アル・ムニール)

1911年4月にパダンで創刊された西スマトラ初のイスラム改革派の週刊誌。毎週土曜日発行。タイトルの現代綴りは al-Munir。1915年に停刊。

20世紀初頭にメッカから帰国した3人のミナンカバウ人ウラマーであるアブドゥッラー・アフマド、アブドゥル・カリム・アムルッラー、ムハンマド・ジャミル・ジャンベクが創刊に携わった。時代の変化に照らしたイスラム教の再解釈の必要性を強調し、イスラム教の復興によってこそ進歩が達成されると主張した。

当時、西スマトラの印刷所はオランダ人や華人が経営するものしかなかったが、この雑誌は「マレー語ジャーナリズムの父」と呼ばれたスタン・マハラジャが設立した「ミナンカバウ世界の民」印刷所で印刷された。発行部数は1000部未満だったがジャワやマラヤにも読者がいた。

画像は1911年4月の創刊号の表紙。



جلد بیغ فرقاہ

\* اسماہ اورغ عالم مدحکادو \*

نام جز بیغ



\* بیازن ادفرتسی  
 تیدف ۲ ستو ستنی میقر  
 مہکلی ماسو ستو سین  
 ماسو بیغ کمڈین سنق  
 وایرن سگورغ ادفرتسی  
 50 سین حکت تفت  
 بولہ برداہی

\* ہرک  
 0.25 f بولن  
 3,— ستاھن  
 4.50 داوار ہندی  
 نیدرن \* سگورغ ۲ یرنگانن  
 تیدک بولن بایرن لہہ دھول  
 پرت 1 جز 12 سین

مجلہ انام اسلام \* فختھوان \* فرخبازن \*  
 دکلوار کن الہ جمعیه اربیہ دفانغ فد تیدف ۲ سہاری بولن عدری دان فرتھاھنن

فقھورسن  
 حاج مبارہ محمد بن عبدالحمید

فقارغن  
 حمد فقھورس اربیہ سگول

فرتوان

حاج سوذن جمال الدین ابو بکر

قممھن دان قمبنتون

امراللہ دانو \* محمد دجلان سوذن لمبا: خوہ ثورو کفال اسکولہ I دفانغ  
 ب عمر جاتو سگور \* سوذن محمد سالیم ہف جقسا فنسیون ۲ ۱۰ گریغ  
 حاج عبدا  
 حاج مہد

سورۃ ۲ یغدر سگور دغن المنیر مینتہا ۲ برغکاند  
 اتوار فرتسی دعلامتکن کفد فقھوروسن  
 حاج مبارہ محمد عبدالحمید فوندرق فا  
 و مسئلہ یغ اکن دمواد  
 ڈالم المنیر د لامتکن کفد فقارغن  
 حاج عبداللہ احمد فوندرق فانغ

#### ジャウイ資料紹介(4)

### Soeloeh Melajoe (スル・ムラユ)

スマトラの「マレー語ジャーナリズムの父」と称されるスタン・マハラジャが 1913 年 10 月にパダンで創刊したマレー語雑誌。タイトルの現代綴りは Suluh Melayu、意味は「ムラユの灯火」。

スタン・マハラジャは、スマトラでもっとも古いマレー語新聞『パリタ・クチル』(Palita Ketjil) の編集などの経験を経て、『ウトウサン・ムラユ』(Oetoesan Melajoe、パダン発行、ローマ字、1911 年創刊)をはじめとするマレー語新聞・雑誌を刊行してミナンカバウ社会の進歩と改革を追求した。メッカやカイロで学んだイスラム知識人が『アル・ムニール』などを通じてミナンカバウ社会の慣習はイスラム法に照らして不適切であると批判したのに対し、スタン・マハラジャはミナンカバウ社会の伝統的な慣習にのっとった発展を主張した。

スタン・マハラジャは女性の地位向上に尽力したことで知られ、1912 年にはミナンカバウ社会の女性を対象にした『ソエンティン・ムラユ』(Soenting Melajoe、1912-1918)をパダンで創刊している。

画像は 1913 年 10 月の創刊号の表紙。

۱۵ اکتوبر ۱۹۱۹

ہاری اسٹین

۱ ذوالحجہ ۱۳۳۱

جلد بیغ فرتام

اسما اوراغ عالم منٹکابو

جزء بیغ فرتام

سولوه ملايو

# SOELOEH MELAJOE.

اوتو فرائمکن علمو دن عقل دان لاڳي اوتو کما کما کرجين

کرجين فرينگان دن فرسهان تانه \*

سور دان بارت کفد کرجان نيدرلند \*

سبولن اول فرچينا کن اوراغ عالم منٹکابو

ببراف فقها علما قوم اهل السنه والجماعه دشن

لاڳي ببراف فرغ فندي ۲ یغ برهلوان بایک اوتو اوراغ بايق \*

\* فرينگيا سمارا گونج مرافي \*

دچيتاء دان دکلوار کن اوليه سنيل فيرس دروکرای اوراغ عالم منٹکابو

ادمينيستراتيور

ردقنيور

سوتن مهرج

دتو سوتن مهرج

سورت ۲ یغ برسکوت دشن سولوه

سورت ۲ کراغن اتومسئه یغ اکن

ملايو مينتاء برلنگان اتو ادفرنسي

دموات دالم سولوه ملايو دعلامتکن

دعلامتکن کفد ادمينيستراتيور \*

کفد ردقنيور دتو سوتن مهرج



## ジャウイ資料紹介(5)

### al-Islam (アル・イスラム)

アブドゥッラー・アフマドがイスラム同盟のチョクロアミノ総裁とともに 1916 年 7 月にスラバヤで創刊したマレー語雑誌。部分的にローマ字が挿入され、ジャウイで読み書きしていたイスラム教徒にローマ字を紹介する役割を果たした。アブドゥッラー・アフマドは 1911 年の『アル・ムニール』創刊に関わったほか、シンガポールやカイロで刊行されるイスラム改革派の雑誌を西スマトラに紹介したことも知られる。

画像は 1916 年 7 月の創刊号の表紙。

#### 【読んでみよう②】



マレーシアの ATM。ジャウイに見えるのは実はアラビア語。(2007 年 8 月撮影)

(فيمه اترك)

(ادفرتسي)

سواة هيا نيدر لند  
 3,60 ف ستهون  
 لسوار ننديا نيدر لند  
 4,50 ستهون  
 سكور ۲ بر لنگانن ائم بولن

# الاسلام

سر

پرات ساتو کال بولن

ساتو کچه f 3,-  
 " 1/2 ,, 1,75  
 " 1/4 ,, 1,-  
 فبسا ايران لبينه دهول

المصحر

المشول

عبدالله احمد فاضل

او ایسی چکر و امینونو

HOOFD - REDACTEUR:  
H. Abdullah Ahmad

VERANTW. REDACTEUR:  
O. S. Tjokroaminoto

وانت این تریه د سوریای تیف ۲ فرمولان دان فرتقاهن بولن بلاند گون  
 فتمکه درجه بعسا دان فقو کوهکن فری کاسلامن دتر بنکن اوله فراینخغ  
 «الاسلامیه»

دریکتبورث: عمر سعید چو کرو امینو کومیسارس ۲ ش: حاج احمد شاذلی  
 رادین فقی سوسرو کردونو دان مسلم

سورة ۲ یغبر شکوة دغن مجله این  
 علامتکن کفد چکر و امینونو  
 دسور بای

چکر اغن ۲ دان مسئله  
 علامتکن کفد حاج عبدالله احمد  
 دفیادغ

## ジャウイ資料紹介(6)

### al-Hedayah (アル・ヘダヤ)

1923年6月にコタバルで創刊された月刊誌。発行者はアフマド・イスマイル、編集者はモハマド・ガザリ・モハマド・アリフィンら。印刷はコタバルの Matbaah al-Arasiah 社。創刊時は毎号 26 ページ、後に毎号 36 ページに増加。1926年2月に停刊。

表紙は、クランタン上空に星があり、そこからマラヤ各地とタイ(シヤム)に光が届いている様子が描かれている。

画像は 1923 年 6 月の創刊号の表紙。

#### 【読んでみよう③】



シンガポールの質屋の看板。中国語、マレー語（ジャウイ）、タミル語が見える。  
(2005年12月撮影)



ذي القعدة 1341 هـ { بيلاغن (1) تاهن يقشر تام } جون • 1923 م

(اشكوت ٢ الهدايه)

داتوء محمود \* \* \*  
 حسن حاج عمر  
 محمد بن حاج سولوغ

حمد غزالي (داتوء بتالوار)  
 عبد الرحمن داود المكي الكلنتاني  
 محمد عارفين

## وايچا

سبارغ سورة فر كير ان اتو كير يمن هندتاه دعلامتكمين  
 كقد منيجر مجلة الهدايه  
 كوتابهارو كلنتن

A L-HEDAYAH  
 A Monthly Malay Magazine Published in Kota Bharu-Kelant

فر ترافن (المطبعة الاساسية) كوت بهارو كلنتن

## ジャウイ資料紹介(7)

### **Pilihan Timoer** (ピリハン・ティムール; 東方の選択)

マラヤやオランダ領東インドからエジプトのアズハル大学に留学していた学生たちにより、1927年10月にカイロで創刊された月刊誌。タイトルの現代綴りは **Pilihan Timur**。

マラヤや東インドの学生はメッカからの帰りにカイロに立ち寄る者が増え、1925年にはアズハル大学で学ぶ東インド出身者は約200人、マラヤ出身者は80人になっていた。これらのジャウイ学生(マラヤや東インド出身の学生)は交流団体を結成し、宿舍建設の資金集めを行ったり、マレー語雑誌を発行したりした。1922年に設立されたアズハル大学ジャウイ学生福祉協会(al-Jamiyyah al-Khairiyyah)は、1925年10月に『アズハルの号呼』(Seruan Azhar)を創刊した。1927年10月には『アズハルの号呼』の編集者が独立して『東方の選択』(Pilihan Timoer)を創刊した。

『アズハルの号呼』は東インドで300人、マラヤで700人の購読者があり、この雑誌の革命的な性格を警戒したオランダ政府は1928年にこの雑誌を東インドに入れることを禁止した。(ただし海峡植民地には自由に持ち込まれた。)おそらく財政上の理由から、『アズハルの号呼』は1928年5月に停刊した。また、オランダ政府がイギリス政府を通じて働きかけた結果、エジプト政府は1928年4月に『東方の選択』を発行禁止にした。これ以後、アズハル大学のジャウイ学生たちは東インド側とマラヤ側に分かれて活動するようになる。

画像は1927年10月の創刊号の表紙。



بیلاغن ۱

ربیع الاخر ۱۳۴۶ - اکتوبر ۱۹۲۷

تاهن فرتام

بیخ منشکوغ  
فرتیان  
**الیاس یعقوب**  
*Alias Yacoub*  
فینتو:  
**عثمان عبدالله**  
« داروفا »

# فلیهن تیمور

دتربتکن سکالی سبولن  
دمصر القاهرة

مطبعة التقدم بإشراع محمد علی بدرب العنبة بمصر

فغارغ  
مختار لطفی الرشیبر  
*M. Loufi*  
دان براف أهل ۲  
فغارغ بیخ بودین

Pilihan Timoer

(علامت سورت ۲)

درب الاتراک نمرة ۷ شارع الازهر بمصر

Cairo "Egypt"



جان دارک « سئورخ کادیس » مغتلائی باریسن سردادو وقت مربوت  
نکری « اورلیان » داری تاغن اعکریس لهت « لمبارن تاریخ » !!

بِسْمِ اللَّهِ الرَّحْمَنِ الرَّحِيمِ

## فلیهن تیمور

منجالتع بقسا دان تانه ایرث

فندفاتن اورغ فنتر ۲ دان فغنجور  
فرکرککن ، بهواسورت خبرایت اداله  
سوات فرکا کس بیخ اوتام انتوه ممنچرکن  
سینر کبنارن دان مہافسکن کا نیان، کارن  
دغن فرتولوغن سورت ۲ خبر ایتله دافت  
ترسیر لکس براف بواه فکیران دان  
فنداغن بیخ برهرکک دان برماجم ۲  
فندفاتن بیخ ساعت برکون ، دسبکن  
ایت کلیهاتنله بهوا تیف ۲ فرکفولن  
اتو اورغ بیخ برداسرمنچاک کصلحاتن  
برسام دان برهالوان کبنارن دان ممقیائی  
توجوان بیخ لبه لنجوت، تا دافت تیاد

## ジャウイ資料紹介(8)

### **Mastika** (マスティカ)

1941年6月にシンガポールで創刊された月刊誌。『ウトゥサン・ムラユ』紙を発行していたウトゥサン・ムラユ社が刊行した。当初は『ムスティカ』(Mustika)の名前で刊行されていたが、1941年12月に戦争のため刊行が中止され、1946年11月に刊行が再開されたときに名前を『マスティカ』に変え、号数も1号からとした。

『ウトゥサン・ムラユ』の編集者で「マレー語ジャーナリズムの父」と称されるアブドゥル・ラヒム・カジヤイが創刊の音頭を取った。マレー人の権利や独立に関する議論を多く掲載した。主筆のユスフ・イスハクが後にシンガポールの初代大統領になったほか、クリス・マス、サマド・サイド、ウスマン・アワンなどの多くの著名な執筆者を輩出した。

1963年に言語出版局(DBP)がローマ字によるマレー語月刊誌『デワン・マシヤラカット』(Dewan Masyarakat)を創刊すると、1967年、ウトゥサン・ムラユ社は『マスティカ』をローマ字に切り替え、また、ジャウイ新聞の『ウトゥサン・ムラユ』に加えてローマ字新聞の『ウトゥサン・マレーシア』を創刊した。

1992年には発行部数が6000部まで落ち込んだため、建て直しのため1995年9月に幽霊・妖怪を中心とする誌面構成に一新した。部数が30万部に伸び、その後、幽霊・妖怪などの奇怪な話やユーモアを題材とするマレー語の新聞・雑誌が続々と刊行された。

## ジャウイからローマ字に切り替える 10 の理由

『マスティカ』のジャウイ版の最終号となった 1967 年 1 月号には「マスティカは来月よりジャウイからローマ字に切り替えます」という文章が掲載された。要点は以下の通り。

1. 多民族からなるマレーシアのすべての階層の人々が容易に読めるようにするため。
2. 国語(マレー語)で書かれた芸術文化に関する雑誌にはローマ字で書かれたものが多いないため。
3. ローマ字が読めない人はほとんどいなくなったため。
4. 外来語の表記はローマ字を用いた方がうまくいくため。
5. ローマ字を用いることで真に国民的な雑誌になるため。また、マレーシア、インドネシア、フィリピンにおける読み物にもなる。あわせて、マレー人以外からも寄稿や意見が頂戴できるため。
6. 国民の利益のため。
7. ローマ字を用いることで読者をマレー人だけでなく他の民族にも拡大できるため。
8. マレー人と他の民族の間で作品の交流が可能になり、マレーシア国民の精神を涵養することに寄与しうるため。
9. 読者が増えるため。
10. マレーシア国籍を取った外国人(あるいはこれから取る外国人)に対して国語およびマレー人の価値観を伝えるのに役立つため。

内容が重複している項目もあるが、ここからは、ローマ字にすれば読者層が拡大して雑誌の売れ行きがよくなるという計算に加えて、国内(主にマラヤ内)の民族間の交流・連絡の促進のためになるし、さらにインドネシアやフィリピンなど近隣のマレー語読者との交流・連絡の促進も期待されていたことが読み取れる。

次ページ以降の画像は 1967 年 1 月号の「マスティカは来月よりジャウイからローマ字に切り替えます」の掲載記事。

(山本博之)

## مستیک اکن دتربیتکن دغن حروف رومي بولن دافن

فیهق فزریه دان- فنجیتق مستیک تله مغبیل کفوتسن اکن منربیتکن مستیک  
دغن حروف رومي مولای بولن دفن.

تیندقن این دامیل، ستله دفرتیبغکن سهاستقن ۲، دغن مپیمفولکن الاسن ۲  
سفرت برایکوة:

1. مستیک دجیتق دغن حروف رومي، سفای کسوا لافیسن فنودوق دملیسما یغ بریلغ  
بغسا ایت، بوله مباح مستیک دغن سغقن، لبه ۲ لاکي نکارا کیت تله مفاکوی دان ماکي  
بهاس کبغسان دالم تولیسن رومي دالم تاهون این جوک.
2. رامی کاکیتاغن کراجان یغ سدغ مفلاجرې بهاس کبغسان دان دکالککن مباح مجله  
دالم بهاس کبغسان، مالغقن تیلق براف بواه مجله کسنيان دان کبودایان یغ برتولیسن  
رومي دالم بهاس کبغسان. کالو مستیک دتربیتکن دالم تولیسن رومي، دافتله مجله این  
جادی بجان مریکیت فول.
3. جنراسی سکارغ یغ تا بوله مباح حروف رومي ایت، اتو سغاج انکن برحروف رومي  
ایت، سوده همفیر لپف. سلوره فهینه ۲ دان فهباح ۲ سکارغ سوده تاو دان چکف -  
فندی، منولیس دان مباح حروف رومي.
4. حروف رومي موده دباح، لبه موده دري حروف جاوي. ایجان بهاس ۲ اسیغ ساعة  
لبه تفة کالو دتولیس دغن حروف رومي.
5. دغن تولیسن رومي، مستیک اکن بنر ۲ منجادی بجان کبغسان ملیسما دان هاروس  
جوک منجادی بجان سلوره فرسکتوان ملیسما، اندولیسما دان فیلیقینا. دغن ایت جوک  
مستیک اکن مفاوی قواغ یغ لبه باق انتوق منریه سومباغن ۲ رنجان دان فدافه ۲  
قارا فهباح یغ بوکن ملایو یغ تیلق کورغ جوک فایلهن.
6. ولو بکیه نفون تیلق دافه دنافیکن، بهوا اد سبهاکین دري کولغن فهباح ۲ ملایو  
یغ کورغ چکف دغن تولیسن رومي ایت، اکن مفاهدفي سدیکیه کسولیتن، - تنافی سدیکیه  
بسر بملانگن. انتوق فایله کبغسان دان جوک انتوق منجادی "کلاغغ  
کسوستران کبغسان"، اد بایکن مستیک دتربیتکن دالم حروف رومي.
7. مجله مستیک اداله ساله ساتو مجله یغ برهوتو دملیسما این. مجله کبودایان،  
کسنيان دان کسوستران این، دافه دفرلواکن لاکي اکن بجان دان فرایداران دکالغن  
بغسا ملایو دان بغسا اسیغ، جک دجیتق دالم حروف رومي، فهبجان تیلقله ترباتس  
کفد اورغ ۲ ملایو یغ فندی مباح تولیسن جاوي ساج یغ جملهن هان کچیل ساج، کالو  
دبنایغکن دغن فهباح ۲ تولیسن رومي.
8. بغسا ۲ لاین دافه فول مگیکوتی کریا فنولیس ۲ کیت دان فنولیس ۲ بغسا لاین فون  
مونکین دافه مجری سومباغن کریان انتوق مکان جیوا بغسا ملیسما برسام ۲.
9. دغن فنوکارن مستیک دري جاوي کرومي، جمله فهباحن اکن برتمبه باق، سبب  
لبه باق فنودوق ملیسما یغ فهم مباح حروف رومي درفد حروف جاوي.

سهبوغقن دموک 49

”کیت فوښ کاجي“، جواب کاروفياہ ماسيه چمس.

”اف فصل؟“، تیښکه نیک نورسیاه.

”اورغ سوده سامون“.

”بیلا؟“

”بارو سکجف. بتوم سمفي سفوله مینیه“.

”مان بوله!“، کات سالمیم کورغ فرچاي.

”کالو اوق تا فرچاي، فرکي لیهه دان تاښ سنديري“.

سالمیم چغه ۲ منسودوه کوکاکولاښ. اي بیغکس باغون منوجو فجابه. داداښ کيان بردبر. بیلا اي مندافتی رامی اورغ برکرومون. انم بواه کریتا فولیس ترسرمک دغن بیراف اورغ فولیس مغاول کللیغ باغونن امغه تیښکه ایت دغن سیف سنجات.

”اف فصل؟“، سالمیم مناش علی.

”فپامون. کاجي کیت هاییس دکبس. کیت تا اد کاجي این هاري“، جواب علی فنوه کسل دان کچیاوا.

”فپامون؟ واغ کاجي کیت هاییس؟“، باکي تا ترکاؤل کات ۲ ایت کلوار دري مولوتښ. سالمیم میسالي کجادیښ ایت. لبه کسل بیلا اي مغنغکن چوتی تاهونښ سوده دلولسکن سلما سمیغکو. دان چوتی ایت سسیا سهاج. تیبا ۲ جیواښ برونسنگ دان مغوتوق سواسن کمفر یغ مالخ ایت. مالخ باکي براتوس ۲ کفرج سفرتیښ هاري ایت.

”سیال... سیال... سیال، میغ سیال“، سالمیم مروغوه سمبیل برلالو.

فوکل دو مولیس، ادریس دان

شریف داتڅ کمبالي. سواسن یغ دلیهه دان ددغرن ماچم سبواه چریتا دوغیغ دان خیال. برلاکو دالم ماس سکلیف مات سهاج. نامون دري سواسن یغ کمفر دان مرنجتنکښ ایت اي مندغفر کلوه کسه فارا کفرج سباکي یغ مندابق دالم داداښ سنديري. دري مانسی مالخ برسرابوه ماده ۲ ليار... .

”سیال... سیال... سیال، میغ سیال هاري این“.

سئورغ دمی سئورغ کفرج منیغکلکن کاواسن فجابه دغن دبر ۲ هاتي یغ فنوه کمفان.

دالم فرجلانن فولغ، سالمیم سهغه ملیهه نیک نورسیاه منجه انق ۲ تفک اسراما دغن لښکه یغ لده. دان فرهاتینن برالیه کفد باغونن فجابه امغه تیښکه - دالم هاتینن مومغه ۲ کران کلایسن فکاویښ ۲.

سمبوغن دري موک 42

10. کالو مستیک دچیتق دغن حروف رومي، منجادیله ”دي“ بجان عموم دان مستیک جوک دافه مبیه بیغ دان ملواسکن فغاچران بهاس کبغسان دان مفرکنلکن نیلاي کبودایان ملایو اتوق روتنن دان تاتفن بغسا اسیغ یغ نله منجادي ورکانکارا ملیسیا اتوفون یغ بلوم، سسوي دغن چیتا ۲ کراجان هندق مبانوکن ساتو روفبغسا، ساتو بهاس دان ساتو کبودایان یغ تولین، سسوي دغن کفریادیښ بغسا.

دان دغن حال این برادیمله بهوا نله لاهیر ساتو تناک یغ دینامیک دالم اوسها مفرلواس دان مفرکمبغ سرت مفرتیغکیکن تارف بهاس دان کبودایان بغسا دسلوره ملیسیا. برهونخ دغن حال ۲ یغ ترسبوه داتس، کلهي برقندافه سوده تیماله مسان ”مستیک“ تربیه دالم حروف رومي، ستمفل منوره کهندق زمان دان سسوي دغن کهندق مشارکه. مولایي دري بولن فیرواري یغ اکن داتڅ ”مستیک“ اکن کلوار دغن حروف رومي.

فربیة مستیک

【翻字】

### **Mastika akan Diterbitkan dengan Huruf Rumi Bulan Depan**

Pihak penerbit dan pencetak Mastika telah mengambil keputusan akan menerbitkan Mastika dengan huruf Rumi mulai bulan depan.

Tindakan ini diambil, setelah dipertimbangkan semasaknya<sup>2</sup>, dengan menyimpulkan alasan<sup>2</sup> seperti berikut:

1. Mastika dicetak dengan huruf Rumi, supaya kesemua lapisan penduduk di Malaysia berbilang bangsa itu, boleh membaca Mastika dengan senangnya, lebih<sup>2</sup> lagi negara kita telah mengakui dan mamakai bahasa kebangsaan dalam tulisan Rumi dalam tahun ini juga.
2. Ramai kakitangan kerajaan yang sedang mempelajari bahasa kebangsaan dan digalakkan membaca majalah dalam bahasa kebangsaan, malangnya tidak berapa buah majalah kesenian dan kebudayaan yang bertulisan Rumi dalam bahasa kebangsaan. Kalau Mastika diterbitkan dalam tulisan Rumi, dapatlah majalah ini jadi bacaan mereka itu pula.
3. Jenerasi sekarang yang tak boleh membaca huruf Rumi itu, atau sengaja enggan berhuruf Rumi itu, sudah hampir lenyap. Seluruh peminat<sup>2</sup> dan pembaca<sup>2</sup> sekarang sudah tau dan cekap --- pandai, menulis dan membaca huruf Rumi.
4. Huruf Rumi mudah dibaca, lebih mudah dari huruf Jawi. Ejaan bahasa<sup>2</sup> asing sangat lebih tepat kalau ditulis dengan huruf Rumi.
5. Dengan tulisan Rumi, Mastika akan benar<sup>2</sup> menjadi bacaan kebangsaan Malaysia dan harus juga menjadi bacaan seluruh Persekutuan Malaysia, Indonesia dan Filipina. Dengan itu juga Mastika akan mempunyai peluang yang lebih banyak untuk menerima sumbangan<sup>2</sup> rencana dan pendapat<sup>2</sup> para pembaca yang bukan Melayu yang tidak kurang juga faedahnya.
6. Walau bagaimanapun tidak dapat dinafikan, bahwa ada sebahagian dari golongan pembaca<sup>2</sup> Melayu yang kurang cekap dengan tulisan Rumi itu, akan menghadapi sedikit kesulitan, --- tetapi sedikit benar bilangannya. Untuk faedah kebangsaan dan juga untuk menjadi “gelanggang kesusasteraan kebangsaan”, --- ada baiknya Mastika diterbitkan dalam huruf Rumi.
7. Majalah Mastika adalah salah satu majalah yang bermutu di Malaysia ini. Majalah kebudayaan, kesenian dan kesusasteraan ini, dapat diperluaskan lagi,

akan bacaan dan peredarannya di kalangan bangsa Melayu dan bangsa asing, jika dicetak dalam huruf Rumi, pembacanya tidaklah terbatas kepada orang2 Melayu yang pandai membaca tulisan Jawi saja yang jumlahnya hanya kecil saja, kalau dibandingkan dengan pembaca2 tulisan Rumi.

8. Bangsa2 lain dapat pula mengikuti karya penulis2 kita dan penulis2 bangsa lain pun mungkin dapat memberi sumbangan karyanya untuk makanan jiwa bangsa Malaysia bersama2.
9. Dengan penukaran Mastika dari Jawi ke Rumi, jumlah pembacanya akan bertambah banyak, sebab lebih banyak penduduk Malaysia yang faham membaca huruf Rumi daripada huruf Jawi.
10. Kalau Mastika dicetak dengan huruf Rumi, menjadilah “dia” bacaan umum dan Mastika juga dapat membimbing dan meluaskan pengajaran bahasa kebangsaan dan memperkenalkan nilai kebudayaan Melayu untuk di luangan dan tatapan bangsa asing yang telah menjadi warganegara Malaysia ataupun yang belum, sesuai dengan cita2 kerajaan hendak membangunkan satu rupabangsa, satu bahasa dan satu kebudayaan yang tulen, sesuai dengan keperibadian bangsa.

Dan dengan hal ini berartilah bahwa lahir satu tenaga yang dinamika dalam usaha memperluas dan memperkembang serta mempertinggikan taraf bahasa dan kebudayaan bangsa di seluruh Malaysia.

Berhubung dengan hal2 yang tersebut di atas, kami berpendapat sudah tibalah masanya “Mastika” terbit dalam huruf Rumi, setimpal menurut kehendak zaman dan sesuai dengan kehendak masyarakat.

Mulai dari bulan Februari yang akan datang, “Mastika” akan keluar dengan huruf rumi.

Penerbit Mastika

## ジャウイ資料紹介(9)

### Dian (ディアン)

1961年にクランタン州コタバルで創刊された月刊誌。発行者はコタバル在住のユスフ・ザキ・ヤコブ。1984年に停刊。

ユスフ・ザキ・ヤコブはクランタン生まれのウラマー。1928年に生まれ、幼少のころは父にイスラム教を学び、後にアズハル大学で学ぶ。1955年に帰国して、コタバルでプスタカ・ディアン・プレス社を設立。アラビア語に優れ、アラビア語の文献を多くマレー語に翻訳して紹介した。1920年代に創刊され今日も発行が続く『プガソ』(Pengasoh)の編集者も務めた。ユスフ・ザキは1999年1月に死去。

#### 【読んでみよう④】



マレーシアのショッピングセンターにある看板。ジャウイに見えるが実はローマ字。(2005年12月撮影)



## ローマ字のように読み書きできるジャウィ綴りの提案

『ディアン』はジャウィで発行されていたが、1970年8月号からジャウィ版とローマ字版をそれぞれ発行するようになり、1975年までにジャウィ版を停刊してローマ字版に一本化した。同じころ、『マスティカ』が1967年2月にジャウィからローマ字に切り替えており、当時のマレー語雑誌でもよく知られていたこの2誌がローマ字に切り替わったことを受け、1960年代末までにほとんどのマレー語雑誌はローマ字による刊行となった。(ほぼ唯一の例外が、1950年の創刊から1969年の停刊まで一貫してジャウィを使い続けた『カラム』だった。)

『ディアン』は、ジャウィからローマ字に切り替える前に、「ディアン綴り」と呼ばれるジャウィの綴り字法を提案した。『ディアン』は1970年の第30号で、ジャウィは社会が発展を遂げている現代に適していないとの評価があるが、それはジャウィの読み書きの体系が整えられていないためであるとし、その解決のために音韻にしたがう綴り方を提案した。

そこでは、アラビア語起源の単語を除き、従来の慣用綴りにもすべて母音を入れて表記することと、文字の上に小さな丸をつけることで*i*と*e*の区別や*u*と*o*の区別をつけることが提案された。しかし、この綴り方は多くの人が慣れ親しんだ表記と著しくかけ離れていたためにマレー人読者の抵抗が大きく、『ディアン』以外で使われることはほとんどなかった。1973年の第57号では修正版が提案されたが、あまり受け入れられず、1975年までに『ディアン』のジャウィ版は停刊となった。

次ページ以降の画像は1970年1月号の「音韻に基づくジャウィ綴りを」の記事。

要約は次の通り。「1969年5月13日事件の後、各方面は適切な対応を試みている。教育省もそのひとつ。学校での教授言語がマレーシア語にされ、宗教科目の教え方が検討され、来年からはジャウィが学校で再び教えられるようになった。教育省のこの試みによって、さまざまな民族がいる社会の中でマレー民族の主権がますます強められることだろう。しかし、ジャウィは読み書きのためのシステムが整えられていないために現代に適していないと見られている。我々は音韻に従う綴りを提案する。ジャウィの読み書きの問題はこれによってのみ解決できる。*wau*は*u*と*o*の2つの音を持っているが、*o*のときは文字の上に小さな丸をつけて区別する。*ya*についても、*e*のときは上に小さな丸をつけて区別する。」

(山本博之)



توليسن جاوي  
دغمن سستيم نوښتان

دانتارا بايق ۲ اوسها يادو سلفس 13 مي يڅ برصفا ناشيونل، تنغا عمرکچيلکن اوسها ۲ کمتریان ۲ لاین، اوسها دري قيهق کمتریان فلاجرانله يڅ بر۲ نمقن ملاققن دادا کيت، ففکونان بهاس مليسا سباکاي بهاس ففتر دسکوله ۲ تله مولا دفریکيکنن سچارا تکس، چارا قيمفاین فلاجران اکام دسکوله ۲ اکن داوبه دان دفریایفکي سچقه مونکين. کمدين اخيرن سکالي اياله توليسن جاوي تله دفروتوسکرن اکن داجرکن سمولا دالم سموا سکوله ۲ دمليسيا قد تاهون دقن، يقمان کيت منجفکا دالم ټيمقوه يڅ سيفقه کلقي توليسن جاوي اين سکورش ۲ اکن داغه عمرتاهمکن کدودوکلکن سباکاي توليسن کيت يڅ تراديشنل دان بردوله. دسمفیع اين کيت فرچاي بهوا سيگف کمتریان فلاجران يڅ يگيتو تکس دان براتي ددالم سوازل ۲ اين اداله سماکين ميايفکنن بقسا ملايو ترهادف کدولان مريک دتقه ۲ مشارکه يڅ بريلق بسا اين.

فرلون فتهوان تنغ توليسن جاوي اين سمد باکي بقسا ملايو دان بوکن ملايو يڅ منجادي رعية تگري اين داغه دکسن دري کات ۲ داتو متري فلاجران يڅ بروبي «اداله فتنیغ باکي فلاجر ۲ مليسا بوله بچاچ دان منوليس توليسن اين توليسن جاوي) اکر مريک داغه کمهامي کبودايان مريک ليه

بايک لایمي، کران کبودايان دان عادة رسم مليسا تله دراقمکن دالم توليسن جاوي». کمدين تنغ فتنیغ دري سکي کاکمان، داتو متري فلاجران جوک تله منکسکن «قد فنداقه ساي توليسن جاوي ميمغ فتنیغ کهد فونوتوه ۲ ملايو يڅ مغاوه اکام اسلام. کالو تيدق باکيمان مريک اکن داغه مفرکاي کدوغن القرائن يڅ دتوليسن دالم توليسن جاوي»؟

تسافي مساله بسر يڅ فسټي ټيمبول دري سوازل فقاجران توليسن جاوي اين اياله تنغ ايجانن. اين اداله سوات فرکارا يڅ تيدق داغه دايقکن تراوتام، کران سهيفکا کيبي فون کيت تيا دتقوي سسوات قاعده مودن يڅ بوله دجادين سباکاي اساس يڅ فریکيکل سمد اتوق توليسن اتو بچاچان. کران کيادان قاعده مودن اينله ميبکين توليسن جاوي تله داغف قايه اوله کيايقکن اورغ، ماله داغف تيدق فریکيکل قد زمان مودن سرپا ماجو اين!

نمقن حال اين تله دسداري جوک اوله قيهق يغيرکنان يڅ تله فون ميکانن اکن براوسها اتوق مفادان سوات چارا قريايين جاوي يڅ موده دان سنغ دفلاجري. ددالم فرکارا اين، قيهق کامي دغمن فنهو راس سوکيچيا ايچين بچيتکنن سوات شور دان برراف چونتوه سکيرا ۲ بوله دجادين سباکاي اساس اتوق بچيتوق سوات قاعده بارو دان تف باکي توليسن جاوي.

سوات چارا يڅ بايک اتوق مچيچا دغن حروف ۲ جاوي يڅ موده قول داغه دچاچ اياله دغن مفعونان قاعده منوره سيسييم فونيتيک. هان دغن قاعده اين ساچ بايق کسوليتن ۲ مفاي فنوليسن دان فمياچان جاوي دفرچيچي داغه داتاسي، والو فون قاعده اين کرلون برراف فمياچان حروف ۲ دسمفیع فمياچان ۲ لاین کانس برراف حروف جوک. دسمفیع ايت دادان جوک برراف فمچواليان ترهادف فرکتان ۲ يڅ سوده بکيتو لومره ايجانن مچيکوه قاعده يڅ بياس ايت، اومفمان:

دټمه ۰ کچیل داتس بولک «و» یڅکوا. بځیتو جوک  
 فرکتان «تیتیک» titek دلټکن تمباهن ۰ کچیل  
 داتس بولک «ی» یڅکوا، دان فرکتان «تیتیک»  
 دټمه ۰ کچیل داتس کوا ۲ بولک «ی».  
 بځیتو جوک فنیاهن بولک «۲» اداله فرلو باځي ایجان  
 ۲ ترین یخ براصل دري کات ۲ داسر یخ براخیر دغن  
 بولک «ی» اومقام کات مهاتي؛ دایجا «ماتیان» متري؛  
 دایجا «متریان» کالي؛ دایجا «کالیان» «کچوالي» دایجا  
 «فچواليان» دانساکاین. این دافه فول میندان دري  
 کات ۲ یخ سوکو کات اخیرن تربتوق دري «ین» اومقام  
 «تولین» «ماین» «کمارین» دالاین ۱.

این هیاله سهانکاین درقد چوتوه ۲ یخ دهارف منداقه  
 فرهاتان دري فیهق یفرکتان ددالم اوسها اتوق مبتوق  
 سوات قاعده یخ تتف دان موده باځي فنیلسن جوي. اتوق  
 منوجو کاره این، کیت هندقن جاقنله بځیتو منیتقون تنغ  
 سوازل ایکنومي حروف ۲ دان جوک تنغ سوازل فرلنجان  
 یخ مستي دتکوع اتوق مفادکن حروف ۲ جوي یخ اد  
 تمباهن. یخ فرلو باځي کیت اباله مفیدوکن سرت مسبرکن  
 ففکونان تولیسن یخ مروفاکن سهانکاین دري کبودایان کیت  
 سهیفاکاین براد سمولا درجو کچمراغتن یخ امقاو ایت.

سلاین دري ایت کیت جوک سوکا مفشورکن اگر فیهق  
 یفرکتان سگرا مغشورکن سوات کوغرس تربوکا دحاضیري  
 اوله سموا کولوغن اهل بهاس دان اورغ فرسوراغن یخ  
 برینه ددالم فرکارا این اتوق کیتنغ دان کینچکن کرس ۲  
 کرج مفاین اگر دافه دروموسکن سوات قاعده تولیسن  
 جوي یخ سستیماتیک سرت درسمیکن ففکونان. دغن ایت  
 اقبیل منطغ تاهون 1971 کلک، تولیسن جوي دغن سستیم  
 ایجان بارو یخ موده دلاجرې دان دباچ ایت دافه داجرکن  
 دسموا سکوله ۲.

— محمد لیب

فرکتان sa-hingga دایجا «سهینگا» ۰ دایجا sa-lama  
 «سلام» ۰ g u n a دایجا «گونا» ۰ دایجا putus  
 «فوتوس» ۰ pandai دایجا «فندای» ۰ دایجا beliau  
 «بلیاو» ۰ chadangan دایجا «چاداغن» ۰ سمنا کات ۲  
 یخ لومره دکوناکن دغن ایجان لام یخ دکوالیکن دري سستیم  
 این اباله اومقام: این، ایت، کالو، جکالو، قدم، کعب، ساچ،  
 راس، سای، کیت، جوک، دان، بېراف، فرکتان یخ لاین لای،  
 ترسمله کهد اهل ۲ بهاس منتون باس ففچوالیان ایت.  
 ایجان مفیکوه سستیم این جوک اکن دافه میندان  
 داننارا بوي بولک «و» ۰ دان بولک «۲» ۰ قد سوکو  
 کات اخیر باځي سته ۲ فرکتان اومقام منوره ایجان لام  
 musoh ایاله «موسه» ۰ دان susah ایاله «سوسه» ۰  
 سلکن منوره قاعده سستیم فونیتیک این musoh  
 دایجا «موسوه». سمنا فرکتان «موسه» ایت دیارکن  
 ایجان منوره قاعده لام یغان کیت دافتي کپیکن سوکو  
 کات اخیر یخ تجادي درقد دوا حروف کونون یخ بویس  
 کاتس ماتي تیدق کولوکن حروف بولک «۲» سقرت ایکن،  
 ماکن، کرم، ساله، کره، لکس دانساکاین.

سوات ککیروان لای ایاله تنغ ففکونان بولک «و» یخ  
 مځویاي دوا فوغي يایت بولک u دان بولک ۰ e دان  
 ففکونان بولک «ی» یخ جوک مځویاي دوا فوغي يایت بولک  
 e دان بولک ۰ اومقام ددالم فرکتان burong بولک  
 borong جویان ایاله «بوروغ» ۰ دان فرکتان ۲ titek  
 دان titek جویان ایاله «تیتیک» ۰ تنفا فریدان اف ۲.  
 اتوق مفاتاسي ککیروان این، دسني نمقن فاتوتله  
 داداکن سوات فنیاهن کاتس کوا ۲ بولک «و» ۰ دان «ی»  
 ایت. اومقام دټمه سوات ۰ کچیل کاتس کوا ۲ «و»  
 دان «ی» ایت اقبیل ماسیغ ۲ منجانکن فوغي بولک ۰  
 دان بولک e فرکتان «بوروغ» ۰ borong دټمه ۰  
 کچیل داتس کوا ۲ بولک «و» ۰ دان «بوروغ» ۰ burong

【翻字】

### **Tulisan Jawi dengan Sistem Fonetik**

Di antara banyak2 usaha baru selepas 13 Mei yang bersifat nasional, tanpa memperkecilkan usaha2 Kementerian2 lain2, usaha dari pihak Kementerian Pelajaranlah yang benar2 nampaknya melapangkan dada kita. Penggunaan bahasa Malaysia sebagai bahasa pengantar di sekolah2 telah mula dipolitikkan secara tegas. Cara penyampaian pelajaran agama di sekolah2 akan diubah dan diperbaiki secepat mungkin. Kemudian akhirnya sekali ialah tulisan Jawi telah diputuskan akan diajarkan semula dalam semua sekolah2 di Malaysia pada tahun depan, yang mana kita menjangka dalam tempoh yang singkat kelak tulisan Jawi ini sekurangnya2 akan dapat mempertahankan kedudukannya sebagai tulisan kita yang tradisional dan berdaulat. Di samping ini kita percaya bahwa sikap Kementerian Pelajaran yang begitu tegas dan berani di dalam soal2 ini adalah semakin meyakinkan bangsa Melayu terhadap kedaulatan mereka di tengah2 masyarakat yang berbilang bangsa ini.

Perlunya pengetahuan tentang tulisan Jawi ini sama ada bagi bangsa Melayu dan bukan Melayu yang menjadi rakyat negeri ini dapat dikesan dari kata2 Dato' Menteri Pelajaran yang berbunyi "Adalah penting bagi pelajar2 Malaysia boleh membaca dan menulis tulisan ini (tulisan Jawi) agar mereka dapat memahami kebudayaan mereka lebih

(p.2)

baik lagi, kerana kebudayaan dan adat rasmi Malaysia telah dirakamkan dalam tulisan Jawi". Kemudian tentang pantungnya dari segi keagamaan, Dato' Menteri Pelajaran juga telah menegaskan "Pada pendapat saya tulisan Jawi memang penting kepada penuntut2 Melayu yang menganut agama Islam. Kalau tidak bagaimana mereka akan dapat menghargai kandungan al-Quran yang ditulis dalam tulisan Jawi?"

Tetapi masalah besar yang pasti timbul dari soal pengajaran tulisan Jawi ini ialah tentang ejaannya. Ini adalah suatu perkara yang tidak dapat dielakkan terutama, kerana sehingga kini pun kita tiada mempunyai sesuatu kaedah modan yang boleh dijadikan sebagai asas yang praktikal sama ada untuk menulis atau membacanya. Kerana ketiadaan kaedah modan inilah menyebabkan tulisan Jawi telah dianggap payah oleh kebanyakan orang, malah dianggap tidak praktikal

pada zaman moden serba maju ini!

Nampaknya hal ini telah disedari juga oleh pihak yang berkenaan yang telah pun menyatakan akan berusaha untuk mengadakan suatu cara penulisan Jawi yang mudah dan senang dipelajari. Di dalam perkara ini, pihak kami dengan penuh rasa sukacita ingin membentangkan suatu syor dan beberapa contoh sekira2 boleh dijadikan sebagai asas untuk membentuk suatu kaedah baru dan tetap bagi tulisan Jawi.

Suatu cara yang baik untuk mengeja dengan huruf2 Jawi yang mudah pula dapat dibaca ialah dengan menggunakan kaedah menurut system fonetik. Hanya dengan kaedah ini saja banyak kesulitan2 mengenai penulisan dan pembacaan Jawi dipercayai dapat diatasi, walaupun kaedah ini memerlukan beberapa penambahan huruf2 di samping penambahan2 lain ke atas beberapa huruf juga. Di samping itu diadakan juga beberapa pengecualian terhadap perkataan2 yang sudah begitu lumrah ejaannya mengikut kaedah yang biasa itu, umpamanya:

(p.3)

perkataan sa-hingga dieja 'sehingga', sa-lama dieja 'selama', guna dieja 'guna', putus dieja 'putus', pandai dieja 'pandai', beliau dieja 'beliau', cadangan dieja 'cadangan'. Sementara kata2 yang lumrah digunakan dengan ejaan lama yang dikecualikan dari system ini ialah umpamanya: ini, itu, kalau, jikalau, pada, kepada, saja, rasa, saya, kita, juga, dan beberapa perkataan yang lain lagi, terserahlah kepada ahli2 bahasa menentukan batas pengecualian itu.

Ejaan mengikut sistem ini juga akan dapat membedakan di antara bunyi bokal 'wau' o dan bokal 'alif' u pada suku kata akhir bagi setengah2 perkataan umpamanya menurut ejaan lama musoh ialah 'musuh' dan susah ialah 'susah', sedangkan menurut kaedah sistem fonetik ini musoh dieja 'musuh'. Sementara perkataan 'susah' itu dibiarkan ejaannya menurut kaedah lama yang mana kita dapati kebanyakan suku kata akhir yang terjadi daripada dua huruf konsonan yang bunyinya ke atas mati tidak memerlukan huruf bokal 'alif' seperti ikan, makan, geram, salah, kerat, akas dan sebagainya.

Suatu kekeliruan lagi ialah tentang penggunaan bokal 'wau' yang mempunyai dua fungsi iaitu bokal u dan bikal o, dan penggunaan bokal 'ya' yang juga mempunyai dua fungsi iaitu bokal e dan bokal I, umpamanya di dalam perkataan burung dan borong Jawinya ialah 'burung', dan perkataan2 titek dan tetek Jawinya

ialah 'titik', tanpa perbezaan apa2. Untuk mengatasi kekeliruan ini, di sini nampaknya patutlah diadakan suatu penambahan ke atas kedua2 bokal 'wau' dan 'ya' itu. Umpamanya ditambah suatu o kecil ke atas kedua2 'wau' dan 'ya' itu apabila masing2 menjadikan fungsi bokal o dan bokal e. Perkataan 'burung' borong ditambah o kecil di atas kedua2 bokal 'wau', dan 'burong' burong

(p.4)

ditambah o kecil di atas bokal 'wau' yang kedua. Begitu juga perkataan 'titik' titek dilefaskan tambahan o kecil di atas 'ya' yang kedua, dan perkataan 'titik' tetek ditambah o kecil di atas kedua2 bokal 'ya'.

Begitu juga penambahan bokal 'alif' adalah perlu bagi ejaan kata2 terbitan yang berasal dari kata2 dasar yang berakhir dengan bokal 'ya' umpama kata 'mani' dieja 'kematian', 'menteri' dieja 'kementerian', 'kali' dieja 'kalian', 'kecuali' dieja 'pengecualian' dan sebagainya. Ini dapat pula membedakannya dari kata2 yang suku kata akhiran terbentuk dari 'in' umpama 'tulin', 'makin', 'kelaparin' dan lain2.

Ini hanyalah sebahagian daripada contoh2 yang diharap pendapat perhatian dari pihak yang berkenaan di dalam usaha untuk membentuk suatu kaedah yang tetap dan mudah bagi penulisan Jawi. Untuk menuju ke arah ini, kita hendaknya janganlah begitu menitikberatkan tentang soal ekonomi huruf2 dan juga tentang soal perbelanjaan yang mesti ditanggung untuk mengadakan huruf2 Jawi yang ada tambahannya. Yang perlu bagi kita ialah menghidupkan serta menyebarkan penggunaan tulisan yang merupakan sebahagian dari kebudayaan kita sehingga ianya berada semula dimercu kecemerlangannya yang lampau itu.

Selain dari itu kita juga suka mengesyorkan agar pihak yang berkenaan segera menganjurkan suatu kongres terbuka dihadiri oleh semua golongan ahli bahasa dan orang perseorangan yang berminat di dalam perkara ini untuk membentangkan dan membincangkan kertas2 kerja mengenainya agar dapat dirumuskan suatu kaedah tulisan Jawi yang sistematik serta diresmikan penggunaannya. Dengan itu apabila menjelang tahun 1971 kelak, tulisan Jawi dengan system ejaan baru yang mudah dipelajari dan dibaca itu dapat diajarkan di semua sekolah2.

--- Mohd. Lebib

媒体別のジャウィ綴りの変遷

誌名	年	ada	pada	ini	jika	maka	bahasa
Za'ba	1941	اد	فد	اين	جک	مک	بهاس
Qalam	1965	اد	فد	اين	جک	مک	بهاس
Mastika	1967	اد	فد	اين	جک	مک	بهاس
Dian	1973	ادا	فادا	ايني	جيکا	ماکا	باهاسا
Utusan Melayu	1992	اد	فد	اين	-	-	-
DBP	1996	اد	فد	اين	جک	مک	بهاس
Pengasoh	2001	اد	فد	اين	جک	مک	-
Jawi Baru	2002	اد	فد	اين	جک	مک	بهاس

誌名	年	CuCuC	-ai	-au	seperti	untuk	usaha
Za'ba	1941	دودق	رامي	اتو	سفرت	انتوق	اوسها
Qalam	1965	دودق	رامي	اتو	سفرت	انتوق	اوسها
Mastika	1967	توجوه	رامي	اتو	سفرت	انتوق	اوسها
Dian	1973	موسوه	رامي	اتاو	سفرتي	اونتوق	اوسها
Utusan Melayu	1992	دودق	رامي	-	-	انتوق	اوسها
DBP	1996	توجوه	رامي	اتاو	-	-	اوسها
Pengasoh	2001	توجوه	رامي	اتو	سفرت	-	اوسها
Jawi Baru	2002	توبوه	رامي	اتاو	سفرتي	اونتوق	اوسها

誌名	年	manusia	agama/ ugama	masya- rakat	mesjid	insaf	Islam
Za'ba	1941	مأنسي	اگام	مشاركة	مسجد	انصاف	اسلام
Qalam	1965	مأنسي	اگام	مشاركة	مسجد	انصاف	اسلام
Mastika	1967	مأنسي	اگام	مشاركة	مسجد	-	اسلام
Dian	1973	مأنوسيا	اوگاما	مشاركة	مسجد	انصاف	اسلام
Utusan Melayu	1992	-	-	-	-	-	-
DBP	1996	-	اگام	مشاركة	مسجد	انصاف	-
Pengasoh	2001	مانسي	اگام	مشاركة	-	-	اسلام
Jawi Baru	2002	مأنسي	اگام	مشاركة	مسجد	انصاف	اسلام

ジャウイ資料紹介(10)

## Utusan Kiblat (ウトゥサン・キブラ)

1971年から1991年までウトゥサン・ムラユ社により刊行されていたジャウイ雑誌。  
画像は1991年に刊行された号の目次。

【読んでみよう⑤】



マレーシアのペナンにある天文台 (2008年9月撮影)



# اوتوسن

## مندوڪوڻ چيٽا برتقوي



### ڪندو ڪن

ڦروسني ايقزيڪوتيف:  
 داتوء خالد حاج عبدالله.  
 ڪتوا ڦغارڻ ڪمڻولن:  
 زين الدين مايدين.  
 ڦغوروس بسر ڪمڻولن:  
 يوسف بادور.  
 ڪتوا سيدڻ ڦغارڻ:  
 احمد ڪسي.  
 سيدڻ ڦغارڻ:  
 ڪيال الدين مة ليلا.  
 فريده محمد ثاني. ايه. حانز حاج سويدين.  
 ميران ابو بڪر.  
 ڦغوروس ڦاسران ڪمڻولن:  
 ذوالفڪر سليمان.  
 ڦروسسي:  
 خديجه خالد.  
 ڦڪاوي ڦرهوڻين عوام.  
 اوتوسن ميديا سيلس سنديرين برحد.  
 ڦغاره ڪريٽاتيف:  
 سمسون محمد نور.  
 ريڪاپنتوق:  
 عبدالمناف عبدالمجيد.  
 چروڪمير:  
 يونية جروڪمير اوتوسن ملايو.  
 وڪيل اعلان:  
 اوتوسن ميديا سيلس سنديرين برحد.  
 نمبر 14/22, جالن 11A, The Right Angle  
 46100 ڦتالغ جاي.  
 تليفون: 7563355 فيڪس نمبر: 7577755  
 ڦغوروس جوانن:  
 سينٽيالي.

- \* اد ڦميسوڻن اجارن اسلام ملالوئي تفسير القرآن - مصطفي سحيمي
- \* مونڪينڪه ڪمبر ۲ سوڪرنو مونچول لائي دالم ڦيليهزاي عموم اندونيسيا؟ - يوسف شريف
- \* ڪڪياتن دعوه دڦريڪه سڪوله - حارث فضيلة
- \* بڪيمان اندا مڦحفل القرآن؟ - ڦروفيسر دقتور عبدالحمي
- \* اوسهاون وانيتا مڦا ماسيه دراڪوڪن؟ - سايتا ماريڪن
- \* هاري ڪبڦسان بڪيمان ڪيت ميمبوٽن؟ - محمد روز عبدالوهاب

IBU PEJABAT: Utusan Melayu (Malaysia) Berhad, 46M, Jalan Chan Sow Lin, 55200 Kuala Lumpur.  
 PEJABAT PEJABAT BIRO CAWANGAN:  
 SELANGOR: No. 51, Jalan Raja Bot, 41400 Klang, 03-318252, No. 3, Jalan 52/10, 46200 Petaling Jaya, 03-59656 PERAK: No. 23, Jalan Che Tak, 30300 Ipoh, 05-621649, No. 1, Jalan SMK12, Bandar Sri Manjong, 32000 Sitawan, 05-915455, No. 3270, Jalan Sungai Nibong, 36000 Teluk Anson, Tingkat 1 Arked MARA, Jalan Taiping, 34200 Parit Buntar, 5B Arked MARA, Jalan Kuala Kangsar, 33000 Kuala Kangsar, No. 237, Jalan Besar, 34030 Taiping, 05-822280 KELANTAN: No. 6800-D, Banyuanan PKINK, Jalan Bayan Lama, 15200 Kota Bharu, 09-781563 TERENGGANU: No. 35, Jalan Bukit Kecil, 21100 Kuala Terengganu, 09-623211 PAHANG: No. 18, Bangunan LKNP, Jalan Bukit Ubi, 25200 Kuantan, C-321, Bangunan LKNP, Jalan Kuantan, 28000 Temerloh, 09-51388 PULAU PINANG: Lot 314, Kawasan Perusahaan Tiga, Kawasan Perusahaan Perai, 23600 Perai, 04-341048, 341114, 341993, No. 4557, Jalan Hong Choong Thian, 12300 Butterworth, No. 32, Jalan Argyll, 10500 Pulau Pinang 04-20901 & 60491 JOHORE: No. 19, Jalan Mengkudu, Taman Makmur, 83000 Batu Pahat, 072-713244, No. 13-6, Jalan Masjid, 84000 Muar, 06-921939, No. 24, Taman Pelangi, Jalan Serampang, 80030 Johor Bahru, 073-32906 & 332880 MELAKA: No. 358, Taman Melaka Jaya, 75000 Bandar Hilir, 06-224660 & 240049 NEGERI SEMBILAN: No. 39, Jalan Temple, 70200 Seremban, 06-72450, KEDAH: No. 1588, Jalan Sultan Badlishah, 05000 Alor Setar, 04-731259, No. 5, Kompleks Seri Temin, Jalan Ibrahim, 08000 Sungai Petani, PERLIS: No. 7, Jalan Jubli Perak, 01000 Kangar, 04-751412, SABAH: 496, Taman Jambong Petagas/Patatan, 88200 Kota Kinabalu, Sabah, SARAWAK: Lot 269, Section 9 Jalan Satok, 93400 Kuching, Sarawak LONDON: 86, Empire Court, North End Road Wembley Middlesex, London, HA9 0AQ, JAKARTA: No. 7, Jalan Dwijaya Kebayoran Baru, Jakarta Selatan, Indonesia SINGAPURA: Utusan Melayu (Singapore) Pte. Ltd. 7500A, Beach Road, 09-323 The Plaza, Singapore 0719, Tel: 02-2900111 Fax: (02) 2971255.

## ジャウイ資料紹介(11)

### **Cahaya Nusantara** (チャハヤ・ヌサンタラ; ヌサンタラの輝き)

2006年にジャカルタで創刊された月刊のタブロイド誌。「インドネシア独立後の初のジャウイ定期刊行物」という触れ込みで創刊された。

ジャワ島のイスラム寄宿塾などで学ぶアラビア志向のインドネシア人青年層に対してジャウイを通じてイスラム以外の世界の状況や東南アジア固有の文化・社会について伝えることが期待されていた。2007年に停刊。

画像は2006年12月の創刊準備号の投書欄。インドネシアではジャウイを「アラビア文字マレー語」などと呼んで「ジャウイ」とは呼ばないことが多いが、『チャハヤ・ヌサンタラ』では「ジャウイ」という呼び方もされていた。

#### 【読んでみよう⑥】



インドネシア・アチェ州の眼鏡店 (2005年8月撮影)



Lama-lama Lancar membacanya

### لما لما اكن لچار مباچا

بنتوق تولىسن عرب جاوي. اونتوق فرتام كالي، سباكيان فمباچ ممكن اكن مغالامي كسوليتن نامون حال اتو تيدق اكن لا ما. كلاو مريك سوده ترياسا ممباچ، مكا سموان اكن لنچار سفرتي حروف رومالوي ساج. جادي اتي هان بوتوه سديكيت وقتو دن كصبرن. سبا مسيه اغت قد تاهون 1960-ن، سوتتو سايا ماسيه كچيل. ساعة اتو سريغ مليهت اواغ لوگام يغ قتوليسنيا مماكاي عرب جاوي. بهكن سوتتو موندوق دي قستورين، سايا ساللو منوليس سورت اونتوق اورغتوا سايا دغن مگنونان حروف عرب جاوي، كرنا مريكا ميمغ ليهه مغتاهوي عرب جاوي دبندغ حروف لاتين. الحاج كياهي مصطفى يعقوب (اهل حديث) □

ساي مراسا سناغ مندر عرب جاوي اكل تربيتن تبلويد چهاي نوستار. تراونما كارنا تبلويد اتي مماكاي حروف عرب جاوي. اتي ساغت سسوي دغن كاينين هاتي كچيل ساي سنجق لا ما. ياتو اكر كيتا ساللو داقت ممقرتاهنكن بوديا يغ كيتا ملكي. سفرتي كيتا كتاهوي، حروف عرب جاوي اداله بواه بوديا بغسا. اتي هاروس دجاكا دن دلستاريكن. كارنا كترفوركن سواتو بغسا اكن دملاوي داري كترفورون بوديا. كلاو حروف لئين يغ بوكن بوديا كيتا ساج بيسا بركمغ مغاف عرب ملايو تيدق بركمغ. جاغن سمقاي كيتا كتينگان اوليه نكارا مليسيا دن نكارانكارا لاین دي اسيا تگنارا. كارنا دينكارا نكارا اتو، كيتا بيسا دغن موده متمون ارتيكل دالم

### ساي سوكا منوليس سورة دغن حرف جاوي



Saya Suka Menulis Surat dengan Huruf Jawi

ساي ساغت تر تاريق مندغار رنجان قتر بيتن تبلويد چهاي نوستار. تر ليهه كارنا تبلويد اتي باكل منجادي ميديا فرتام دي اندونيسيا يغ مگنونان حروف عرب جاوي. ار تبتا، اكن اد بايق مشاركة دي نكارا اتي يغ بيسا مندافتكن سار نا ليهه بيسا اونتوق بلاجر ممباچ حروف عرب جاوي قد خصوص دن حروف عرب قد عموم. الحمد لله، سچارا فريادي ساي بيسا ممباچ حروف عرب جاوي اتي. بهكن ساي مسيه سوك ملاوكن سورت-مبورت دغن مگنونان حروف اتي. هار فن ساي، ميديا اتي بيسا تروس بركمغ سفرتي يغ دچيتا-چيتانقن فارا فغلولان. والسلام عليكم ورحمة الله وبركاته ديدي قنت (ار تيس) □

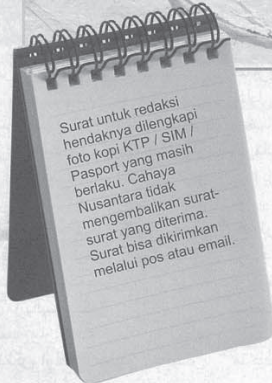
Mengembalikan Kejayaan Budaya Indonesia

### مغبا ليكن كجايان بوديا اندونيسيا

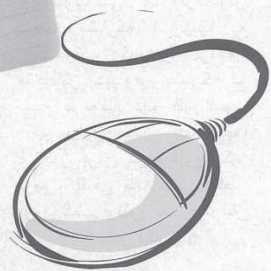
السلام عليكم ورحمة الله وبركاته

ساي سمفايكن سلامة اتس تربيتن تبلويد چهاي نوستار. ساي سالوت دغن چيتا-چيتا يغ دامين سلوروه اوق تبلويد اتي. ياتو مغبا ليكن كجايان ساله ساتو بوديا اندونيسيا براوقا حروف عرب جاوي اكر بيسا ساجار دغن بنتوق كبوديان يغ لاین. جوجور، سچارا فريادي ساي مراسا هيرن دغن كبرانيان يغ داميل اوليه فغلولو تبلويد اتي. منوروت سايا، حروف عرب جاوي اتاو يغ بيسا كامي سيوت دغن اصطلاح حروف فگنون كورغ بگيتو ممشارفة. ايا هاپا بايق دفركوناكن دي قستورين-قستورين سلف. اوليه كارنا اتو، ساي هاپا بيسا مندعاكن سموكا سلوروه اوق ريكسي سنانتياسا دبري ققواتن دالم منچاقاي چيتا-چيتا يغ دهارقن. يغ قستي سموا يغ دكرجكن اتي مملوكن فقوربانن دن كرجا كراس يغ تيدق سديكيت.

والسلام عليكم ورحمة الله وبركاته الحاج محمد نجيب نخراوي، فكلوغن □



Surat untuk redaksi hendaknya dilengkapi foto kopi KTP / SIM / Pasport yang masih berlaku. Caranya Nusantara tidak mengembalikan surat-surat yang diterima. Surat bisa dikirimkan melalui pos atau email.



【翻字】

Saya suka menulis surat dengan huruf Jawi

Saya sangat tertarik mendengar rencana penerbitan tabloid Cahaya Nusantara. Terlebih karena tabloid ini bakal menjadi media pertama di Indonesia yang menggunakan huruf Arab Jawi. Artinya, akan ada banyak masyarakat di negara ini yang bias mendapatkan sarana lebih besar untuk belajar membaca huruf Arab Jawi pada khususnya huruf Arab pada umumnya. Alhamdulillah, secara pribadi saya bias membaca huruf Arab Jawi ini. Bahkan saya masih suka melakukan rurat-menyurat dengan menggunakan huruf ini. Harapan saya, media ini bias terus berkembang seperti yang dicita-citakan para pengelolanya. Wassalam alaikum wa rahumatullahi wa barakatuh

Dede PTT (artis)

Lama-lama lancer membacanya

Saya merasa senang mendengar berita bakal terbitnya tabloid Cahaya Nusantara. Terutama karena tabloid ini memakai huruf Arab Jawi. Ini sangat sesuai dengan keinginan hati kecil saya sejak lama. Iaitu agar kita selalu dapat mempertahankan budaya yang kita mlki.

Arab Jawi adalah buah budaya bangsa. Ini harus dijaga dan dilastarikan. Kerena ktrpurkan suatu bangsa akan dimulai dari keterupurukan budayanya. Kalau huruf Latin yang bukan budaya kita saja bias berkembang mengapa Arab Melayu tidak berkembang. Jangan sampai kita ketinggalan oleh negara Malaysia dan negara negara lain di Asia Tenggara. Karena di negara negara itu, kita bias dengan mudah menemukan artikel dalam bentuk tulisan Arab Jawi.

Untuk pertama kali, sebagian pembaca memakan akan mengalami kesulitan. Kalau mereka sudah terbiasa membaca, maka semuanya akan lancer seperti huruf Romawi saja. Jadi ini hanya butuh sedikit waktu dan kesabaran. Saya masih ingat pada tahun 1920an, sewaktu saya masih kecil. Saat itu sering melihat orang logam yang penulisannya memakai Arab Jawi. Bahkan sewaktu munduk di pesantren, saya selalu menulis surat untuk orangtua saya dengan menggunakan huruf Arab Jawi, karena mereka memang lebih mengetahui Arab Jawi disbanding huruf Latin.

Alhaj Kyai Mustafa Yakub (ahli hadith)

Mengembangkan kejayaan budaya Indonesia

Assalam alaikum wa rahumatullahi wa barakatuh

Saya sampaikan selamat atas terbitnya tabloid Cahaya Nusantara. Saya salut dengan cita-cita yang diamban seluruh awak tabloid ini. Iaitu mengembalikan kejayaan salah satu budaya sejajar dengan bentuk kebudayaan yang lain. Jujur, secara peribadi saya merasa heran dengan keberanian yang diambil oleh pengelola tabloid ini.

Menurut saya, huruf Arab Jawi atau yang biasa kami sebut dengan istilah huruf pegon kurang begitu memasyarakat. Ia hanya banyak dipergunakan di pesantren-pesantren slp. Oleh karena itu, saya hanya bias mendoakan semoga seluruh awak redaksi senantiasa diberi kekuatan dalam mencapai cita-cita yang diharapkan. Yang pasti semua yang dikerjakan ini memerlukan pengorbanan dan kerja keras yang tidak sedikit.

Wassalam alaikum wa rahumatullahi wa barakatuh

Alhaj Muhammad Najib Nakhrawi

Pekalongan

## 参考文献

- Abdul Aziz Mat Ton. (ed.). 2006. *Pengislahan Masyarakat Melayu: Perbincangan al-Imam (1906-1908)*. Kuala Lumpur: Dewan Bahasa dan Pustaka.
- Ahmat Adam. 1994. *Sejarah dan Bibliografi Akhbar dan Majalah Melayu: Abad Kesembilan Belas*. Bangi: Penerbit Universiti Kebangsaan Malaysia.
- Ahmad Adam. 1995. *The Vernacular Press and the Emergence of Modern Indonesian Consciousness (1855-1913)*. Ithaca: Southeast Asia Program, Cornell University.
- Abu Bakar Hamzah. 1991. *Al-Imam: Its Role in Malay Society 1906-1908*. Kuala Lumpur: Pustaka Antara.
- Gunn, Geoffrey C. 1997. *Language, Power, & Ideology in Brunei Darussalam*. Ohio: Center for International Studies Ohio University.
- Hamed Hahd. Adnan. 2002. *Direktori Majalah-Majalah Melayu sebelum Merdeka*. Kuala Lumpur: Penerbit Universiti Malaya.
- Md. Sidin Ahmad Ishak. 1998. *Penerbitan dan Percetakan Buku Melayu 1807-1960*. Kuala Lumpur: Dewan Bahasa dan Pustaka.
- Mohd. Safar Hasim. 1996 *Akhbar dan Kuasa: Perkembangan Sistem Akhbar di Malaysia sejak 1806*. Kuala Lumpur: Penerbit Universiti Malaya.
- Nordi Achie. 2003. *Akhbar Melayu Perjuangan di Sarawak*. Kuala Lumpur: Penerbit Universiti Malaya.
- Riddell, Peter. G. 2001. *Islam and the Malay-Indonesian World: Transmission and Responses*. Singapore: Horizon Books.
- Roff, William. W. 1974. *The Origins of Malay Nationalism*. Kuala Lumpur: Penerbit University Malaya.
- Talib Samat. 2002. *Ahmad Lutfi: Penulis, Penerbit dan Pendakwah*. Kuala Lumpur: Dewan Bahasa dan Pustaka.
- Taufik Abdullah. 1972. "Modernization in the Minagkabau World: West Sumatra in the Early Decades of the Twentieth Century." Claire Holt (et al.) (eds.). *Culture and Politics in Indonesia*. Ithaca: Cornell University Press. pp.179-245.
- Thomas, Phillip Lee. 1984. *Fajar Sarawak: Akhbar Bahasa Melayu yang Pertama di Sarawak 1930*. Petaling Jaya: Penerbit Fajar Bakti.

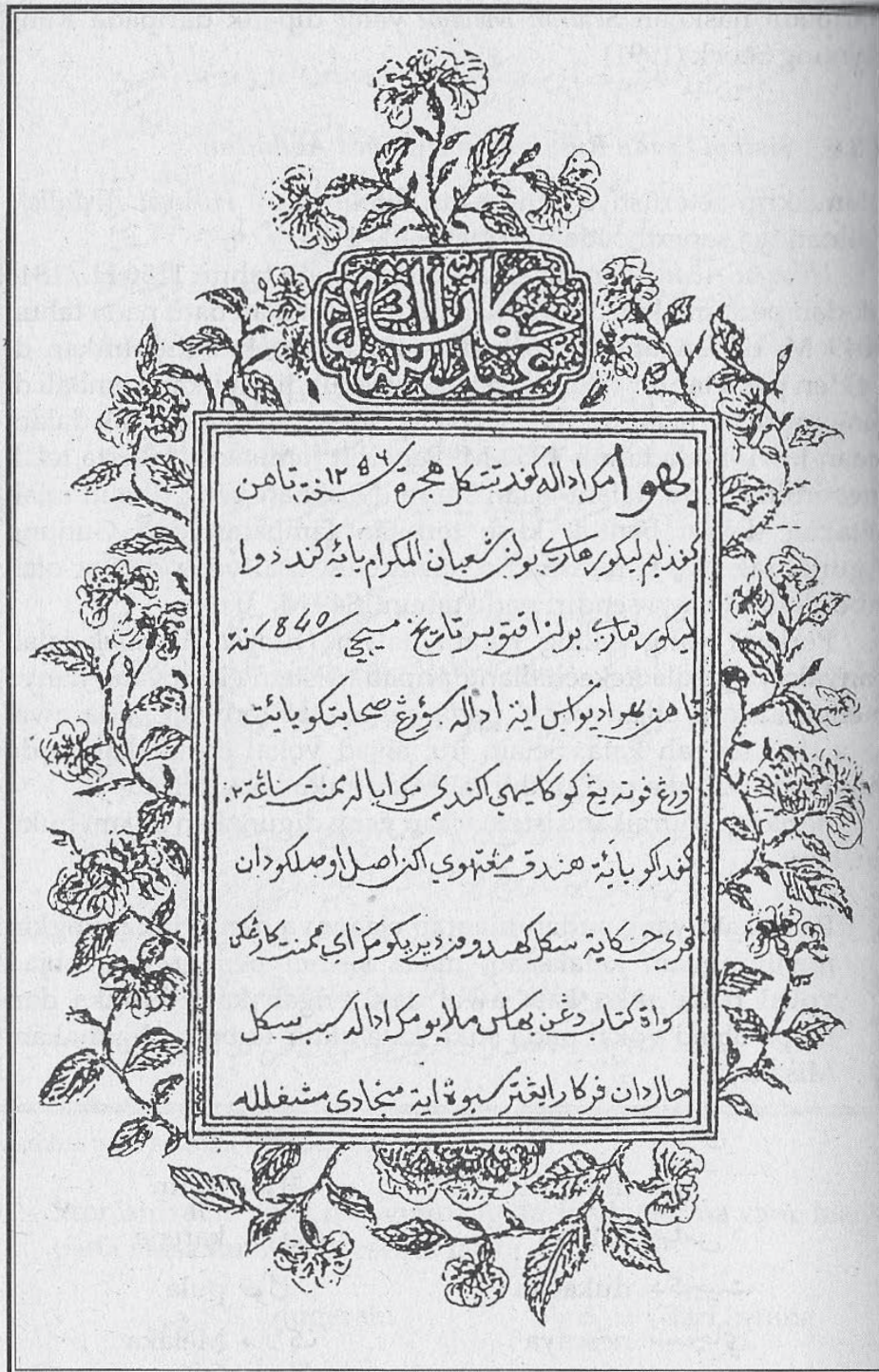






# 資料編

1. アブドゥッラー物語
2. 海峡植民地政庁の硬貨発行に関する『布告』
3. スランゴルのスルタンによるイギリス人理事官の受入れに関する宣言
4. 西スマトラの婚姻証明書
5. シンガポール・マレー人同盟の設立会議
6. アチェの大ウラマーによるインドネシア独立への支持宣言



Salinan foto *Hikayat Abdullah* cetakan klise Penerbit Jambatan dan Gunung Agung berasaskan cetakan batu Abdullah Munshi tahun 1849 M.



Salinan foto Hikayat Abdullah.

『アブドゥッラー物語』 (Hikayat Abdullah、1849 年)

【翻字】 (2 ページ目 7 行目まで)

1. Bahawa maka adalah kepada tatkala hijrah sanat 1246 tahun
  2. kepada lima likur hari bulan Syaaban al-mukaram yaitu kepada dua
  3. likur hari bulan Oktober tarikh Masihi sanat 1840
  4. tahun bahawa dewasa itu adalah seorang sahabatku yaitu
  5. orang putih yang kukasihi akan dia maka ialah meminta sangat-sangat
  6. kepadaku yaitu hendak mengetahui akan asal usulku dan
  7. peri hikayat segala kehidupan diriku maka ia meminta karangan
  8. suatu kitab dengan bahasa Melayu maka adalah sebab segala
  9. hal dan perkara yang tersebut itu menjadi masyghullah
- 
1. aku serta beratlah rasanya anggotaku sebab duduk berfikirkan
  2. kehendak kekasihku yang demikian kerana segala hal ehwal
  3. yang tersebut itu semuanya perkara-perkara yang telah lalu zamannya.
  4. Sebagai lagi yang mendatangkan duka cita dalam hatiku
  5. sebab bahawa sesungguhnya aku ini seorang bodoh lagi dengan
  6. kurang budiku dan fahamku dalam ilmu bahasa maka bertambah-tambah
  7. pula picik pengetahuanku dalam ilmu mengarang adanya.

【出典】 Hashim Musa. 1997. *Epigrafi Melayu: Sejarah Sistem Tulisan dalam Bahasa Melayu*. Kuala Lumpur: Dewan Bahasa dan Pustaka, pp.210-211.

【解説】

この文章は、『アブドゥッラー物語 (Hikayat Abdullah、1849 年)』の序文の冒頭部分である。著者アブドゥッラー・アブドゥル・カディル (Abdullah bin Abdul Kadir、1797～1843) はマラッカ生まれであるが、父方の曾祖父はイエメン・ハドラマウト出身のアラブ人で、母方の祖母はインド人という混血者であった。アブドゥッラーはシンガポールの建設者であるイギリス東インド会社のラッフルズ (T. S. Raffles、1781～1826) の通訳として知られる。アブドゥッラー物語は、このアブドゥッラーの自叙伝であり、ムスリムの眼を通して見た当時のマラッカ、シンガポールの植民地社会が活写されている。それまでの宮廷文学とは異なり、一人称で写實的に自らの見聞が描かれた

この作品は、マレー語における近代文学の始まりとされる。イギリスの植民者社会に身を置いたアブドゥッラーはマレー・ムスリム世界における「近代」の紹介者のひとりであり、混血者ながら近代マレー語の成立やマレー人という民族意識の形成にも大きな役割を果たした。この先駆性により、『アブドゥッラー物語』は現在にまで受け継がれる文学作品となっている。

参考文献：アブドゥッラー著、中原道子訳『アブドゥッラー物語（東洋文庫）』（1980、平凡社）。

(坪井祐司)

【読んでみよう⑦】



答えは 109 ページ (2006 年 8 月撮影)

# PUBLIC NOTICE.

Notice is hereby given that the only Copper Coins lawfully current in this Colony and a legal tender are the Copper Coined Cents, half cents, and quarter cents issued under the Authority of Her Majesty's Mint in England and Calcutta, and all persons are warned against receiving Copper Coins of any other sort than those above described.

By His Excellency's Command,  
**T. BRADDELL,**  
*Colonial Secretary.*  
**COLONIAL SECRETARY'S OFFICE,**  
*Singapore, 5th February, 1875.*

கிதான்

بموجب اذنه كيتا ان اين دكلارك اذاله دويه سين بيغ فاته ددائي دداليم كيريمه  
 سيقه فوراً فو قونغ دان ملك ايت دويت سين بيغ سائر سين سقغه سين دان  
 سكر سين ايت سراج يغتله كلار ذراوم حكم يعمها مليا كيون سرت دغن مخراب  
 يغتله دويوات دداليم امكن دان كلكتا اذان  
 ملك سكارغ اين دايعتكن قد سكتين اربع جاشغلاكي دوتروا دويت اين كيري  
 ميكن يفتوسوت دانس ايت دغن لام كيون يعمها مليا اذاليم  
 دغش تندا تون يفتوسوت كيريمه مليا  
 تومس تيرادل  
 كوريل سكرتير  
 سيقه فوراً فو قونغ دان ملك  
 1875 8 فبراير 5

## பயிரங்க விளம்பரம்.

இசைல் யவருக்கும் ஸரபுகப்படுத்திமது என்னவென்றால்:—  
 சிங்கப்பூர், பிலிங்கு, மலக்காலவென்ற முன்றுரின் தரைத்தனத்திற்கு,  
 காமலொருந்நிய இரானி யவர்களின் முத்திரையெடு இந்நிலாண்டு,  
 கலத்தகாலில்லாதத முழுச்சென்றுகள், அரைச்சென்றுகள், கால்கென்  
 றுகவென்ற செப்புக்காகன் வழங்கத் தருமானவை, அல்லாமல் இரா  
 னியின் முத்திரைக்காலல்லாத பிராஜாங்கக் காக்கன் வாங்கப்படாது.  
 இப்படிக்கு மேலான உத்தரவின்படி,  
 த. பிறடல்  
 சென்னை மென்மைச் செயலகம்  
 1875 மார்ச்சு 8

乙 英 大 廿 七 十 一 號  
 1875 年 元 月 初 三 日

இப்படிக்கு மேலான உத்தரவின்படி,  
 த. பிறடல்  
 சென்னை மென்மைச் செயலகம்  
 1875 மார்ச்சு 8

大英國欽命管理新嘉坡檳榔嶼與麻六甲各州府等處  
 督憲大人 為  
 曉諭爾各色人等知悉茲此三州府使銅錢必用  
 本英國或望喇喇國轄錢局所鑄出大鋪一占中鋪  
 半占或小鋪嗣後不準人使用別國之錢鋪  
 大人出示做誠爾各色人等買賣交易不許收外國  
 之錢鋪毋違示知

英一千八百七十五年正月八號  
 乙亥年元月初三日

告白

## 海峡植民地政庁の硬貨発行に関する『布告』(Kenyaatan、1875年)

【翻字】(ジャウイ部分)

1. Kenyaatan
2. Bahawa maka adalah kenyaatan ini dikeluarkan adalah duit sen yang patut dipakai di dalam *government*
3. Singapura Pulau Pinang dan Melaka itu duit sen yang satu sen setengah sen dan
4. suku sen itu sahaja yang telah keluar di bawah hukum yang maha mulia *queen* serta dengan materainya
5. yang telah yang diperbuat di dalam *England* dan *Culcatta* adanya.
6. Maka sekarang ini diingatkan pada sekalian orang jangan lagi-lagi diterima duit lain negeri
7. melainkan yang tersebut di atas itu dengan nama *queen* yang maha mulia adanya.
8. Dengan tanda tuan yang terutama *government* yang mulia
9. *Thomas Braddell*
10. *Colonial Secretary* Singapore 8 hari bulan Februari 1875
11. Singapura Pulau Pinang dan Melaka

【出典】National Archives of Malaysia. 2008. *Archives: Exclusive Heritage*. Kuala Lumpur, pp.40-41.

【解説】

これは、1875年にイギリス領海峡植民地(シンガポール、ペナン、マラッカ)政庁が硬貨(銅銭)を発行することを宣言し、それ以外の硬貨を使用することを禁じた布告である。この資料の特徴は、同じ内容の布告が英語、マレー語(ジャウイ)、中国語(漢文)、タミル語(南インドの言語)という4つの言語・文字により同時に出されていることである。現在のマレーシア、シンガポールでは、イギリスによる植民地化とともに、19世紀後半以降、中国、インドからの移民労働者が到来し、イギリス人、マレー人(現地人)、華人、インド人などからなる多民族社会となった。このため、植民地行政においてすべての住民にかかわる公文書が出される際には、この布告のように4つの言語そ

それぞれの版が作成されることもあった。現在のシンガポールにおいてはこの4つの言語が公用語となっており、マレーシアでもこれらの言語が併記された文書、看板などが珍しくない。これは、19世紀の植民地期から続いている公的な情報の共有のあり方なのである。  
(坪井祐司)

【読んでみよう⑧】



シンガポールの駅のホームの表示。英語、中国語、マレー語、タミル語で表記されている。(2006年8月撮影)



بهوا مک امله کیت سلطان عبدالصمد این تفکو عبداله یو جغوری سید  
 کرا جان نکر و سلاخور سق دغی ککل جاجانند هبری تاهو مذ کلین اور  
 بایکر بغوس شور غنون مک کیت سلطان عبدالصمد دغی رما هان  
 ججوق فرخین ~~دغی~~ تون یو ترا نام کر و یلم و نسیر و مند خوسر  
 وکیل برتیس کبر منت کفره یو فرجوت دباوه این  
 فصل یو ترا نام مک کیت هبری نرکاسر باهق کفو کبر منت افکوسر  
 اکر سید فرولون کبر منت افکوسر یو تلر کلاوایت صلیسین ککل فرکارا  
 نکر و سلاخور این مک ~~کرا~~ تراول ککله کیت رضا اکر سید فکاو و افکوسر  
 بایت برتیس رسیدنت بولر دودق دحالم نکر و کیت این مچالنگن  
 ککل فرکارا نکر و کیت این اداره  
 فصل یو کدوا مک سقای جاقن جادی کلسید کدین هاری اتار برتیس کبر منت  
 دغی نکر و سلاخور دن سفلی کخی ککل بولر کلاو کبر منت افکوسر تلوخ دانسر نکر و  
 سلاخور این دغی جبری فکاو و افکوسر بایت برتیس رسیدنت دودق دحالم  
 نکر و سلاخور این مک کرا این کیت هجوق و خجیر این مفاو یو کیت سلطان  
 عبدالصمد خجی کرا کیت سفیدر دن کرا انق هو جو دن وکیل کتیه کیت  
 این جکلو دغی کسوکا کبر منت افکوسر این کیت سلطان سلاخور دن انق  
 چوو وکیل کتیه کیت این خجی اکر ترم فکوی افکوسر بایت برتیس رسیدنت  
 دودق دحالم نکر و سلاخور این مفاو وکیل سلطان مچالنگن ککل فرکارا  
 نکر و سلاخور این اداره  
 فصل یو کیکر مک تون برتیس رسیدنت ایره بولر هه فرنگن ککل جعل معول  
 نکر و سلاخور این دغی نها کیت سلطان سلاخور دن بولر تون رسیدنت این  
 هجبار و فی حاصل ایت دغی کفانت کفو فیکر ان دی دن صفها فاید دانسر نکر و  
 سلاخور این وار لاکتی کیت هبری کوا سر کفو ککل تون رسیدنت یو دلتفکون  
 تون ترا نام کبفر ~~ح~~ تیک یو نکر و سقای تون ایت بولر مچالنگن ککل حکم حکیم  
 دحالم نکر و سلاخور این مفاو دغی کیت دن دغی وکیل ملوک کیت این بایت  
 تفکو صیالادین

## スランゴルのスルタンによるイギリス人理事官の受入れに関する宣言 (1876年)

### 【翻字】

1. Bahawa maka adalah kita Sultan Abdul Samad bin Tungku Abdullah yang mempunyai takhta
2. kerajaan negeri Selangor serta dengan segala jajahan memberitahu pada sekalian orang
3. baik bangsa seorang pun maka kita Sultan Abdul Samad dengan reda hati
4. membuat perjanjian dengan tuan yang terutama *Sir William Francis Drummond Jervois*
5. wakil *British government* seperti yang tersebut di bawah ini.
6. Fasal yang pertama: Maka kita memberi terima kasih banyak kepada *government Inggeris*
7. akan sebab pertolongan *government Inggeris* yang telah lalu itu menyelesaikan segala perkara
8. negeri Selangor ini maka terutama sekali kita reda akan sebab pegawai *Inggeris*
9. iaitu *British Resident* boleh duduk di dalam negeri kita ini menjalankan
10. segala perkara negeri kita itu adanya.
11. Fasal yang kedua: Maka supaya jangan jadi selisih pada kemudian hari antara *British government*
12. dengan negeri Selangor dan supaya sampai kekal boleh selalu *government Inggeris* tolong di atas negeri
13. Selangor ini dengan memberi pegawai *Inggeris* iaitu *British Resident* duduk di dalam
14. negeri Selangor ini maka kerana ini kita membuat perjanjian ini mengaku yang kita Sultan
15. Abdul Samad menjanji kerana kita sendiri dan kerana anak cucu dan wakil ganti kita
16. ini jikalau dengan kesukaan *government Inggeris* ini kita Sultan Selangor dan anak
17. cucu wakil ganti kita itu janji akan terima pegawai *Inggeris* iaitu *British*

*Resident*

18. duduk di dalam negeri Selangor ini menjadi wakil Sultan menjalankan segala perkara
19. negeri Selangor ini adanya.
20. Fasal yang ketiga: Maka tuan *British Resident* ini boleh sempurnakan segala hal ehwal
21. negeri Selangor ini dengan nama kita Sultan Selangor dan boleh tuan Resident itu
22. membayar wang hasil itu dengan sepatut kepada fikiran dia dan menjaga faedah di atas negeri
23. Selangor ini dan lagi kita memberi kuasa yang cukup kepada segala tuan Resident yang diletakkan
24. tuan terutama *Governor* tiga buah negeri supaya tuan itu boleh menjalankan segala hulum hakim
25. dalam negeri Selangor ini sepakat dengan kita dan dengan wakil mutlak kita itu iaitu
26. Tunku Dia Uddin.

【出典】 National Archives of Malaysia. 2008. *Archives: Exclusive Heritage*. Kuala Lumpur, p.58.

【解説】 この資料は、1876年にマレー半島・スランゴルのスルタン・アブドゥル・サマドよりすべての民族 (bangsa) の人びとに対して出された宣言である。スルタンはイギリス領海峡植民地知事のジャーヴォイスと条約を結び、イギリス人行政顧問である理事官 (Resident) の駐在を認めた。手紙では、理事官がスルトンの代理 (wakil) としてすべての行政を執行する権限を与えられることが明記された。これは行政権をイギリスに譲り渡すことを意味しており、理事官の受け入れによってスランゴルはイギリスの保護領 (植民地) となった。イギリスは、1874年のペラ、スランゴルを皮切りに、マレー半島の九つの王権と次々に条約を結んで保護領としていった。これらの9つの州と、19世紀前半までにイギリスの直轄領となっていた海峡植民地 (ペナン、シンガポール、マラッカ) によりイギリス領マラヤが形成された。これらの保護領において、スルタンは実権を奪われたものの、名目上の主権者として植民地体制下で生き残った。現在のマレーシアに9つの王家が存在し、輪番で王位についているのはこうした経緯によるものである。

(坪井祐司)

سورة نیکح

نمبر ۵۶

تاهون ۱۹۳۴

اوغ نیکح ۱-۲ (دوا روفیه دانر) ( )  
 فدهاری جمعہ تیگل فی ہاری بولن اکوسس تاهون ۱۹۳۴  
 دغن فنجگان سای مالیم فو تیرا قاضی نیکح دنگری ایر دیغین  
 تله نیکح لائی برنام جاخن سوکو چینی نگری  
 کفوغ ایر ہا بہ اسل دری نگری فن کفوغ ایر دیغین دغن فرمفوان  
 برنام لاسون سوکو کتیا پیر نگری ایر دیغین کفوغ ایر ہا بہ  
 اسل دری نگری دن کفوغ ایر دیغین دغن مساکی تملیق  
 دیوک سفیر کالو جاگان لاون انم بوکا جاگان دغی نیکہ بوکا اگو نید و نغقا  
 سفیر نیکہ بوکا کالو دری مؤادون قاضی د مسویب جاقو طلوع  
 یغ منجادی والیب مالیم سوکو کتیا پیر نگری ایر دیغین  
 تیگل د ایر ہا بہ

تند تاغن کسی  
 (۱۹۳۴) موغین فرنام  
 (۱۹۳۴) راہه طلق کدوا فدهاری  
 کتیک

فدهاری جمعہ فی بولن اکوسس تاهون ۱۹۳۴ نمبر ۵۶  
 فصل نیکح این تله دبری تھوکن کغد قاضی نیکح دنگری ایر دیغین

Register a bedoeld by besluit Resident S. W. K.  
 van 23 November 1932 No. 795.

## 西スマトラの婚姻証明書(Surat Nikah)

この資料は、オランダ植民地時代末期に西スマトラで用いられていた婚姻証明書(Surat Nikah)である。婚姻の日付、婚姻する両者の名と立会人の名、婚姻手数料(uang nikah)の額などを記入する欄に加えて、離婚が成立する条件を記入する欄が設けられており、ここでは「海路 6 ヶ月、または陸路 3 ヶ月以上の旅に出た場合、もしくは 3 ヶ月以上にわたって生活費を与えなかった場合」と記載されている。男性が出稼ぎに出ることが多かった当時の西スマトラ社会の状況をうかがい知ることができる。

このように、オランダの植民地行政においても、一部でジャウィは行政文書に利用されていた。植民地時代には、婚姻や相続など家族法に関わる分野についてのみ、西洋の世俗法ではなくイスラム法の適用が許されていた。イスラム法を司るウラマーたちにとって、婚姻証明書の発行は自らに残された数少ない権限のうちのひとつだったのである。

(國谷徹)

【読んでみよう⑦ (101 ページ) 答え】



シンガポールのショッピングセンター内の看板 (2006年8月撮影)

”گسا اوان ملاو ہیا اورا“

ہوات ارہمہ وئق گران اورغ ملاو

ہوات ہشوارت رانی ہاکی

اورغ ۱ ملاو جاوا ہوا وئق او کس

دائلا وئق ۲ اورغ ہومیترا کور کور وئق

۱ راو ۲ ملاو دھیلہ ہیتی تہہ دادا وئق

دغن ہومیترا تھکو عبدالقادر وئق تھکو

محمد نجیہ ۰ لی دان ا محمد وئق وئق

ہیت اللہ ددالم اہقان گھو وئق کلم اہنغ

ہاری ہمت ۱۴ ہار وئق مئی ۱۹۲۴

مک راہیہ اورغ ۲ درلہ قوم ۲ ہتر ہجوت

دائس اہت اللہ حاضر دان گھو وئق درند

ا عہد المان جرو وئق ہا س ملاو محکمہ دارہ

تشریفکن مقصود دادا وئق ہشوارت

اہت ا محمد وئق وئق عہد اللہ دغن شہر

ا عہد المان دان ہور تہا اولہ لین وئق

عبدالعزیز اللہ داغکت ہجادی القروہی

دالم ہشوارت اہت ا محمد وئق تہہ

ہرچا گھت اہنغ دالم حال مقصود ہندق

دھاد اہن ہوا ارہمہ وئق ہتر کچوالی

گھت اورغ ۱ ملاو دغن ہن گھت وئق

(20) ہکالی ددالم اورغ ۲ درلہ قوم ۲

ہتر ہجوت دالس اہت ہجاج دان ہمت

فیکر ان اورغ ۲ حاضر اہت مک دی

ہتر اراہیہ دان ہتر ہجوت دغن شہر

اہت ہجوت ان اہت اہت ہتر

اہلی ہوا اہن کوس - حاج عقیب

ا عبدالمجید وئق محمد اہن حاج عبدالعزیز

حاج لاکن حاج عباس وئق امن اہن

عبدالکادر دان ادم وئق محمد طاهر

گھت وئق درلہ دہری اراہما گھت گھت

تھکو عبدالقادر دان ا محمد وئق دان

دعا ولایت دہاج اولہ وئق امام حاج محمد

اورہت ہجاس اہن وئق ہر اچہلہ

علامت ہورہ گھت گھت ہیا وئق

تھکو ہیت ہتر ہکتو اہت اہلہ محکمہ

اسن ہیا اورا

ان ہورہ تھکو گھت اہل المدوہ اہم

گھت وئق ہا ہنغ

اللہ اراج ہای ہکلیق وئق ہر تہا

ا اہن دہا وئق ل. م. ہر وئق ہر ۱۶.۵.۲۶

اوجا وئق اہل المدوہ ہتر ہجوت اہت

ان جلائق دان لہین ہا گھت ہجالی باو وئق

گھت وئق وئق کیت ہتر ہای ہکلیق

امالی دان اولہ ہی ... اہلہ اوجا وئق

ہتر ہیت درلہ ہجیا ہتیار وئق اہن

ہجادی ہکلیق ہوا وئق گھت مان ۲ قوم ۳

کیت اہت زمان سکار وئق مک ہوا ہلہ

دگھت وئق ہنغ. ہجوم الہدی وئق ہتول

دھت ہجوت ان ملاو اہن سکار ہلہ

مان ۲ قوم ماما ہی دان ہوا ہتر

قوم ہنغ ل  
اہت ہجادی  
ہجادی  
تھیلہ کھت  
حل مک  
ہا جو  
ہندی ہن  
ہور وئق  
لیتران  
ماہور وئق  
اہت ہس  
مالو  
گھت کار  
اوجا وئق  
گھت اہ  
ہندرا کھ  
قوم دغن  
ہجالی  
ہلام  
گھت مک  
دان گھت  
ہر ہار  
ہنجمو  
ہتر وئق  
گھت وئق  
گھت وئق



シンガポール・マレー人同盟の設立会議 (Kesatuan Melayu Singapura、  
1926 年)

【翻字】

(欄外上)

1344 Zulkaedah 7                      Lembaga Melayu                      1926 May 20

(右から 1 列目)

“Kesatuan Melayu Singapura”

Suatu perhimpunan kerana orang2 Melayu

—

1. Suatu mesyuarat ramai bagi
2. orang2 Melayu Jawa Boyan Bugis
3. dan lain2 orang bumiputra gugusan
4. pulau2 Melayu di sebelah sini telah diadakan
5. dengan himpunan Tengku Abdul Kadir bin Tengku
6. Mohamed J.P. dan Encik Mohamed Eunus
7. bin Abdullah di dalam Istana Kampong Gelam pada petang
8. hari Jumaat 14 haribulan Mei 1924.
9. Maka ramailah orang2 daripada kaum2 yang tersebut
10. di atas ini telah hadir dan kemedian daripada
11. Encik Abdul Mannan jurbahasa Melayu mahkamah daerah
12. menerangkan maksud diadakan mesyuarat
13. itu. Encik Mohamed Eunus bin Abdullah dengan syor
14. Encik Abdul Mannan dan disertai oleh Lieutnant
15. Abdul Aziz telah diangkat menjadi pengursi
16. dalam mesyuarat itu. Encik Mohamed Eunus telah
17. bercakap panjang dalam hal maksud hendak
18. mengadakan suatu perhimpunan itu kecuali
19. kepada orang2 Melayu dengan ini kandung
20. sekali di dalamnya orang2 daripada kaum2
21. yang tersebut di atas itu sahaja dan memenat
22. fikiran orang2 menhadir itu maka di



23. semua puas hati dan bersetuju dengan syor
24. itu. Setelah tuan2 penhadir itu menyatakan
25. pesertaannya dengan sebuah suara Encik Mohamed
26. Eunus pun menyatakan tujuan2 perhimpunan
27. itu.
28. Setelah itu gelaran perhimpunan itu
29. telah difikirkan dan telah ditutupkan dengan nama
30. seperti yang tersebut di atas itu. Kemedian telah
31. dipilih pengawai2 kerana menjalankan
32. pekerjaan2 yang awal berkenaan dengan kejadian
33. dan pendirian perhimpunan itu. Adalah nama2
34. yang tersebut di bawah ini telah dipilih dan
35. dipersetujukan.
36. Yang di-Pertua Encik Mohamed Eunus bin Abdullah
37. Naib2 Yang di-Pertua Tengku Abdul Kadir
38. bin Tengku Mohmed J.P. dan Imam Haji
39. Mohamed Yusoff J.P. setiausaha2
40. Yang kehormat yang bersektu tuan TP
41. Jumat dan Encik Yahaya bin Abdul Rahman.
42. tukang wang yang kehormat Ambok Suloh bin
43. Haji Omar dan pemeriksa kira2 yang kehormat
44. Encik Abdul Mannan.

(右から 2 列目)

1. Ahli2 Jawatankuasa --- Haji Akib
2. Encik Abdul Majid bin Mohamed Amin Haji Abdul Aziz
3. Haji Pagak, Haji Abas bin Omar Emas
4. Abdul Karim dan Adam bin Mohamed Tahir.
5. Kemedian daripada diberi terima kasih kepada
6. Tengku Abdul Kadir dan En Mohamad Eunus dan
7. doa selamat dibaca oleh Tuan Imam Haji Mohamed
8. Yusof majlis itu pun berpecahlah.
9. Alamat surat2 kepada stiausaha2

10. Yang kehormat yang bersektu itu ialah mahkamah

11. besar Singapura.

資料：“Kesatuan Melayu Singapura” Suatu perhimpunan kerana orang2 Melayu,  
*Lembaga Melayu*, 1926年5月20日

【解説】

この資料は、1926年5月20日付の *Lembaga Melayu* の記事で、シンガポール・マレー人同盟 (Kesatuan Melayu Singapura) の設立会議について伝えるものである。(この記事では設立会議が行われた日付が1924年5月14日とされているが、1924年はおそらく1926年の誤り。)

*Lembaga Melayu* は、英語新聞 *Malaya Tribune* のマレー語版として1914年に創刊された。その初代編集者となったのが、この会議で議長を務め、シンガポール・マレー人同盟の会長となったモハメド・ユーンヌス (Mohamed Eunus bin Abdullah) であった。彼は、*Lembaga Melayu* に先立ち、英語新聞 *Singapore Free Press* のマレー語版として1907年に創刊された *Utusan Melayu* でも編集者を務め、「マレー語ジャーナリズムの父」と称される人物である。彼は1923年に海峡植民地立法参事会の議員に任命され、活躍の場を広げていった。

シンガポール・マレー人同盟の設立会議については、1926年5月19日付の *Malaya Tribune* も伝えている。会議の内容そのものは *Malaya Tribune* の記事の方が詳しく、モハメド・ユーンヌスの演説も掲載されている。このなかで彼は、マレー人の福祉を広く促進すべく、マレー人の団結を強め、マレー人を代表して海峡植民地政府と意思疎通を図るためにシンガポールのマレー人のための結社を設立すべきだと呼びかけている。

1926年5月20日付の *Lembaga Melayu* の記事は会議の内容をほとんど伝えていない。だが、この記事はシンガポールのマレー人がマレー人概念をどう捉えていたかを知るうえで非常に興味深い視点を提供している。

15世紀初頭にマラッカ王国がスルタンを頂点としたイスラム教と在地の慣習法に基づく統治システムを確立して以降、マラッカ海峡周辺およびボルネオではムスリムとなってスルタンの統治を受け入れた人はマレー人と呼ばれるようになった。「ムスリムになる」と「マレー人になる」ことは次第に同義となり、マレー語を話すムスリムとマレー人との間の境界線は曖昧になっていった。そのようななか、19世紀から20世紀初頭における海峡植民地では、アラブ系やインド系のムスリムが相対的に優位な立場にあり、植民地政府からマレー人／ムスリムの代表として認識されがちであった。

これに対して在地のマレー人は、アラブ系やインド系のムスリムの混血性を強調し、彼らを周縁化しようとした。シンガポール・マレー人同盟の設立もそのような試みのひとつであった。シンガポール・マレー人同盟が設立された背景には、海峡植民地立法参事会におけるアジア人議員の増員があった。新たに増員される枠のひとつが、「マレー人」議員であった。モハメド・ユーノスはこの枠を獲得するため、言論や結社を通じて「純粋なマレー人」がムスリム／マレー人コミュニティの代表であるべきだという主張を展開した。その後マラヤでは各地にマレー人結社が設立され、その連合体が1946年に統一マレー人国民組織（United Malays National Organisation: UMNO）へと発展していく。

だがモハメド・ユーノス自身も、「シンガポールのマレー人」としての出自が確固たるものではなかった。彼はスマトラ出身の裕福なミナンカバウ商人を父に持つことで知られていたし、彼自身の出生地はシンガポールではなくスマトラだとする資料もある。*Lembaga Melayu* の記事には、自らの出自の危うさが問題とならないようにマレー人概念を構築しようとするモハメド・ユーノスの試みが垣間見える。彼はシンガポール・マレー人同盟の設立会議に集った人たちを、「ここ（シンガポール）にいるジャワやボヤン、ブギスなどのマレー人およびマレー諸島のブミプトラ」と表現している。シンガポール・マレー人同盟に参加する資格を持つのは、シンガポールに出自を持たなくともマレー人の血統をもち今シンガポールにいる人と、シンガポールも含めたマレー諸島を出自とする在地の人ということである。

*Malaya Tribune* の記事と *Lembaga Melayu* の記事を合わせ読むことで、シンガポール・マレー人同盟が設立された目的や背景がよりはっきりと見えてくる。

（篠崎香織）

بِسْمِ اللّٰهِ نَضِيحَةٌ كَفَّةٌ سَكَلِيْمٌ مُسَلِّمِيْنَ

الْحَبْدُ لِلّٰهِ عِزًّا سَاقَةً وَالصَّلَاةَ وَالسَّلَامَ عَلٰى رَسُوْلِ اللّٰهِ

دهارف كفه سكلين سوهر مسلمين بهرا سكلين كيت برسموغ دشون نعمة الله يا كرههكان نكري ٢ كيت انه ونسيا هندا قله سكلين كيت مبري شكور كفه الله اتس نعمة ١ دان لاين ٢ نعمة فون هندا قله كيت برافت ٢ برسام ٢ اتس مفهمفون ننترا مجاهدين برالة ما اگها الله دان ميفگي كليات الله دان ميفكوة اقوران اسلم \*

قال الله تعالى ان تصروا الله بخصمكم وينبت اقدامكم وقال تعالى وتعارفوا على البر والتقوى ولا تعبا على الاثم والعدوان \* وقال : قال تعالى الي كلمة سوا بيننا وبينكم ان لا نعبد الا الله ولا نشرك به شيئا يتخذ بعضنا بعضا اربابا من دون الله فان تولوا فقلوا اشهدوا بآباءنا مسلمون وقال تعالى ودوا لولاكم كما كفروا فتكفرون سوا \* قال الله تعالى ولن ترض عنك اليهود ولا النصارى حتى تتبع ملتهم وجبله اتس كيت برسموغ ٢ اتس ملاون موسوه الله دان موسوه رسولپ دان ميفكوة سلم المسلمين جاشن ميفكوة فتجاجة كافرين اتو بتم مبريتم كفه مريك ايت بتم هندا ميف كيبالي اندونسيا وجبله اتس كيت كاسيه دان چينتا كفه الله دان رسولت دان هندا قله ك مقرر بانكن چيرا دان هرتا ٢ كيت فد منوالم اگها الله دان كرجان بتم صم \*

هذا ، والسلام على من اتبع الهدى \*

كلمه الفقير الكثير النجاح محمده حسن كروغ كالي 18 ذوالقعدة 1364.

## アチェの大ウラマーによるインドネシア独立への支持宣言(1945年10月)

### 【翻字】

\*\*\*\* nasihat kepada sekalian muslimin

Alhamdulillah \*\*\*\* wa salat wa salam ala rasulullah

1. Diharap kepada sekalian saudara muslimin bahwa sekalian kita bersambung dengan nikmat Allah [yaitu]
2. kemerdekaan negeri2 kita Indonesia hendaklah sekalian kita memberi syukur kepada Allah atas nikmat [Allah]
3. dan lain2 nikmat pun hendaklah kita berapat2 bersama2 atas menghimpun tentera mujahidin buat \*\*\*\*
4. agama Allah dan meninggi kalimat Allah dan mengikut aturan Islam.
5. \*\*\*\*
6. \*\*\*\*
7. \*\*\*\*
8. \*\*\*\*
9. wajiblah atas kita bersambung2 atas melawan musuh Allah dan musuh rasulnya dan mengikut slh \*\*\*\*
10. almuslimin jangan mengikut penjajah kafirin atau yang miring kepada mereka itu yang hendak [menjajah]
11. kembali Indonesia, wajiblah atas kita kasih dan cinta kepada Allah dan rasulnya dan hendaklah [kepada]
12. mengorbankan jiwa dan harta2 kita pada menolong agama Allah dan kerajaan yang sah.

\*\*\*\*

Al-Haji Muhammad Hasan Krung Kale 18 Zulalkaida 1364.

### 【出典】

Ali Hasjmy. 1985. *Semangat Merdeka: 70 tahun Menempuh Jalan Pengolahan dan Perjuangan Kemerdekaan*. Jakarta: Bulan Bintang. p.202.

### 【解説】

1945年8月17日にジャカルタでスカルノとハッタがインドネシア共和国の独立宣言

を発すると、旧オランダ領東インドの各地でこれに呼応する動きが見られた。アチェでは、社会的影響力のあるイスラム教指導者（大ウラマー）として知られていたハサン・クルンカレーがインドネシア独立を支持する布告を発した。

当事、インドネシア独立が国際社会に認知されるかどうかは定かでなく、旧宗主国であるオランダが東インド統治の回復をはかる動きもある中で、インドネシア独立への支持を宗教的に正しい行為であると位置づけたイスラム教指導者によるこの布告は、インドネシア独立を支持する青年団などを通じてアチェ全域に伝えられた。

その後、アチェでは集会や新聞報道を通じてインドネシア独立支持の機運が高まり、インドネシア独立を支持する結社がアチェ各地に結成された。

(西芳実)

【読んでみよう⑨】



インドネシア・アチェ州の衣料品店の看板（2005年8月撮影）







# 研究会紹介

1. 「ジャウイ文献と社会」研究会の活動
2. ジャウイ文献記事データベース
3. 『カラム』の時代

## 「ジャウィ文献と社会」研究会の活動

### 「ジャウィ文献と社会」研究会について

「ジャウィ文献と社会」研究会は、旧ジャウィ文書研究会(2001-2009)の活動の蓄積を活用・発展させるため、旧ジャウィ文書研究会の活動の一部を受け継いで組織された研究会です。主にマレー・インドネシア語のジャウィ文献を利用して、ジャウィ文献に関わる社会を対象に研究を行っています。

この研究会は、これまで研究にあまり活用されてこなかったジャウィ文献を積極的に使うことで、ジャウィ文献が書かれ、読まれていた社会の様子を明らかにすることを目的としています。

ジャウィ (Jawi) とは、アラビア文字を改変したマレー・インドネシア語の表記法です。東南アジアのマレー・インドネシア語圏（現在の国名で言うと、おおよそマレーシア、インドネシア、シンガポール、ブルネイ、そしてタイの一部がカバーする範囲）では、長いあいだジャウィが書き言葉として使われていました。20 世紀に入るとマレー・インドネシア語のローマ字による表記が広く使われるようになり、20 世紀後半になると公文書や一般の文書ではマレー語が使われることが多くなりますが、その後もジャウィは一部で用いられ、今日に至っています。

この研究会は、1950 年代から 60 年代にかけてシンガポールで発行されていた月刊誌『カラム』をローマ字に翻字して内容を分析する「『カラム』の時代」プロジェクトと、ジャウィを読むための講習会を一般公開で行うジャウィ文献講読講習会の 2 つを中心に活動しています。

次ページ以降では、『カラム』をはじめとするジャウィ定期刊行物のデータベース化による資料共有化について紹介します。

### 関連する研究プロジェクト

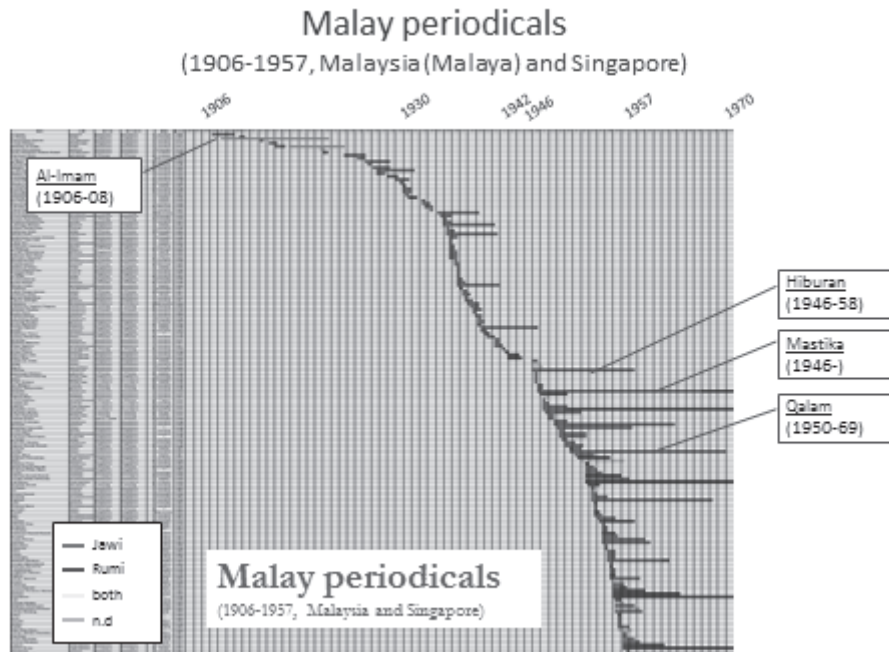
「ジャウィ文献と社会」研究会は、京都大学地域研究統合情報センター共同研究「島嶼部東南アジアにおける国民国家形成とマレー・ムスリムのネットワーク」（代表：坪井祐司、2012 年度）との共催により活動しています。

また、『カラム』の記事データベース化およびローマ字翻字では、京都大学地域研究統合情報センターの地域情報学プロジェクト雑誌記事データベース班と共同で研究を進めています。

## ジャウイ文献記事データベース

### 20 世紀のマレー語定期刊行物

下の図は、20 世紀前半にマラヤとシンガポールで刊行されたマレー語の定期刊行物を刊行が早い順に並べたものです。一番上にあるのは「アル・イマーム」(al-Imam)で、1906 年に創刊され、1908 年まで刊行が続きました。



図の横棒の長さは、それぞれの雑誌が刊行されていた期間を示しています。また、カラー印刷でないのでわかりにくいですが、横棒の色は、その雑誌に使われていた文字を示しています。緑色はジャウイ、赤色はローマ字、黄色は両方です。

この図を見るといろいろなことがわかります。20 世紀初頭のマレー語雑誌のほとんどはジャウイで書かれており、ローマ字が増えるのは日本占領期を経た 1946 年以降であること。ほとんどの雑誌は短命で、創刊から 1、2 年で停刊になっており、10 年以上続く雑誌は数えるほどしかないこと。しかし、1 つの雑誌が停刊になると別の雑誌が創刊され、日本占領期を例外として、どの期間をとってもマレー語雑誌が刊行されていない時期はなかったこと。

また、この図だけからはわかりませんが、いくつかの雑誌を読んでもみると、異なる雑誌どうしで互いに参照したり批判したりしていることもわかります。

これらのことから、マレー語の雑誌は、1つ1つのタイトルを見ると短命でも、複数の雑誌が集まって全体で「マレー語雑誌」という1つの言論の場を作っていたことがわかります。

そうだとすれば、1つの雑誌だけ取り出して読むだけでは、その雑誌が出されていた時代の様子を知るには不十分だということがわかるでしょう。

ただし、複数の雑誌を通して読むのは容易なことではありません。図書館などに雑誌が体系的に集められているとは限らないためです。

### ジャウィ雑誌記事データベース

この問題を解消する1つの方法は、マレー語雑誌をデジタル化して、記事内容や本文で検索可能な状態にしたものを作り、それをインターネット上で横断検索するシステムを作ることです。この方法は、いくつもの利点があります。第1号から第10号まではこの図書館、第11号から第20号まではあの図書館に所蔵されているというように分散して所蔵されている資料でも、インターネット上で統合して参照することが可能になります。また、この方法では各機関や個人によって所蔵されている資料を物理的に収集する必要がないため、資料をもととの所有者のもとに置いたまま参照することが可能です。

この研究会では、そのような横断検索システムのプロトタイプを作るため、京都大学地域研究統合情報センターの地域情報学プロジェクトとの連携により、20世紀のマレー世界における主要なマレー語雑誌を収集し、デジタル化を進めています。これまでにシンガポールの『カラム』(Qalam)とインドネシアの『ワクトゥ』(Waktu)のデジタル化を進めてきました。このほかに以下の雑誌を収集し、デジタル化する準備を進めています。

- Jawi Peranakan
- al-Munir
- al-Imam
- Pengasoh
- Hiburan
- Dian
- Mastika



CIAS Database: <http://www.cias.kyoto-u.ac.jp/database/>

## 『カラム』の時代

### 『カラム』とアフマド・ルトフィ

『カラム』(Qalam)は、1950～69年にシンガポール(後にマレーシア)で刊行されていたマレー語の月刊誌です。創刊から停刊まで、記事は一貫してジャウィで書かれていました。

『カラム』の特徴は、マレー世界におけるムスリムの政治運動の「空白期間」を埋める資料であることです。例えばマラヤでは、20世紀初頭の独立準備期にイスラム主義を掲げる政治団体がいくつか結成されましたが、それらは1950年までに非合法化され、指導者は投獄されたり国外に退去したりしました。



従来の研究では、これによりマラヤ(後にマレーシア)のイスラム主義政治運動はいったん姿を消し、その後の1970年代にダクワ運動によってイスラム主義運動がマレーシアにもたらされたとされています。このように、1950年代と60年代はイスラム主義運動の観点から研究の空白期になっており、『カラム』はこの時期のマラヤ/マレーシアのムスリム社会のあり方を知る貴重な資料です。

『カラム』のもう1つの特徴は、『カラム』が民族や国境を越えてムスリム社会をつなごうとしていたことにあります。これは、『カラム』の発行者・編集者であるアフマド・ルトフィ(Ahmad Lutfi)の経歴と密接に関係しています。

アフマド・ルトフィは、1911年にカリマンタン島でアラブ系ムスリムである両親のもとに生まれ、民族の区別によらずムスリムはみな同胞であると教えられて育てられました。しかし、20世紀初めのマレー世界では民族意識が高まり、同じムスリムでもアラブ系と原住民系は違うとの見方がされるようになりました。これに対してアフマド・ルトフィは、シンガポールに渡ってジャーナリズムに身を投じ、自ら発行した『カラム』の誌面を通じて民族別の同胞意識ではなく宗教に基づいた同胞意識を育むようマレー世界の人々に呼びかけました。

マラヤ(現マレーシア)とインドネシアは独立以降は政治的にそれぞれ別の道を歩みますが、その裏で民族や国民の違いによらずに宗教による同胞意識を訴え続けたのが『カラム』でした。1956年にシンガポールでムスリム同胞団が結成されると、『カラム』はその事実上の機関誌となりました。

## 『カラム』翻字プロジェクト

『カラム』は、1950年代～60年代のマレー世界におけるムスリム社会の動向を理解するうえで重要な史料ですが、ジャウィで表記されているためもあり、利用可能な研究者が限られていました。

また、『カラム』は複数の機関に分散して所蔵されており、体系的に利用するのが難しい状況にありました。京都大学地域研究統合情報センター（京大地域研）では、複数の機関に所蔵されている『カラム』をもとに欠号率が極めて低いコレクションを作り、デジタル化してマレー語雑誌記事データベースとして全誌面を公開しています。

この研究会では、『カラム』の記事のローマ字翻字を進め、『カラム』をより多くの研究者や読者に利用可能な形にします。また、『カラム』の記事をもとに、1950年代から60年代にかけてのマレー世界の「近代」の諸相を明らかにすることを試みます。

なお、京大地域研で公開されている『カラム』記事データベースは記事見出しだけが検索可能ですが、この翻字プロジェクトによって本文の全文検索も可能になります。研究会 HP では、この研究会で翻字したローマ字版『カラム』を順次公開しています。

## transcribing from Jawi to Latin



## ローマ字版『カラム』

### ウェブ版

- 以下の研究会ホームページで順次公開

<http://www.cias.kyoto-u.ac.jp/~yama/jawi/qalam.html>

## 冊子体

- 『Qalam No.42-47 1954.01～1954.06』（山本博之監修、京都大学地域研究統合情報センター、2012年11月刊）
- 『Qalam No.36-41 1953.07～1953.12』（山本博之監修、京都大学地域研究統合情報センター、2012年9月刊）
- 『Qalam No.30-35 1953.01～1953.06』（山本博之監修、京都大学地域研究統合情報センター、2012年8月刊）
- 『Qalam No.24-29 1952.07～1952.12』（山本博之監修、京都大学地域研究統合情報センター、2012年7月刊）
- 『Qalam No.18-23 1952.01～1952.06』（山本博之監修、京都大学地域研究統合情報センター、2012年6月刊）
- 『Qalam No.12-17 1951.07～1951.12』（山本博之監修、京都大学地域研究統合情報センター、2012年4月刊）
- 『Qalam No.6-11 1951.01～1951.06』（山本博之監修、京都大学地域研究統合情報センター、2011年12月刊）
- 『Qalam No.1-5 1950.07/08～1950.12』（山本博之監修、京都大学地域研究統合情報センター、2011年11月刊）



## 『カラム』を用いた研究

この研究会では、研究会メンバーがそれぞれの関心に基づいて『カラム』の記事を読み、当時のマレー世界の社会状況を明らかにする『カラム』の時代」研究を進めています。これまでの研究成果は以下の通りです。

### 『カラム』の時代

- 『『カラム』の時代 III—マレー・イスラム世界におけるイスラム的社会制度の設計』(坪井祐司・山本博之編著、CIAS Discussion Paper No.23、京都大学地域研究統合情報センター、2012年3月刊)

1. 「序 『カラム』の時代3—マレー・イスラム世界におけるイスラム的社会制度の設計」(坪井祐司)
2. 「近代イスラームにおける家族像——連載記事「女性の世界」の分析から」(國谷徹)
3. 「1950年代前半のマラヤ情勢とアフマド・ルトフィ」(坪井祐司)
4. 「エジプト留学生が論じたマレー社会の再建——ズルキフリ・ムハンマドにみる1950年代のマレー人知識人の思想の系譜」(山本博之)
5. 「マレー・コミュニティにおける国民教育制度に関する議論」(金子奈央)
6. 「1950年代の「強制婚」論議にみるカラム誌の改革論理」(光成歩)



- 『『カラム』の時代 II—マレー・イスラム世界における公共領域の再編』(坪井祐司・山本博之編著、CIAS Discussion Paper No.19、京都大学地域研究統合情報センター、2011年3月刊)

1. 「序 『カラム』の時代2—マレー・イスラム世界における公共領域の再編」(坪井祐司)
2. 「連載記事「クルアーンの秘密」に見るイスラーム近代主義：予備的考察(2)」(國谷徹)
3. 「シンガポールのマレー・ムスリムからみたナドラ問題」(坪井祐司)
4. 「連載記事「ムスリム同胞よ、今こそ団結せよ！」」(山本博之)
5. 「公教育確立期におけるイスラーム教育の生き残り戦略」(金子奈央)
6. 「社会再編の時代の婚姻・離婚法制——1957年シンガポールのムスリム法令による改革」(光成歩)



- 『『カラム』の時代—マレー・イスラム世界の『近代』』(山本博之編著、CIAS Discussion Paper No.13、京都大学地域研究統合情報センター、2010年3月刊)

1. 序 『カラム』の時代—マレー・イスラム世界の「近代」、1950～1969年(山本博之)
2. コラム「祖国情勢」に関するノート(坪井祐司)
3. 連載記事「クルアーンの秘密」に見るイスラーム近代主義：予備的考察(國谷徹)





4. 選挙と反乱—インドネシアの1955年総選挙とイスラム国家建設（山本博之）
5. 公教育の近代化に対する二重の危機感—マレー・コミュニティにおける子どもの教育論から（金子奈央）
6. シンガポールにおけるイスラーム司法の制度化—1960年ムスリム法施行法案の廃案をめぐって（光成歩）

#### 『カラム』を使った研究

- TSUBOI Yuji. 2012. “Muslims under Dual Jurisdictions: The Nadrah issue from the perspective of “Qalam””. FUKAMI Naoko & SATO Shohei. (eds.). *Islam and Multiculturalism: Between Norms and Forms*. Organization for Islamic Area Studies, Waseda University. pp. 157-165.
- KUNIYA Toru. 2012. “Islam in the era of “kemajuan”: modernist thought of a Singaporean ulama in the 1950s”. FUKAMI Naoko & SATO Shohei. (eds.). *Islam and Multiculturalism: Between Norms and Forms*. Organization for Islamic Area Studies, Waseda University. pp. 167-170.
- YAMAMOTO Hiroyuki. 2009. “The Jawi Publication Network and Ideas of Political Communities among the Malay-Speaking Muslims of the 1950s”. *The Journal of Sophia Asian Studies*. No.27. pp.51-64.
- 山本博之 2003 「東南アジアにおけるムスリム同胞団の成立とその初期の活動について」『ODYSSEUS』（東京大学大学院総合文化研究科）、第7号、pp.59-73。

#### 『カラム』に関する研究

- 山本博之 2002 「資料紹介『カラム』」『上智アジア学』、第20号、259-343頁。

## 執筆者（\*は編集者）

**金子奈央** 東京外国語大学大学院総合国際学研究科博士後期課程在籍。専門はマレーシア地域研究／比較教育学。研究テーマはマレーシア・サバ州における原住諸民族の教育活動およびマレーシアの国民統合と教育。〈紹介〉を担当。

**國谷徹** 専門はインドネシア近代史。主な研究テーマは植民地時代（オランダ領東インド）におけるイスラム史、特に19世紀末のインドネシア地域からのメッカ巡礼。中級編4を担当。

**篠崎香織** 北九州市立大学外国語学部准教授。専門はマレーシアの地域研究。在マレーシア日本国大使館専門調査員などを経て現職。中級編3を担当。

**坪井祐司\*** 東洋文庫研究員。東京大学大学院人文社会系研究科博士課程修了。専門はマレーシア近代史。研究テーマはイギリス領マラヤの植民地行政とそれに対するマレー人を中心とした現地の人々の関わり。「ジャウイ文献と社会」研究会の2010-2011年度幹事。中級編1を担当。

**西芳実** 京都大学地域研究統合情報センター准教授。専門はインドネシアの地域研究。アチェを対象に、多言語・多宗教社会における災害や紛争への対応過程について研究している。中級編2を担当。

**山本博之\*** 京都大学地域研究統合情報センター准教授。専門はマレーシア地域研究／現代史。研究テーマはイスラム教圏東南アジアの民族と政治。「ジャウイ文献と社会」研究会代表者。初級編1～3を担当。

### CIAS Discussion Paper No.27

坪井祐司・山本博之編

ジャウイ文献講読テキスト

## ジャウイを学ぶ

（2012年度版）

発行 2012年12月

発行者 京都大学地域研究統合情報センター

京都市左京区吉田下阿達町46

電話：075-753-9603

FAX：075-753-9602

E-mail：ciasjimu@cias.kyoto-u.ac.jp

http://www.cias.kyoto-u.ac.jp



